目録 List

鳥取藩の武器・武具関連職人一覧

大田勝也・大嶋陽一

List of Arms and Armors related Craftsmen of the Tottori clan

Katsuya OTA, Yoichi OSHIMA

はじめに

鳥取藩の職人に関する研究は、刀鍛冶など一部の職人を除きほとんど進んでいない。現状、ある職人について調べるためには、鳥取県立博物館が所蔵する鳥取藩伝来の資料群である「鳥取藩政資料」を逐一確認する必要があり、大変な労力を要する。近年、鳥取藩の家老日記である「控帳」の全文翻刻が完了し、とっとりデジタルコレクション(https://digital-collection.pref.tottori.lg.jp)において、だれでも簡単に職人名や職名で事項検索が可能になった。しかし、そこに出てくる情報量は膨大で、それらを整理して理解するためには、なお多くの労力を必要としている。

このような研究状況である鳥取藩関係の職人について、本稿は武器や武具関連の職人名の一覧を作成し、職人研究の基礎データを提供しようとするものである。武器・武具関係と限定しているが、実際には藩の職人は直接的、間接的に武器・武具に関わる御用をこなしており、両者の御用に関わる職人の裾野は広いため、本一覧表で取りあげた職人数も延べ800名を超える膨大な数となっている。

本一覧は、後述のような鳥取藩政資料から見出された職人関連の記載内容から特定の項目を抜き出し作成したものである。当然ながら取りあげることができなかった職人も少なからずいると考えられるが、この点は予め了承いただきたい。また、取りあげた職人は、ほぼ鳥取城下に住居する職人であるが、例外として村方のものでも藩の召し抱えとなったもの(例えば刀鍛冶)や他国者でも鳥取城下にやって来ている者、江戸や京都などで召し抱えとなっているものについても記録が残る範囲で掲載している。さらに、一部の職人は途中で職種を変えている場合があり、人名が重複している可能性がある。同一人物だと比定可能な者についてはその旨表中に注記した。

本稿が目的とするところは、鳥取藩の職人に関する調査を行うにあたって、最初の取り掛かりとなる情報を提供するものである。そのため、個別の詳細な履歴までは踏み込んでいない。個別調査を進めるためには、「控帳」のほか、鳥取藩政資料に含まれる各家の家譜や下記で紹介する職人書上等を逐次参照いただく必要がある。

一覧表の作成とそれにかかる文献調査は大田が担当 し、一覧表の校訂・追加・調整および表1の作成は大嶋 が担当した。解題は大田と大嶋が協議のうえ、大嶋の 文責のもと執筆した。

1. 鳥取藩の御細工・御職人について

鳥取藩には、藩主や藩御用を行う職人たちが数多く存在した。鳥取藩の職人については片山新助(片山1993)が岡山藩との比較において若干の検討を行うほかは、鳥取藩研究の基礎文献たる『鳥取藩史』にもほとんど記されていない。職人の概要については『鳥取市史』の記述が的を射ている。

藩政時代御用職人の待遇は、御細工・御細工並・御職人の三階級であって、所謂士農工商時代の事であるから、工人の位置は低いものであった。最上級の御細工でも、弓徒相当に過ぎなかった。扶持も二人から五人までが、以上は特別である。尤も仕事をすれば、其に対する相当の代価は別に給せられたからでもある。職人から細工迄随分其数は多かった。

(『鳥取市史』(鳥取市役所、1943年)701頁)

御用職人には最上位の御細工以下、御細工並、御職人の3階級あった。『鳥取市史』には記されていないが、御職人に取り立てられるまで、町職人としていくつか 藩御用を請け負わせ、実力ある職人を「雇い」という形

[受領 Received 31 Nov. 2022/ 受理 Accepted 14 Nov. 2022]

^{〒680-0011} 鳥取市東町 2-124 鳥取県立博物館

Tottori Prefectural Museum, Higashi-machi 2-124, Tottori, 680-0011 Japan

^{*}E-mail: ooshimay@pref.tottori.lg.jp

で「御用聞」に任じていたことが知られる。そこから役立ちそうなものを御職人並とし、さらに優れたものを御職人に取り立てることが多かった。御職人に取り立てられると苗字が与えられ、さらに支配米や扶持、屋敷を拝領した。しかし、職人一覧表を見ると、藩の職人の大半が格式や苗字を持たぬ者らであったことがわかる。

職人の最上位たる御細工であるが、寛保3年(1743)「御支配帳」(鳥取藩政資料1980)では指物師の伊良子軍蔵、張付師の五藤万蔵、仕立師の縄久四郎のわずか3名であった。70年以上のちの文化14年(1817)「御支配帳」(同2014)には、御細工として伊良子中三郎(指物師)・五藤万蔵(張付師)・縄久四郎(仕立師)、御細工並として浅見和平太(白銀師)、浜部儀八郎(刀鍛冶)の計5名が記録されている。このように職人の最高の格である御細工は、近世後期までその格式を保つため人数が押さえられたことが知られる。

しかし、戦争が連続し武器・武具類の製造や軍事行動への従軍など、職人が活躍する幕末になるとその数を大幅に増やす。例えば、文久3年(1863)「御支配帳」(同2044)には御細工と同並として以下の20名が挙がっている。

御細工:縄忠蔵(仕立師)・浜部儀八郎(刀鍛冶)・浅見吉平(白銀師)・佐藤四郎兵衛(打巻師)・早田弥兵衛(鍔師)・足立文右衛門(具足師)・鹿嶋平次郎(白銀師)・近藤宗十郎(研師)

御細工並:日置直助(刀鍛冶)·山本八太夫(刀鍛冶)· 岩井源兵衛(革鍛師)·後藤重次郎(彫物師)·藤丸利八郎(打柄師)·片平又六(鎗師)·斉藤東右衛門(弓師)·高 田益蔵(桧物師)·中井和平(鉄砲台師)·富田喜兵衛(鍔師)·高木恵助(柄巻師)·安田甚三郎(塗師)

さらに、明治2年(1869)の「御支配帳」では、御細工と 同並あわせて50名となり、文久3年からわずか6年間 で倍増していることが知られ、幕末期になると御細工 という最高位の格式の価値が総体的に低下しているこ とが伺える。

御職人の格にある職人は、御用を果たすため工房を持ち、弟子を使って作業を行っていたようである。勝れた弟子は、師匠から御用聞や御職人並へ推挙される場合があった。また、優秀な職人を藩外から引き抜くこともあったことが一覧表よりわかる。

職人の人別支配は、小納戸や鉄砲奉行、弓奉行など御用先の役場が、職務上の支配とともに行っていた。しかし、軍事御用が格段に増加する安政5年(1858)6月以降、人別支配は町奉行が一括して行うようになった。それにより、御用先の役場は、職務上の支配だけとされた(「町奉行」鳥取藩政資料6901)。

2. 一覧表の見方

- 一覧表の項目にそって表の見方を簡単に見ておきたい。「職名」の項目は、48の職種をあいうえお順に並べているが、以下、各職について簡単な解説と代表的な家筋を紹介する。
- ①鐙師(あぶみし): 鐙の製作。秋田家、鈴木家
- ②鋳物師(いもじ): 武具甲冑等の鋳物金具の製作。辻家、鍋屋家
- ③打柄師(うちえし): 鎗の打柄の製作。藤丸家
- ④飾師(かざりし): 武器武具の飾り細工一般の製作。
- ⑤鍛冶(かじ): 刀鍛冶を除く金物鍛冶(鉄砲、轡などそれぞれに専門あり)。浜田家、岩田家、加納家、並川家、江村家
- ⑥刀鍛冶(かたなかじ): 刀剣の製作。山本家、日置家、 濱部家、梶川家
- ⑦金具師(かなぐし): 武具や鉄砲などの金具の製作(それぞれに専門あり)。中尾家、中川家
- ⑧革鍛師(かわきたえし): 具足等の革細工の製作。具 足鍛師とされる場合もある。岩井家
- ⑨切付師(きりつけし): 革細工師一般を指す。寺崎家、 岡村家
- ⑩具足師(ぐそくし): 具足製作の統括・組上げを担当。 南都具足師岩井家、小寺家、足立家
- ①具足縅師(ぐそくおどしし): 具足の縅を製作。渡辺 家
- ②具足地鉄師(ぐそくじがねし): 具足に使用される鉄 金具を製作。
- ③轡師(くつわし): 轡を製作。上田家
- ④鞍打師(くらうちし): 白木の鞍を製作。城戸家、小倉
- ⑤軍用大工(ぐんようだいく): 武具大工とも。陣地の 大工仕事を行う。文化2年まで存在。近藤家
- (⑥弦指(げんさし): 弓の弦を製作。のち弦は城下の職人から調達するようになる
- ⑩拵師(こしらえし): 刀の拵えの製作。幕府献上品などを製作。佐藤甚蔵は江戸の人
- (®指物師(さしものし): 軍用の旗指物の製作。伊良子 家、中路家
- ⑩鞘師(さやし): 刀剣の鞘を製作。市浦家、佐野家
- ②位立師(したてし): 軍用の下着や羽織を製作。藩主 の仕立品製作や修理等も行う。縄家、中尾家、藤井 家、尾崎家
- ②白銀師(しろがねし):銀細工の製作。浅見家、平井 家、鹿嶋家
- ②陣器金物師(じんきかなものし): 銅鑼など合戦で使 う陣器の製作
- ②象眼師(ぞうがんし): 象眼細工の製作。坂井家

- ②台師(だいし):鉄砲や大筒の銃床の製作。幕末にとくに大筒台師が増える。町大工であった経歴を持つ者もいる。村川家、森永家
- ②楯師(たてし): 楯の製作
- 26柄巻師(つかまきし): 刀の柄巻を製作。佐藤家、平田 家
- ②鍔師(つばし): 刀の鍔を製作。早田家
- ②鉄砲師(てっぽうし): 鉄砲の銃身を製作。幕末に小 銃師という名称となる。最初は堺・国友から購入し ていたが幕末期に国産化。榎並家、渋川家、井上家 (米子鉄砲師)
- ②鉄砲金具師(てっぽうかなぐし): 鉄砲の引き金など 金具を製作。幕末に小銃金具師という名称となる。 二岡家
- ③鉄砲象眼師(てっぽうぞうがんし): 鉄砲に象眼を行う
- ③鉄砲大工(てっぽうだいく):鉄砲の銃床を製作。の ち鉄砲台師となる
- ②鉄砲台師(てっぽうだいし): 鉄砲の銃床を製作。幕 末に小銃台師となる。野口家、岡本家
- ③研師(とぎし): 刀剣などの研磨。刀と鎗の研師といった専門があった。「目利師(めききし)」は、研師のなかから選ばれた者で、刀剣の鑑定を行う。竹屋家、飯田家、高月家、近藤家、安城家
- ④塗師(ぬし):漆塗りの職人。⑨鞘師と⑪蒔絵師も漆を扱う。加藤家、松本家
- ③羽織師(はおりし): 陣羽織等の製作。能勢家
- 30張付師(はりつけし): 表具師。五藤家、佐々木家、野村家
- ③張田(はりた): 不明
- ③ 火縄師(ひなわし): 鉄砲の火縄を製作。士分。飯塚家
- ③彫物師(ほりものし): 藩札木型や具足など木彫り彫刻の製作。後藤家
- ⑩幌籠師(ほろかごし): 母衣の竹籠の製作
- ④蒔絵師(まきえし): 蒔絵の製作。加藤家(塗師の加藤 家分家)
- ⑫滅金師(めっきし):メッキの職人。幕末に登場する。嶋屋
- ④矢師(やし): 矢の組上げや細工の製作。山田家、河村家
- ④鎗師(やりし): 鎗の製作。片平家
- ⑤鎗金具師(やりかなぐし): 鎗の金具の製作。中村家
- ⑩鞢師(ゆがけし): 鞢(弓懸。弓で使用する皮の手袋) の製作。寺崎家
- (銀弓下地師(ゆみしたじし): 弓の製作。坂田家(弓師の坂田家と同じ)

次に、「職人名」項目には、典拠とした資料に記される 苗字と通称名を記載した。ただし、苗字御免となる以 前の先祖については()内に苗字を入れて補った。ま た、通称名を途中で変えている場合、最後の通称名を記 載した。途中の通称名は「初名等」の項目に分かる範囲 で記載した。「職種」項目には、職名のほか兼職や居住 地の情報を記載した。「初見及び典拠資料」項目には、 該当する職人の生存時期のおおよその目安とするため 初見時期を記載し、その典拠資料も入れた。「備考」項 目には、該当する職人の履歴、とくに相続や苗字御免等 の情報を略記したが、典拠は煩雑となるため省略した。

3. 一覧表の典拠資料

本稿で作成した職人一覧は、鳥取県立博物館所蔵の 鳥取藩政資料に含まれる記録を典拠としている。典拠 資料は以下のものである。

- ① 「控帳」鳥取藩の家老の日記。 「とっとりデジタルコレクション」で翻刻公開
- ② [目付日記] 鳥取藩の目付(警察)の日記。未翻刻
- ③ 「江戸家老日記」 鳥取藩の江戸家老の日記。 未翻刻
- ④「在方諸事控」鳥取藩の農政部門である在御用場の日記。『鳥取県史』9~13(鳥取県、1975~1978年)に翻刻掲載
- ⑤「因府年表」鳥取藩士岡嶋正義がまとめた鳥取藩の年 表。『鳥取県史』6(鳥取県、1974年)に翻刻掲載
- 一覧表の作成手順は、上記の典拠資料から武器・武具 関係職人の記述を網羅的に抜き出し、そこから職人の 履歴を必要最低限に絞り掲載した。

なお、内容の追加訂正のため、天保元年(1830)の「職人書上」(鳥取藩政資料2191)、安政5年(1858)の「職人旧功書一、二、三」(鳥取藩政資料2188~2190、『新修鳥取市史』3(鳥取市、1985年)に所載)、「細工人職人調二、三」(鳥取藩政資料2192-1,2、「一」は欠失)を使用した。職人書上の内容事例として、天保元年の「職人書上」に出てくる職人について表1にまとめておいたので参照願いたい。職人書上は、職人の履歴、とくに藩御用が詳しく記されており、藩の職人を研究する上で必須の資料である。

4. 一覧表から見た藩職人の特色

鳥取藩の職人の職種は、一覧表では48種としているが、若干の重複がある。しかし、萩藩における安政期の職人の職種は44種とされており(山崎2015)、同等の職制を有していたことが知られる。萩藩や鳥取藩など国持大名クラスでは、自家の御用の品を自力で賄うため、職種がかなり分化していたことがわかる。

一覧表では、とくに幕末の鉄砲・大筒関係の職人の動向が注目される。鳥取藩では、嘉永6年(1853)にペ

リー艦隊来航の警備のため本牧(横浜市中区)警備を幕 府から命じられた。以降、軍事的需要の高まりから安 政2年(1855) 10月に鉄砲奉行を武器製造御用掛に命 じ、藩内で鉄砲製造をはじめた。同5年5月からは、砲 術家・武宮丹治をトップとして大砲・小銃など銃器を 専業で製造する鉄砲製造役所が創設された。翌6年に は武器製造役所が設立され、主に弾薬の製造を行った。 このように、幕末期、武器・武具の製造が藩政上の重要 課題として浮上してきたのであった。

こうした動向のなか、幕末期には鉄砲・大筒関係部 門の増員が著しい。例えば、鍛冶や轡師など他の職種 から鉄砲(小銃)金具師といった職種に移される者が増 えている(例えば一覧表の538~548など)。また、鉄砲 師(小銃師)に注目すると、泉州堺や江州国友といった 鉄砲の産地のほか、江戸(東京)、作州、雲州、丹後など藩 外から大量の職人が流入している(一覧表460~521)。 こうした大量流入の内実については今後の課題である が、当時、鳥取藩に限らず、武備を進める諸藩は、鉄砲職 人にとって格好の稼ぎ場であったことがわかる。

おわりに

本一覧表により、大づかみに鳥取藩の職人を把握す ることが可能となった。今後は、本表が基礎データと なり職人研究が進展していくことを期待したい。

一方で残された課題も多い。例えば、個別の職人の 履歴調査や伝生作品調査は、刀鍛冶や鍔師などしか行 われておらず、今後の検討課題であろう。また、藩の職 人は本職以外の業種に卓越した技術者がいた。例え ば、幕末に活躍した鞍打・小倉園三郎は、宮大工として 当代随一の腕を持ち、藩や民間の神社建築に携わり現 存するものも多い。こうした職人の多様な動向を検討 することも今後の課題である。

本研究で作成した一覧表には少なからず不備がある と思われる。大方のご意見ならびにご批判をいただけ れば幸いである。

参考文献

片山新助『岡山藩の絵師と職人』(山陽新聞社、1993) 山崎一郎 「萩藩における張付師・表具師について」(『山 口県文書館研究紀要』42、2015)

表 1 天保元年の鳥取藩職人

	職人名	職種	召し抱え時期	俸禄・拝領屋敷	備考(歴代、師弟関係、出身地ほか)	一覧表	格式
1	高月休平	硎師・目利師	宝永7年(本家筋は池田輝政代)	30俵5人扶持	宮崎(竹屋、高月)隨雪(200石)一族、角野寿見弟子	$603 \sim 612$	
2	後藤与八	彫物師(金工)	寛文2年(1662)	3人扶持、拝領屋敷本町2丁目	初代与三(右衛門)は後藤光乗祐伯二男長乗の三男 覚乗の四男で京都から移住	730 ~ 739	諸職人
3	片平又蔵	鎗師	寛永16年(1639)以降	5 人扶持		795 ~ 802	諸職人
4	佐藤久次郎	柄巻師	池田輝政代	20俵 4 人扶持	①久右衛門②久次郎③久次郎④久次郎⑤久次郎⑥ 久次郎	408 ~ 415	諸職人
5	山本八之進	刀鍛冶		5 人扶持、拝領屋敷桶屋町		$160 \sim 165$	御細工人並
6	松本八左衛門	塗師	岡山藩時代(一度断絶)	2人扶持	①八左衛門(中絶)②治右衛門③次郎兵衛④平四郎 ⑤八左衛門	661 ~ 665	諸職人
7	竹村吉右衛門	石工棟梁	享保年間以前	14人扶持	①太郎兵衛②吉右衛門③定次郎④吉右衛門	-	諸職人
8	村川九三郎	鉄砲台師	池田輝政代	20俵 3 人扶持		390 ~ 395	諸職人
9	日置猶(直)右衛門	刀鍛冶	岡山藩時代	5人扶持	①惣右衛門(銘②惣十郎(銘兼次)③兵右衛門(銘兼 次)④兵助(銘兼先)⑤藤蔵(甚六、直助)⑥市郎(伊勢 守、銘包次)⑦猶右衛門	166 ~ 174	御細工人並
10	斎藤東市	弓師	延享3年(1746)	20俵3人扶持	①伝兵衛②儀兵衛③東市	822 ~ 827	諸職人
11	藤丸利助	打柄師	享和2年(1802)	2人扶持	京都岡田長右衛門弟子	31 ~ 32	諸職人
12	平井善三郎	白銀師	池田輝政代(三河吉田)	28俵	①平井善弥②仁兵衛③勘兵衛④勘兵衛⑤仁兵衛⑥ 勘右衛門⑦条助⑧善三郎、2代は江戸白銀師松村又 左衛門弟子	353 ~ 358	御細工人並
13	本多(岡本)恵七郎	台師	享和元年(1801)		①多郎左衛門②恵七郎、古田判右衛門弟子・同人推 挙	571 ~ 574	
14	近藤宗十郎	研師	宝暦6年(1758)	2人扶持	①新左衛門②宗十郎	$616 \sim 619$	諸職人
15	河村権左衛門	矢師	寛政7年(1795)	3人扶持	①権兵衛②権左衛門、権兵衛を京都より誘引	$782 \sim 787$	諸職人
16	坂田平次郎	弓下地師	寛政12年(1800)	3人扶持	①林十郎②平次郎、林十郎を京都より誘引。平次郎 子菊蔵は京都岡田長右衛門弟子	828 ~ 830 843 ~ 846	諸職人
17	安城丈次郎	鎗研師	寛政12年(1800)	3人扶持	①庄作②丈次郎	623 ~ 627	諸職人
18	榎並新兵衛	鉄砲金具師	文化5年(1808)	2人扶持	渋川源次弟子·同人推挙	445	諸職人
19	鹿嶋七郎右衛門	白銀師	岡山藩時代	3人扶持		367 ~ 374	諸職人
20	山田茂助	矢師	元禄11年(1698)	3人扶持	①利助②利助③儀三郎④茂助	771 ~ 778	諸職人
21	早田忠兵衛	鍔師	慶長2年(1597)	6人扶持	①春田忠右衛門②早田(春田)忠左衛門③忠左衛門 ④忠兵衛⑤忠兵衛⑥忠兵衛⑦忠兵衛⑧忠兵衛。初 代は駿府出身。銘駿河	424 ~ 430	御細工人並
22	市浦文三郎	鞘師	文禄 3 年 (1594)	3人扶持、拝領屋敷本町2丁目		292 ~ 305	諸職人
23	寺崎林三郎	鞢師	文政10年(1827)	銀5枚		810 ~ 812	
24	渋川源次	鉄砲師	寛永12年(1635)	28俵5人扶持	①榎並宇右衛門②宇右衛門③助左衛門④権兵衛⑤ 源次⑥権兵衛(4代と同)⑦源次、初代堺より推挙。 榎並と渋川の苗字を使う	432 ~ 444	諸職人

「職人書上」(鳥取藩政資料2191)より作成。 註1 典拠資料は職人書上とあるが、すべての職人(御細工全て、同並の一部、御職人の一部)が書き上げられている訳でない。 註2「一覧表」項目は武器・武具関係職人一覧において該当する通し番号。

註2 格式は文政12年の「御支配帳」(鳥取藩政資料2024)の記述を参照した。

後記

本稿で示した職人一覧は、鳥取市在住の歴史研究家である大田勝也氏が10年以上もの歳月を費やし、藩政資料から地道にまとめられた労作をもとにしている。私家

版として鳥取県立博物館閲覧室に架蔵されていたが、学 術的価値が極めて高く、広く公開されることで斯界へ大 きな裨益をもたらすと考え、大田氏のご了解のもと掲載 したものである(大嶋記)。

鳥取藩の武器・武具関連職人一覧

職名	通番	職人名	初名等	職種	初見及び	典拠資料	備考
鐙師	1	秋田瀬七郎		鐙師(倉吉)	享和2年(1802)	控帳	倉吉鉄鐙師。享和2年召し抱え、三人扶持御支配十俵、秋田と改める。
SCI. Prip	2	秋田庄左衛門	八十次	鐙師(倉吉)	文政9年(1826)	控帳	文政9年枠八十次(庄左衛門)へ相続 瀬七郎枠。文政9年相続。文政9年庄左衛門と改名。嘉永2年枠柳蔵
	3	秋田柳蔵		鐙師(倉吉)	嘉永 2 年 (1849)	控帳	へ相続 庄左衛門忰。嘉永2年相続
	4	秋田助六		鐙師(江戸)	万延元年(1854)	控帳	江江門 J 中 6 新八乙 中 1 机
	5	鈴木徳四郎	太一郎	鐙師	文政9年(1826)	控帳	文政9年苗字御免・鈴木と改姓。嘉永5年徳四郎と改名。安政3年忰
	-		AC AP				新助へ相続
C+Hm d=	6	鈴木新助肥後		鐙師·小銃金具師 鋳物師	万延元年(1854) 明暦2年(1656)	控帳	徳四郎忰。安政3年相続。明治元年小銃金具師兼帯
鋳物師							二扫10左肋, 巨物十十 。 和
	8	辻与惣左衛門 辻与惣太夫		鋳物師 鋳物師	元禄12年(1699)	控帳	元禄12年忰与惣太夫へ相続 与惣左衛門忰。元禄12年相続
	-		A 十 本 III		,		予窓左第17年。元禄12年相続 与惣太夫忰。宝暦12年多左衛門と改名。天明3年忰半内が名代勤め。
	10	辻与惣左衛門	多左衛門	鋳物師	寛延3年(1750)	控帳	天明6年死去 与惣左衛門(多左衛門)忰。天明6年与惣左衛門と改名。のち半内と改
	11	辻半内	与惣左衛門	鋳物師	天明3年(1783)	控帳	名。文化8年忰郡蔵が名代勤。文政5年死去
	12	辻郡蔵		鋳物師	文化8年(1811)	控帳	半内枠。文政5年親跡目。天保7年忰与惣左衛門が名代勤。天保8年 二男半蔵が名代勤。嘉永2年忰与惣左衛門が名代勤。嘉永7年大筒金 物御用兼帯御免
	13	辻与惣左衛門		鋳物師	天保7年(1836)	控帳	郡蔵枠。天保8年病気、父郡蔵の代番勤御免。嘉永2年父郡蔵の名代勤
	14	辻半蔵		鋳物師	天保8年(1837)	控帳	郡蔵二男。嘉永 2 年勘当
	15	辻忠兵衛		鋳物師	寛保元年(1741)	控帳	大筒鋳物師。寛保元年死去
	16	鍋屋四郎三郎		鋳物師	安永6年(1777)	控帳	安永6年死去。
	17	鍋屋喜十郎		鋳物師	安永6年(1777)	控帳	四郎三郎忰。安永6年相続。天保14年忰忠助へ相続
	18	鍋屋忠助		鋳物師	天保14年(1843)	控帳	喜十郎忰。天保14年に相続
	19	鍋屋市左衛門		鋳物師	弘化3年(1846)	控帳	弘化3年御用聞。文久3年忰善右衛門へ相続
	20	鍋屋善右衛門		鋳物師	嘉永6年(1853)	控帳	市左衛門忰。文久3年に相続
	21	鍋屋善二		鋳物師	明治4年(1871)	目付日記	
	22	忠兵衛		鋳物師	天保3年(1832)	在方諸事控	(鳥取城下)町分新茶屋
	23	森田勝蔵		鋳物師(江戸)	嘉永2年(1849)	江戸家老日記	江戸大筒鋳物師
	24	利兵衛		鋳物師	明治2年(1869)	目付日記	雲州松江鋳物師
	25	幾之助		鋳物師	明治2年(1869)	目付日記	雲州松江鋳物師
	26	善助		鋳物師	明治2年(1869)	目付日記	伯州米子糀町鋳物師
	27	大坂屋多吉		鋳物師	明治4年(1871)	目付日記	摂州大坂上町通大砲鋳造師
	28	幾蔵		鋳物師	明治4年(1871)	目付日記	雲州松江大砲鋳物師
	29	浅七		鋳物師	明治4年(1871)	目付日記	尾州羽栗郡柳津村大砲鋳物師
打柄師	30	片平又右衛門		打柄師	宝暦3年(1753)	控帳	
	31	藤丸利助		打柄師	享和2年(1802)	控帳	乗物屋助左衛門弟。二人扶持、天保2年忰利八郎へ相続
	32	藤丸利八郎		打柄師	天保5年(1834)	控帳	利助忰。天保2年相続
	33	和利藤右衛門		打柄師	文化4年(1807)	控帳	
飾師	34	吉左衛門		飾師	明暦 3 年(1657)	控帳	宝永2年死去
	35	因幡		飾師	寛文7年(1667)	控帳	
	36	長四郎		飾師	寛文7年(1667)	控帳	因幡忰
	37	五左衛門		飾師	宝永2年(1705)	控帳	二人扶持
	38	佐右衛門		飾師	元文3年(1738)	控帳	元文3年具足師跡役
	39	足立佐右衛門		飾師·具足師	天保3年(1832)	控帳	具足師兼帯
	40	惣右衛門		飾師	安永 5 年(1776)	控帳	江戸飾師
	41	惣次郎		飾師	安永5年(1776)	控帳	惣右衛門忰。江戸飾師
	42	久兵衛		飾師(江戸)	天保14年(1843)	江戸家老日記	江戸飾師
鍛冶	43	七兵衛		鍛冶	明暦 3年(1657)	控帳	
	44	源左衛門		鍛冶	寛文4年(1664)	控帳	
	45	忠左衛門		鍛冶	延宝3年(1675)	控帳	
	46	二郎右衛門		鍛冶	延宝3年(1675)	控帳	忠左衛門忰。延宝3年追放
	47	六郎右衛門		鍛冶	延宝3年(1675)	控帳	The habit
	48	七右衛門		鍛冶	延宝3年(1675)	控帳	延宝3年自書
	49	九兵衛		鍛冶	延宝3年(1675)	控帳	延宝3年逐電
	50	作左衛門		鍛冶	延宝4年(1676)	控帳	
	51	吉兵衛		鍛冶	元禄11年(1698)	控帳	元禄11年刑罰
	52	甚四郎		鍛冶	宝永元年(1704)	控帳	宝永元年鳥取城下追放

### 153	職名	通番	職人名	初名等	職種	初見及び	典拠資料	備考
54 大大野門 銀世 公文を担当 銀世 公文を1700 25	鍛冶				鍛冶	宝永2年(1705)	控帳	
一個							1	
5日 京田 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日		55	安左衛門		鍛冶	宝永2年(1705)	控帳	
20 中田田中次 次の		56	(浜田)徳右衛門		鍛冶	宝永3年(1706)	控帳	浜田と改。明和7年忰又四郎へ相続
### 2018年代 接近野 在254年7月10日 接近野 左254年7月10日 左25		57	浜田徳右衛門	又四郎	鍛冶	明和7年(1770)	控帳	徳右衛門忰。明和7年に相続。徳右衛門と改。寛政4年甥徳平次を養え、第14年第7年17年17年17年17年17年17年17年17年17年17年17年17年17
50		-	近田徳平 <i>次</i>					
20		_		徳右衛門				
□				NO. ET HALL A		,	1	
□							1	Zana an
20日 3月世 3月日 3月		_				, ,	1	
5 5 5 5 5 5 5 5 5 5		63	久助		鍛冶	宝永3年(1706)	控帳	
20 20 20 20 20 20 20 20		64	与左衛門		鍛冶		控帳	
10 10 10 10 10 10 10 10		65	五郎兵衛		鍛冶	享保元年(1716)	控帳	
28 忠兵帝 銀治 夕奈15年1720 対照 公原域を下記念り 公成域下別治析す 夕花15年1720 対照 公成域下別治析す 夕花15年1720 対域 公成域下別治析す 夕花15年1720 対域 公成域下別治析す 夕花15年1720 対域 公成域下別治析す 夕花16年1720 対域 公成成下別治析す 夕花16年1720 対域 公成成下別治析す 夕花16年1720 対域 公成成下別治析す 夕花16年1720 対域 公成成下日本治析 公成成下日本治疗 公成成下日本治成下日本治成下日本治成下日本治成下日本治成下日本治成下日本治成下日本		66	又四郎		鍛冶	享保11年(1726)	控帳	
19		67	吉左衛門		鍛冶	享保11年(1726)	控帳	
70 本方名割門 銀治 万文3年1739 対線 五字4年1747 対線 五字4年1748 対線 五字4年174 対象 五字4年174		68	忠兵衛		鍛冶	享保12年(1727)	控帳	(鳥取城下)鍛冶町
72		69	伊兵衛		鍛冶	享保15年(1730)	控帳	(鳥取城下)鍛冶町。享保15年行方知れず
72 海产		70	亦左衛門		鍛冶	享保18年(1733)	控帳	
73 北右衛門		71	平吉		鍛冶	元文3年(1738)	控帳	
74 仁三郎 銀治 鉱草4年(1747) 控轄 鉱草4甲死主 投稿 対応・インス 対応・イ		72	清六		鍛冶	元文5年(1740)	控帳	(鳥取城下)片原一丁目
75 東部右衛門 一		73	忠右衛門		鍛冶	延享3年(1746)	控帳	
76		74	仁三郎		鍛冶	延享4年(1747)	控帳	延享4年死去
77 与患治 一般治 一般治 一定所 4 年 (1754) 一提帳 三階 4 年 (1754) 上版 上版 上版 上版 上版 上版 上版 上		75	重郎右衛門		鍛冶	寛延元年(1748)	控帳	寛延元年出奔
28 28 28 28 28 28 28 28		76	与八郎		鍛冶	宝暦元年(1751)	控帳	
一次 表も新門 一般 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次		77	与惣治		鍛冶	宝暦 4 年 (1754)	控帳	宝暦 4 年行方知れず
18		78	忠吉		鍛冶	宝暦 4 年 (1754)	控帳	
2		79	甚右衛門		鍛冶	宝暦7年(1757)	控帳	宝暦7年出奔
28		80	平太夫		鍛冶	宝暦8年(1758)	控帳	
83 加熱半型部 一般治 明和7年(1770) 控帳 孫左衛門 ・明和7年に相談 孫左衛門		81	幸三郎		鍛冶	宝暦8年(1758)	控帳	
84 茂左衛門 銀治 宝暦 1年(1761) 控帳 (鳥取核下)鍛冶町, 明和5年迪放 1940年年1763) 控帳 明和元年9段館館即用 1862年1763 控帳 明和元年9段館館即用 1862年1763 控帳 明和元年9段館館即用 1862年1763 控帳 天明2年年1763 控帳 天明2年年1763 控帳 子左衛門中、天明2年年1763 245 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 255 25		82	加納孫左衛門			宝暦8年(1758)		宝暦9年加納と改。明和7年忰半四郎へ相続。寛政4年自害
88							1	
88		-					1	
87							1	
88 岩田与左衛門 作右衛門 鍛冶 天明2年(1782) 控帳 字左衛門律。天明2年(1相続。 与左衛門 と改名。寛政5年苗字字を招出とする。曹政治、文政元年期用御放 明和3年(1766) 控帳 明和3年(1766) 控帳 明和3年(1406) 控帳 明和3年(1相談。 明和3年(1相談。 明和3年(1766) 控帳 河八本。明和3年(1相談。 明和3年(1相談) 1 選八 銀冶 銀冶 明和3年(1776) 控帳 後平治律。明和3年(1相談) 2 述則恣古 銀冶 夏水 3年(1846) 控帳 文化4年職人 苗字を並則とする。弘化3年(4406) 控帳 之水郎学 (4年職人) 苗字を並則とする。弘化3年(4407) 控帳 地古作。弘化3年(1407) 控帳 地方体。夏政4年(1407) 控帳 明和7年(1770) 控帳 小左衛門 安水8年(1779) 控帳 小左衛門 安水8年(1779) 控帳 小左衛門 安水8年(1779) 控帳 (4月政府) 銀冶市、安水2年(1789) 控帳 (4月政府) 銀冶 安水9年(1879) 控帳 小左衛門 銀冶 東公2年(1879) 控帳 小左衛門 銀光 小左衛門と改名。万延元年卿用 の本6年(1879) 控帳 少左衛門 銀光 小左衛門と改名。万延元年卿用 の本6年(1879) 控帳 少左衛門 銀光 小左衛門と改名。万延元年卿用 の本6年(1879) 控帳 少左衛門 銀光 小左衛門と改名。万延元年卿用 金郎 安上日とする。曹極兼帝		_		/b/			1	
89 源八 銀冶 明和3年(1766) 控帳 明和3年(1766) 控帳 明和3年(1766) 控帳 明和3年(1766) 控帳 明和3年(1766) 控帳 四和8年(1771) 控帳 龍水 四和8年(1771) 控帳 龍水 四和8年(1771) 控帳 龍水 四和8年(1771) 控帳 龍水 四和8年(1771) 控帳 七年職人 前字を並用とする。弘化3年(中忠水郎へ相続 93 並用忠水郎 銀冶 原治 原治 原治 受赦 投帳 交化4年職人 前字を並用とする。弘化3年(中忠水郎へ相続 94 (並用) (健三郎 銀冶 度数 4年(1792) 控帳 忠木郎中 北水郎中 金水郎中 東水郎中 銀冶 東水郎中 銀布 東水郎中 銀布 東水郎中 銀布 東水郎中 投帳 明和7年(1770) 控帳 明和7年(1770) 控帳 小左衛門 銀冶 安水8年(1779) 控帳 小左衛門中。安水8年(1748) 投票 小左衛門中。安水8年(1748) 投票 小左衛門中。安水8年(1748) 投票 小左衛門中。安水8年(1779) 控帳 安水8年(1779) 投票 安水8年(1779) 安藤 安水8		-						
90		88		作石衛門		大明2年(1782)		字を岩田とする。轡鍛冶。文政元年御用御放
91 源八		-					1	
29 並川惣吉 銀冶 明和3年(1766) 控帳 文化4年職人 苗字を並川とする。弘化3年忰忠次郎へ相続 93 並川忠次郎 銀冶 弘化3年(1846) 控帳 惣古幹。弘化3年に相続 独次郎幹 銀冶 東応3年(1867) 控帳 忠次郎幹 忠次郎幹 北次郎幹 銀冶 東応3年(1879) 控帳 北京衛門 銀冶 安永8年(1779) 控帳 明和7年(1770) 控帳 京永8年(1779) 控帳 宋永8年(1779) 控帳 安永8年(1779) 控帳 宋明5年(1785) 控帳 利兵衛子 銀冶 天明5年(1785) 控帳 利兵衛子 銀冶 天明5年(1785) 控帳 利兵衛子 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東		-						
93 並用忠次郎		_	-				1 1	12 / 12/17 2 / 17/17 2 / 17/17
94 (並川) 儀三郎 鍛冶 慶応3年(1867) 控帳 忠次郎忰 95 新六 鍛冶 明和6年(1769) 控帳 (鳥取城下)川外大工町。寛政4年件次郎兵衛へ相続 96 次郎兵衛 鍛冶 寛政4年(1792) 控帳 新六枠。寛政4年に相続 97 小左衛門 鍛冶 明和7年(1770) 控帳 明和7年御用開。安永8年枠源右衛門へ相続 98 源右衛門 鍛冶 安永8年(1779) 控帳 小左衛門枠。安永8年に相続 99 茂左衛門 鍛冶 安永8年(1777) 控帳 (鳥取城下)大工町。安永2年刑罰 100 権左衛門 鍛冶 安永8年(1776) 控帳 101 惣三郎 鍛冶 安永8年(1777) 控帳 102 分次郎 鍛冶 安永8年(1779) 控帳 安永8年行方知れず 103 十太夫 鍛冶 天明2年(1782) 控帳 (鳥取城下)片原二丁目 104 利兵衛 鍛冶 天明5年(1785) 控帳 利兵衛弟子 105 三蔵 鍛冶 天明5年(1785) 控帳 利兵衛弟子 106 利右衛門 鍛冶 寛政9年(1797) 控帳 天保13年(242) 控帳 107 小左衛門 小左衛門 ・原改9年(1797) 控帳 「東級一小助へ相続 小左衛門と改名・万延元年側用 109 長右衛門 ・財治		_						
95 新六 鍛冶 明和6年(1769) 控帳 (鳥取城下)川外大工町。寛政4年忰次郎兵衛へ相続 96 次郎兵衛 鍛冶 寛政4年(1792) 控帳 新六体。寛政4年に相続 97 小左衛門 鍛冶 明和7年(1770) 控帳 明和7年御用間。安永8年中源右衛門へ相続 98 源右衛門 鍛冶 安永8年(1779) 控帳 小左衛門枠。安永8年に相続 99 茂左衛門 鍛冶 安永5年(1776) 控帳 (鳥取城下)大工町。安永2年刑罰 100 権左衛門 鍛冶 安永8年(1779) 控帳 安永8年(1779) 控帳 101 惣三郎 鍛冶 安永8年(1779) 控帳 安永8年(7万知れず (鳥取城下)片原二丁目 102 分次郎 鍛冶 天明2年(1782) 控帳 (鳥取城下)片原二丁目 103 十太夫 鍛冶 天明5年(1785) 控帳 利兵衛弟子 104 利兵衛 鍛冶 天明5年(1785) 控帳 利兵衛弟子 105 三蔵 鍛冶 天明5年(1785) 控帳 利兵衛弟子 106 利右衛門 鍛冶 寛政9年(1797) 控帳 大上衛衛門と改名。万延元年制施 107 小左衛門 鍛冶 寛								
96 次郎氏衛 鍛冶 寛政4年(1792) 控帳 新六埠。寛政4年に相続 97 小左衛門 鍛冶 明和7年(1770) 控帳 明和7年御用間。安永8年埠源右衛門へ相続 98 源右衛門 鍛冶 安永8年(1779) 控帳 小左衛門枠。安永8年に相続 99 茂左衛門 鍛冶 安永5年(1776) 控帳 (鳥取城下)大工町。安永2年刑罰 100 権左衛門 鍛冶 安永8年(1779) 控帳 安永8年行方知れず 101 惣三郎 鍛冶 安永8年(1779) 控帳 安永8年行方知れず 102 分次郎 鍛冶 天明2年(1782) 控帳 (鳥取城下)片原二丁目 103 十太夫 鍛冶 天明5年(1785) 控帳 利兵衛弟子 104 利兵衛 銀冶 天明5年(1785) 控帳 利兵衛弟子 105 三蔵 銀冶 寛政元年(1789) 控帳 天保13年枠小助へ相続 106 利右衛門 銀冶 寛政9年(1797) 控帳 天保13年や小助へ相続 107 小左衛門 小左衛門と改名。万延元年御用門を収入の衛門と改名。万延元年御用門を収入の衛門と改名。万延元年御用門を収入の衛門と改名。万延元年御用門を収入の衛門と改名。万延元年御用門を収入の衛門と改名。万延元年御用門を収入の衛門と改名。京延元年の一株 109 長右衛門 銀冶 寛政1年(1799) 控帳 (鳥取城下)・東京・文化3年・藤助へ相続 10 次郎兵衛 寛政日・第2年(1806)							1	
97 小左衛門 鍛冶 明和7年(1770) 控帳 明和7年御用間。安永8年体源右衛門へ相続 98 源右衛門 鍛冶 安永8年(1779) 控帳 小左衛門や。安永8年に相続 99 茂左衛門 鍛冶 安永2年(1773) 控帳 (鳥取城下)大工町。安永2年刑罰 100 権左衛門 鍛冶 安永8年(1779) 控帳 101 惣三郎 鍛冶 安永8年(1779) 控帳 102 分次郎 鍛冶 安永8年(1779) 控帳 103 十太夫 鍛冶 天明2年(1782) 控帳 (鳥取城下)片原二丁目 104 利兵衛 鍛冶 天明5年(1785) 控帳 利兵衛弟子 105 三蔵 鍛冶 天明5年(1785) 控帳 利兵衛弟子 106 利右衛門 鍛冶 寛政元年(1789) 控帳 大保13年忰小助へ相続 107 小左衛門 鍛冶 寛政9年(1797) 控帳 大保3年に相続。小左衛門と改名。万延元年御用 109 長右衛門 鍛冶 寛政9年(1797) 控帳 小左衛門舎。天保13年に相続。小左衛門と改名。所述を除して3年第・藤助へ相続 110 次郎兵衛 鍛冶 寛政1年(1799) 控帳 次郎兵衛帝の。文化3年前来を上田とする。響師兼常 111 藤助 第台・響師 寛政12年(1800) 控帳 次郎兵衛帝の弟のより、全部を上田とする。響師兼常		_						
98 源右衛門 鍛冶 安水8年(1779) 控帳 小左衛門枠。安水8年に相続 99 茂左衛門 鍛冶 安水8年(1773) 控帳 (鳥取城下)大工町。安水2年刑罰 100 権左衛門 鍛冶 安水8年(1776) 控帳 101 惣三郎 鍛冶 安水8年(1779) 控帳 102 分次郎 鍛冶 安水8年(1779) 控帳 103 十太夫 鍛冶 天明2年(1782) 控帳 104 利兵衛 鍛冶 天明5年(1785) 控帳 105 三蔵 鍛冶 天明5年(1785) 控帳 106 利右衛門 鍛冶 寛政元年(1789) 控帳 107 小左衛門 鍛冶 寛政9年(1797) 控帳 108 小左衛門 小助 鍛冶 天保13年(1842) 控帳 小左衛門枠。天保13年に相続。小左衛門と改名。万延元年御用 109 長右衛門 鍛冶 寛政9年(1797) 控帳 寛政9年自書 110 次郎兵衛 鍛冶 寛政11年(1799) 控帳 (鳥取城下)銀合町。文化3年前・藤助へ相続 111 藤助 銀冶・轡師 寛政12年(1800) 控帳 次郎兵衛・弟。文化3年に相続 112 上田安左衛門 鍛冶・轡師 寛政12年(1800) 控帳 寛政12年御用間。文政9年首字を上田とする。巻師兼帯		_						
99 茂左衛門 鍛冶 安永2年(1773) 控帳 (鳥取城下)大工町。安永2年刑罰 100 権左衛門 鍛冶 安永5年(1776) 控帳 101 惣三郎 鍛冶 安永8年(1779) 控帳 102 分次郎 鍛冶 安永8年(1779) 控帳 103 十太夫 鍛冶 天明2年(1782) 控帳 104 利兵衛 鍛冶 天明5年(1785) 控帳 105 三蔵 鍛冶 天明5年(1785) 控帳 106 利右衛門 鍛冶 寛政元年(1789) 控帳 107 小左衛門 鍛冶 寛政9年(1797) 控帳 天保13年忰小助へ相総 108 小左衛門 小財 銀冶 東政9年(1797) 空帳 大保3年中小助へ相総 109 長右衛門 鍛冶 寛政9年(1797) 空帳 東京9年自書 東京9年自書 110 次郎兵衛 銀冶 寛政11年(1799) 空帳 (鳥取城下)銀冶町。文化3年弟・藤助へ相続 111 藤助 銀冶・轡師 寛政12年(1800) 控帳 次郎兵衛・弟。文化3年に相続 112 上田安左衛門 銀冶・轡師 寛政12年(1800) 控帳 次郎兵衛用間。文政9年苗字を上田とする。轡師兼帯		-					-	
100 権左衛門 銀冶 安永5年(1776) 控帳 101 惣三郎 銀冶 安永8年(1779) 控帳 安永8年(779) 控帳 (鳥取城下)片原二丁目 104 利兵衛 銀冶 欠明5年(1785) 控帳 利兵衛弟子 105 三蔵 銀冶 寛政元年(1785) 控帳 利兵衛弟子 106 利右衛門 銀冶 寛政9年(1797) 控帳 天保13年枠小助へ相続 107 小左衛門 銀冶 寛政9年(1797) 控帳 天保13年枠小助へ相続 108 小左衛門 小助 銀冶 定政9年(1842) 控帳 小左衛門や。天保13年に相続。小左衛門と改名。万延元年御用目 109 長右衛門 銀冶 寛政9年(1797) 控帳 寛政9年自書 110 次郎兵衛 銀冶 寛政11年(1799) 控帳 (鳥取城下)銀冶町。文化3年弟・藤助へ相続 111 藤助 銀冶 文化3年(1806) 控帳 次郎兵衛・弟。文化3年に相続 112 上田安左衛門 銀冶・轡師 寛政12年(1800) 控帳 寛政12年御用間。文政9年苗字を上田とする。轡師兼帯		-						
101 惣三郎 鍛冶 安永8年(1779) 控帳 安永8年(779) 存帳 (鳥取城下)片原二丁目 104 利兵衛 鍛冶 天明5年(1785) 控帳 利兵衛弟子 105 三蔵 鍛冶 寛政元年(1789) 控帳 利兵衛弟子 106 利右衛門 鍛冶 寛政9年(1797) 控帳 天保13年枠小助へ相続 107 小左衛門 小皮衛門 鍛冶 寛政9年(1797) 控帳 大保13年に相続。小左衛門と改名。万延元年御用目 109 長右衛門 鍛冶 寛政9年(1797) 控帳 寛政9年自書 110 次郎兵衛 鍛冶 寛政9年(1797) 控帳 寛政9年自書 111 藤助 鍛冶 寛政12年(1806) 控帳 次郎兵衛・弟。文化3年に相続 112 上田安左衛門 鍛冶・轡師 寛政12年(1800) 控帳 寛政12年御用間。文政9年苗字を上田とする。轡師兼帯		_					1	(高切ながみ 1 / 八上門 0 久小 4 平川計画)
102 分次郎 鍛冶 安永8年(1779) 控帳 安永8年(7万知れず 103 十太夫 銀冶 天明2年(1782) 控帳 (鳥取城下)片原二丁目 104 利兵衛 銀冶 天明5年(1785) 控帳 105 三蔵 銀冶 天明5年(1785) 控帳 利兵衛弟子 106 利右衛門 銀冶 寛政元年(1789) 控帳 107 小左衛門 銀冶 寛政9年(1797) 控帳 天保13年件小助へ相続 108 小左衛門 小助 銀冶 天保3年(1842) 控帳 小左衛門体。天保13年に相続。小左衛門と改名。万延元年御用 109 長右衛門 銀冶 寛政9年(1797) 控帳 寛政9年自書 110 次郎兵衛 銀冶 寛政11年(1799) 控帳 (鳥取城下)銀冶町。文化3年弟・藤助へ相続 111 藤助 銀冶 文化3年(1806) 控帳 次郎兵衛・弟。文化3年に相続 112 上田安左衛門 銀冶・轡師 寛政12年(1800) 控帳 寛政12年御用間。文政9年苗字を上田とする。轡師兼帯		_						
103		-						安永8年行方知れず
104 利兵衛 鍛冶 天明5年(1785) 控帳 105 三蔵 鍛冶 天明5年(1785) 控帳 利兵衛弟子 106 利右衛門 鍛冶 寛政元年(1789) 控帳 107 小左衛門 鍛冶 寛政9年(1797) 控帳 天保13年件小助へ相続 108 小左衛門 小助 鍛冶 天保3年(1842) 控帳 小左衛門枠。天保13年に相続。小左衛門と改名。万延元年御用門 109 長右衛門 鍛冶 寛政9年(1797) 控帳 寛政9年自害 110 次郎兵衛 鍛冶 寛政11年(1799) 控帳 (鳥取城下)鍛冶町。文化3年・藤助へ相続 111 藤助 鍛冶 文化3年(1806) 控帳 次郎兵衛・弟。文化3年に相続 112 上田安左衛門 鍛冶・轡師 寛政12年(1800) 控帳 寛政12年御用間。文政9年苗字を上田とする。轡師兼帯		-						
105 三蔵 鍛冶 天明5年(1785) 控帳 利兵衛弟子 106 利右衛門 鍛冶 寛政元年(1789) 控帳							1	VIII - 1-1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1 - 1/1
106 利右衛門 鍛冶 寛政元年(1789) 控帳 107 小左衛門 鍛冶 寛政9年(1797) 控帳 天保13年枠小助へ相続 108 小左衛門 小助 鍛冶 天保13年(1842) 控帳 小左衛門枠。天保13年に相続。小左衛門と改名。万延元年御用目 109 長右衛門 鍛冶 寛政9年(1797) 控帳 寛政9年自害 110 次郎兵衛 鍛冶 寛政11年(1799) 控帳 (鳥取城下)鍛冶町。文化3年・藤助へ相続 111 藤助 鍛冶 文化3年(1806) 控帳 次郎兵衛・弟。文化3年に相続 112 上田安左衛門 鍛冶・轡師 寛政12年(1800) 控帳 寛政12年御用間。文政9年苗字を上田とする。轡師兼帯		_						利兵衛弟子
107 小左衛門 鍛冶 寛政 9 年(1797) 控帳 天保13年中小助へ相続 108 小左衛門 小助 鍛冶 天保13年(1842) 控帳 小左衛門や。天保13年に相続。小左衛門と改名。万延元年御用目 109 長右衛門 鍛冶 寛政 9 年(1797) 控帳 寛政 9 年自書 110 次郎兵衛 銀冶 寛政11年(1799) 控帳 (鳥取城下)鍛冶町。文化 3 年弟・藤助へ相続 111 藤助 銀冶 文化 3 年(1806) 控帳 次郎兵衛・弟。文化 3 年に相続 112 上田安左衛門 鍛冶・響師 寛政12年(1800) 控帳 寛政12年御用間。文政 9 年苗字を上田とする。響師兼帯		-	-					
108 小左衛門 小助 鍛冶 天保13年(1842) 控帳 小左衛門枠。天保13年に相続。小左衛門と改名。万延元年御用 109 長右衛門 鍛冶 寛政 9 年 (1797) 控帳 寛政 9 年 自書 110 次郎兵衛 銀冶 寛政11年 (1799) 控帳 (鳥取城下)銀冶町。文化 3 年 弟・藤助へ相続 111 藤助 銀冶 文化 3 年 (1806) 控帳 次郎兵衛・弟。文化 3 年 に相続 112 上田安左衛門 銀冶・轡師 寛政12年 (1800) 控帳 寛政12年 御用間。文政 9 年 苗字を上田とする。轡師兼帯		-						天保13年忰小助へ相続
109 長右衛門 鍛冶 寛政9年(1797) 控帳 寛政9年自書 110 次郎兵衛 鍛冶 寛政11年(1799) 控帳 (鳥取城下)鍛冶町。文化3年弟・藤助へ相続 111 藤助 鍛冶 文化3年(1806) 控帳 次郎兵衛・弟。文化3年に相続 112 上田安左衛門 鍛冶・轡師 寛政12年(1800) 控帳 寛政12年御用間。文政9年苗字を上田とする。轡師兼帯				小助				小左衛門忰。天保13年に相続。小左衛門と改名。万延元年御用聞御免
110 次郎兵衛 鍛冶 寛政11年(1799) 控帳 (鳥取城下)鍛冶町。文化3年弟・藤助へ相続 111 藤助 鍛冶 文化3年(1806) 控帳 次郎兵衛・弟。文化3年に相続 112 上田安左衛門 鍛冶・轡師 寛政12年(1800) 控帳 寛政12年御用間。文政9年苗字を上田とする。轡師兼帯		_					1	
111 藤助 鍛冶 文化3年(1806) 控帳 次郎兵衛・弟。文化3年に相続 112 上田安左衛門 鍛冶・轡師 寛政12年(1800) 控帳 寛政12年御用間。文政9年苗字を上田とする。轡師兼帯		110						(鳥取城下)鍛冶町。文化3年弟・藤助へ相続
112 上田安左衛門 鍛冶・轡師 寛政12年(1800) 控帳 寛政12年御用聞。文政9年苗字を上田とする。轡師兼帯								
		112	上田安左衛門					
110 2008 3010 子410年(1001) 11数 子410年呼順百数权呼用		113	甚次郎		鍛冶	享和元年(1801)	控帳	享和元年御船宮鉄物御用

職名	通番	職人名	初名等	職種	初見及71	典拠資料	備考
鍛冶	114	六次郎	10/11 43	鍛冶	享和3年(1803)	控帳	(鳥取城下)鍛冶町
JAN III	115	六左衛門		鍛冶	文化5年(1808)	控帳	文化5年御用聞
	116	文五郎		鍛冶	文化5年(1808)	控帳	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
	117	文三郎		鍛冶	文化7年(1810)	控帳	
	118	加納文七		鍛冶	文化9年(1812)	控帳	文化14年御用御免
	119	江村新右衛門	藤助	鍛冶	文化14年(1817)	控帳	文化14年加納文七代り、苗字を江村とする。文政10年新右衛門と改名。
	120	江村直十郎	784.774	鍛冶・具足地鉄師・	安政5年(1858)	控帳	安政5年忰直十郎へ相続 新右衛門忰。安政5年に相続。具足地鉄師兼帯。明治元年小銃金具師
				小銃金具師			兼带
	121	六三郎		鍛冶	文化10年(1813)	控帳	(鳥取城下)鍛冶町
	122	小三郎		鍛冶	文化10年(1813)	控帳	文化10年暇
	123	久三郎 利三郎		鍛冶	文化10年(1813)	控帳	小三郎忰。文化10年親小三郎代勤
	124 125	源右衛門		鍛冶	文化11年(1814)	因府年表 控帳	(鳥取城下)鍛冶町。文政3年御用聞。安政4年忰伝十郎へ相続
	126				文政3年(1820)	控帳	
	120	伝十郎 幸内		鍛冶	安政4年(1857)	控帳	源右衛門忰。安政4年に相続 (鳥取城下)鍛冶町。文政7年御用聞。弘化3年忰徳三郎へ相続
	128	徳三郎		鍛冶	文政7年(1824) 弘化3年(1846)	控帳	幸内华。弘化3年に相続
	129	港蔵		鍛冶	天保8年(1837)	控帳	御船宮(御船手)御用聞鍛冶。天保8年退身
	130	藤五郎		鍛冶	天保11年(1840)	控帳	天保11年御用聞御免
	131	七兵衛		鍛冶	弘化3年(1845)	控帳	人体11-4-14-14-14-14-14-14-14-14-14-14-14-14
	132	吉本儀右衛門		鍛冶	文久3年(1863)	控帳	文久3年苗字を吉本とする
	133	吉本儀兵衛		鍛冶	慶応2年(1866)	控帳	(株石衛門忰
	134	長次郎		鍛冶	嘉永 2 年 (1849)	控帳	按(江州) J片
	135	嘉助		鍛冶	嘉永 2 年 (1849)	控帳	
	136	利八郎		鍛冶	嘉永3年(1850)	控帳	嘉永 3 年 御 用 聞
	137	長助		鍛冶	嘉永3年(1850)	控帳	嘉永3年職人
	138	菊一屋(榎並)次郎兵衛		鍛冶	嘉永 4 年 (1851)	控帳	嘉永4年御用聞。文久2年忰市右衛門へ相続
	139	榎並(菊一屋)市右衛門		鍛冶	文久2年(1862)	控帳	次郎兵衛忰。文久2年に相続。元治2年職人、苗字を榎並とする
	140	源左衛門		鍛冶	安政2年(1855)	控帳	八郎発用件。天八五十七年前の元田五十城八十四十七次正とする
	141	次郎兵衛		鍛冶	安政2年(1855)	控帳	
	142	又次郎		鍛冶	安政2年(1855)	控帳	
	143	助左衛門		鍛冶	安政3年(1856)	控帳	新品治町。安政3年死去
	144	幸八		鍛冶	安政3年(1856)	控帳	安政3年御用聞
	145	源八		鍛冶	万延元年(1860)	控帳	万延元年御用聞。慶応元年忰庄八へ相続
	146	庄八		鍛冶	慶応元年(1865)	控帳	源八忰。慶応元年に相続
	147	忠蔵		鍛冶·轡師	万延元年(1860)	控帳	(鳥取城下)鍛冶町。万延元年武器製造方御用聞。文久2年轡師兼帯
	148	卯一郎		鍛冶	万延元年(1860)	控帳	(鳥取城下)今町二丁目。万延元年御用聞
	149	久七		鍛冶	文久元年(1861)	控帳	文久元年武器製造役所御用聞
	150	甚三郎		鍛冶	文久元年(1861)	控帳	文久元年病気につき伝十郎へ御用向振替
	151	源兵衛		鍛冶	文久2年(1862)	控帳	(鳥取城下)鍛冶町
	152	又次郎		鍛冶	文久2年(1862)	控帳	
	153	善四郎		鍛冶	文久2年(1862)	控帳	
	154	佐一郎		鍛冶	文久2年(1862)	控帳	
	155	忠兵衛		鍛冶	元治元年(1864)	控帳	(鳥取城下)下横町。元治元年御用聞
	156	庄右衛門		鍛冶·小銃金具師	元治元年(1864)	控帳	小銃金具師兼帯
	157	源三郎		鍛冶	元治2年(1865)	控帳	元治2年主税様(東館10代池田徳澄)鍛冶御用聞
	158	儀一郎		鍛冶	慶応元年(1865)	控帳	慶応元年武器製造方御用聞
	159	吉兵衛		鍛冶	慶応3年(1867)	控帳	倉吉町鍛冶
刀鍛冶	160	(山本)八郎太夫		刀鍛冶	万治2年(1659)	控帳	鍛冶銘:信濃大掾藤原忠国
	161	山本八郎太夫		刀鍛冶	元禄15年(1702)	控帳	八郎太夫忰。宝永6年苗字御免、山本と改める。五人扶持。鍛冶名:信 濃大掾藤原忠国
	162	山本八郎太夫	忠次郎	刀鍛冶	享保5年(1720)	控帳	張人塚藤原忠国 八郎太夫忰。宝暦7年忰八郎治へ相続
	163	山本八郎太夫	八郎治	刀鍛冶	宝暦7年(1757)	控帳	八郎太夫忰。宝暦7年に相続。明和3年八郎太夫と改名。文化9年忰
			11944				八之進へ相続
	164	山本八之進	進炉前 11十十	刀鍛冶	文化9年(1812)	控帳	八郎太夫忰。文化9年に相続
	165	山本八之進	浅次郎、八太夫	刀鍛冶	安政3年(1856)	控帳	八之進忰。安政5年八太夫と改名。慶応3年八之進と改名
	166	(日置)兵右衛門		刀鍛冶	元禄7年(1694)	控帳	兵右衛門兼先·兼次。元禄7年死去 丘士衛門恭 第42.2年死去 經公致 華生
	167	日置兵助日置源次郎		刀鍛冶	元禄7年(1694) 京保5年(1720)	控帳	兵右衛門忰。寛保3年死去。鍛冶銘:兼先
	168				享保5年(1720)	控帳	兵助弟。鍛冶銘:兼先
	169	日置三治		刀鍛冶	享保5年(1720)	控帳	銀冶銘: 兼先 兵助忰。四人扶持。苗字を藤掛と改める。直助と改名。寛政5年苗字を
	170	日置(藤掛)直助	甚六	刀鍛冶	寛保3年(1743)	控帳	日置と改姓。文化8年市郎忰矢三郎へ相続。文政9年孫直右衛門へ相続。
	171	日置市郎	広助	刀鍛冶	寛政5年(1793)	控帳	直助忰。寛政5年市郎と改名、諱を包次と改める。文化2年「伊勢守」 を受領
	172	日置猶右衛門	矢三郎、直右 衛門	刀鍛冶	文化8年(1811)	控帳	市郎枠。文化8年に直助の家督を相続。直右衛門と改名。文政9年に相続。文政12年猶右衛門と改名。天保3年枠広次郎へ相続
		I.	[HEI]	I.		1	川柳ル 入坂14十月1日円11日に以右。八休3十円以八郎、竹桃

2	
173 日本電子部 大型の	・ と富三郎へ相続
175 深級原人生 175 次級原人生 175 次公司 275 次公	
15	養八郎へ相続。鍛冶銘 : 美濃
177 別話計画 別談的 次数的 次数 次数 次数 次数 次数 次数	
20	・
179 海野県水路 180 月銀節 小泉を食用 大変とならいのの 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200	
180 株部助九(七)部	
182 秋川東三郎 万殿治 万殿治 万殿治 村田 八田元年(1880) 村田 八田田 八田	ウナ・供海 レナフ
18.	
188 富年和一郎	
184 古谷中古	哭魁浩役所御田問 苗空を藤
188 佐 全 本	
 全月節 186 三品政火形 力 (元と) (金月節) (金月節) (明治 年 (1655)) (投稿) (投稿) (日間) (金月節) (五月十年) (金月節) (日間) 	
金貝爾 187 另一三左南門 金貝爾 明陽3年(1657) 控帳 188 第二左南門 金月廟 明第3年(1657) 控帳 190 中総権平 金月廟 金月廟 女友名年(1763) 控帳 190 中総権平 金月廟 金月廟 女子名子和(1763) 控帳 株平社会 金月廟 190 中総権平 全次郎 金月廟 女女子年(1763) 控帳 権学件・素学人名、変女子年課務人左衛門(1974) 投帳 権学学子、推平工会名、変女子年課務人左衛門(1974) 担帳 権学学子、推平工会名、変女子年課務人左衛門(1974) 担帳 権学学会、推平工会名、変女子年課務人左衛門(1974) 担帳 権学学会、推平工会名、変女子年課務人左衛門(1974) 担帳 権学学会、推平工会名、変女子年課務人左衛門等へ名(1975) 投帳 権学学会、推平工会名、変女子年課務人左衛門等へ名(1975) 投帳 権学学会、大党の主義の人を立名、党女子年課務人左衛門等へ名(1975) 投帳 長年門へ、文女の主通会 生徒	打門闪弗子
188 株三本族門 金具師 明医3年(1657) 拉板 技術 技術 全具師 安文年(1658) 拉板 安水子中等次的人名代勤 190 中尾榛甲 金具師 安太子中等次的人名代勤 201 中尾榛甲 李衣郎 金具師 宋期(3年(1753) 拉板 按平摩、	
189 株在衙門 金具節 安文8年(1688) 控版 安文5年(中安次原へ名代物 190 中尾椎字 金具節 安加 安加 安加 安加 安加 安加 安加 安	
190 中尾椎平 金具節 空間3年(1763) 控襲 安永5年件率次郎へ名代勤 191 中尾椎之進 金具節 全月節 安水5年(1776) 控襲 梅平坪・棒平上改名、宽放7年误配九左衛刊(1764) 192 中尾椎平 泰成 金具節 金良万年(1776) 控襲 梅平坪・榛平上改名、宽放7年误配九左衛刊(1764) 193 中尾椎平 泰藏 金具節 金具節 文化2年(1876) 控襲 梅平東・榛平上改名、宽放7年误配九左衛刊(1764) 194 中尾甲平 金具節 女儿2年(1876) 控襲 梅平東・東北市 本社 4年(1767) 经票 4年(1767) 4年(1767	
192 中尾椎子 中尾丸子 全具師 女化2年(1856) 控椎 推呼作 在 在 在 在 在 在 在 在 在	
192 中尾榛平 李次郎 金貝師 安永5年(1776) 控帳 榛平华。株平之改名。寛政7年(385) 行任上子 接帳 秦平华。株平之改名。寛政7年(385) 持帳 中尾所平 金貝師 宮政7年(1736) 技帳 春平停。次政元年3身 中尾所平 金貝師 東北南平(1736) 技帳 李平停。次政元年3身 中尾所平 金貝師 明和元年(1736) 技帳 安年停泉系十념後 明和元年(1736) 技帳 天全身師 明和元年(1736) 技帳 天在南門作。明和元年14組億 中川白銀原 五郎 金貝師 明和4年(1767) 技帳 天全身師 明和4年(1767) 技帳 不全身師 明和4年(1767) 技帳 不全身師 明和4年(1767) 技帳 大左南門作。明和4年(1767) 技帳 大左南門作。明和4年(1767) 技帳 大空水平位。 東部4年(1767) 技帳 大空水平位。 東部4年(1767) 技帳 大空水平位。 東部4年(1767) 技帳 大空水平位。 東部4年(1767) 技帳 大空水平位。 東北京市中大学、文比2年代成小組修 大型水平位。 東京水平中尾体平1代力9全具師 大型・中川代歌 全具師 文政元年(1818) 技帳 鉄橋師、文政元年中尾体平1代力9全具師 大型・中川代歌 全具師 文及2年(1818) 技帳 鉄橋師、文政元年中尾体平1代力9全具師 大型・中川大学・大型・中ドで成へ組修 大型・中川大学・大型・中ドで成へ組修 大型・中川大学・大型・中ドで成へ組修 大型・中川大学・大型・中ドで成へ組修 大型・中川大学・大型・中ドで成へ組修 大型・中川大学・大型・中川大学・大型・中ドで成へ組修 大型・中川大学・大型・中ドで成へ組修 大型・中川大学・大型・中川大学・大型・中川大学・大型・中川大学・大型・中川大学・大型・中川大学・大型・中川大学・大型・中川大学・大型・中川大学・大型・中川大学・大型・中川大学・大型・大型・中川大学・大型・中川大学・大型・中川大学・大型・大型・中川大学・大型・中川大学・大型・中川大学・大型・中川大学・大型・中川大学・大型・中川大学・大型・大型・大型・中川大学・大型・中川大学・大型・中川大学・大型・中川大学・大型・中川大学・大型・中川大学・大型・中川大学・大型・中川大学・大型・中川大学・大型・中川大学・大型・中川大学・大型・中川大学・大型・中川大学・大型・大型・中川大学・大型・中川大学・大型・中川大学・大型・中川大学・大型・中川大学・大型・中川大学・大型・中川大学・大型・中川大学・大型・中川大学・大型・中川大学・大型・大型・中川大学・大型・中川大学・大型・中川大学・大型・中川大学・大型・中川大学・大型・大型・中川大学・大型・中川大学・大型・中川大学・大型・中川大学・大型・中川大学・大型・中川大学・大型・中川大学・大型・中川大学・大型・中川大学・大型・中川大学・大型・中川大学・大型・中川大学・大型・中川大学・大型・中川大学・大型・中川大学・大型・中川大学・大型・中川大学・大型・中川大学・大型・中川大学・大型・中川大学・大型・中川大学・大型・大型・大型・大型・大型・大型・大型・大型・大型・大型・大型・大型・大型・	
150 中巴修平 金具師 女化2年(125) 芸術 在し上げ 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日	
194 中尾啄平 金具師 文化2年(1856) 接帳 本平學、文政元年過身 195	へ名代勤。文政元年御扶持を
196 妖龙海門 金具師 明和元年(1764) 控帳 明和元年体科疾病、相接 197 程疾帝 金具師 明和4年(1767) 控帳 朱丕泰川縣 明和4年(1767) 控帳 朱丕泰川縣 明和4年(1767) 控帳 朱丕泰具師 明和4年(1767) 控帳 朱子金具師 194 年前学生中川之十念。文化2年特化硫/相差 200 模址水郎兵衛 金具師 文政元年(1818) 控帳 数線師。文数元年中尾権平に代わり金具師 公化2年(1816) 控帳 数線師。文数元年中尾権平に代わり金具師 公化2年(1816) 控帳 少数年 全具師 宋皇師 宋皇年(1657) 控帳 安教音 李龍珍年 宋皇帝司李を被とする 全具師 宋皇帝司李を称称。文文7年淮田青衆(名代青禮養子)師召初即甲 次郎-相接 北京縣 宋皇帝司李を称称。 本皇師 宋皇帝司李を称と 年記書 宋皇帝司李を称と 年記書 宋皇帝司李帝司李帝司李帝司李帝司李帝司李帝司李帝司李帝司李帝司李帝司李帝司李帝司李帝	
196 利兵衛 金具師 明和4年(1764) 控報 兵左衛門神。明和4年13身 197 理兵衛 金具師(米子) 明和4年(1767) 控報 朱子金具師。明和4年33身 198 中川(白規用)百五郎 金具師(米子) 明和4年(1767) 控報 朱子金具師。明和4年33身 199 中川(白規用)百五郎 金具師(米子) 明和4年(1767) 控報 年前字を中川上する。文化2年特代蔵へ相談 200 模述が取兵衛 金具師 文化2年(1805) 控報 安成師。文佐2年14相談 201 長槽 金具師 文化2年(1818) 控報 安成師。文文元年中石徳平に代わり金具師 202 安収素台 金具師 文人2年(1842) 控報 安成師。文文元年中石徳平に代わり金具師 203 紫古 年記師 宋設師 安和3年(1857) 控報 次化2年(1845) 经报 波在海門中 切付師 京程2年(1262) 经报 波在海門中 明和3年(1266) 经报 波在海門中 明和3年(1266) 经报 波在海門中 明和3年(1266) 经报 波在海門中 列付師 次化2年(1845) 经报 波在海門中 列付師 次九2年(1845) 经报 次化2年(1845) 经报 经报 经报 经报 经报 经报 经报 经	
199 中川(白展展)吉五郎 金具師(來子) 明和 4年(1767) 接腰 年面子至中用之字5。文化2 年午代藏~相接 200 模述次原兵衛 金具師 文放文年(1885) 控賬 技帳 分配单件、文化2 年代(藏~相接) 201 接種 公成金具師 文放文年(1885) 控賬 技帳 交配元年中尾律平仁代力 6 全具師 文成文年(1885) 控賬 技帳 交配元年中尾律平仁代力 6 全具師 文化2 年(1862) 控賬 投帳 交配元年中尾律平仁代力 6 全具師 文化2 年(1862) 控賬 投帳 交配元年中尾律平仁代力 6 全具師 文化2 年(1862) 控賬 初降器金物師。文久2 年苗子を安板とする 本設師 写和3 年(1863) 控賬 次度7 年池田卉菜(8 代育提業子) 到召初即平次公司 大庄帝門 公6 岩井原京衛 革設師 安放6年(1859) 控帳 液成序, 安成6年中相接 次度7 年池田卉菜(8 代育提業子) 到召初即平次公司 九左帝門 公付節 明曆元年(1656) 控帳 液次原件。安成6年中相接 公安6年中相接 公安6年中相接 公安6年中相接 公安6年中相接 公安6年中相接 公安6年中相接 公安6年中相接 公安6年中市中市市市 与八郎 切付節 明析3 年(1765) 控帳 九市郎 与八郎 切付節 明和3 年(1765) 控帳 液左衛門中、穿保12年中相接 公安6年中居作 公安6年中国广 公安6年中居作 公安6年中居代 公安6年中居作 公安6年中居作 公安6年中居作 公安6年中居作 公安6年中居作 公安6年中居作 公安6年中居作 公安6年中居作 公年6年日 公安6年日 公安6年日 公安6年日 日本日本 公安6年日 日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本	
199 中川に頭蛇 古山	
199 中川代蔵 金具師 文仮2年(1805) 控帳 吉五郎神。文化2年1名観 201 複並次郎兵衛 金具師 文成2年(1818) 控帳 鉄砲師。文政元年中尾権平に代わり全具師 202 安坂素音 金具師 文人2年(1862) 控帳 投帳 投帳 次及2年(1862) 投帳 投帳 次及2年(1863) 投帳 次及2年(1862) 投帳 次及2年(1862) 投帳 次及2年(1862) 投帳 次数7年池田斉東(8代斉優寮子)都召初即甲次企即公司公司公司公司公司公司公司公司公司公司公司公司公司公司公司公司公司公司公司	
201 長幡 金具師 弘化2年(1845) 控帳 初降器金物師。文久2年苗宇を安坂とする 安東新吉 金具師 文久2年(1862) 控帳 初降器金物師。文久2年苗宇を安坂とする 李章師 宋和3年(1803) 控帳 之数7年池田斉衆(8代斉稷妻子)部召初即甲(九郎へ相続) 205 岩井源天衛 華章師 安和3年(1803) 控帳 之数7年池田斉衆(8代斉稷妻子)部召初即甲(九郎へ相続) 205 岩井源天衛 華章師 安数6年(1835) 控帳 流水郎停。安夜6年中雨天衛 206 岩井源天衛 華章師 安数6年(1835) 控帳 流水郎停。安夜6年中雨天衛 207 九左衛門 切付師 明曆元年(1655) 控帳 209 九市郎 与八郎 切付師 安保12年(1727) 控帳 九一郎停。享保12年(相続、九市郎と改名。明春 209 九市郎 与八郎 切付師 安保12年(1727) 控帳 九市郎幹。明和3年に相談 210 (寺崎)源左衛門 切付師 安保9年(1724) 控帳 九市郎幹。明和3年に相談 211 (寺崎)源左衛門 切付師 安保9年(1724) 控帳 源左衛門棒,明和3年に相談 212 (寺崎)源左衛門 切付師 安保9年(1724) 控帳 源左衛門棒,明和3年(中和日報 213 寺崎)派左衛門 切付師 安保9年(1762) 控帳 源左衛門棒,明和3年中三郎左衛門 切付師 明和3年(1766) 控帳 明和3年中三和前 121 高峰三郎左衛門 切付師 明和3年(1766) 控帳 第左衛門棒,明和3年中三組織 217 岡村正大郎 切付師 天保7年(1836) 控帳 第近右衛門棒,天保7年(日報後、文久元年中市兵衛 217 岡村正大郎 切付師 文化6年(1809) 控帳 五次郎棒。文父元年に相談。交久元年中市兵衛 121 寺崎三郎右衛門 切付師 文化6年(1809) 控帳 文化6年(1804) 之帳 文化6年(1804) 之紀 大化6年(1805) 之帳 大郎右衛門本 大化6年(1805) 之紀 大郎右衛門本 大郎右衛門本 大郎右衛門本 大郎右衛門本 大郎右衛門本 大郎右衛門本 大郎右衛門本 大郎右衛門本 大郎右衛門本 大郎右衛王衛門 大郎右衛王 日本田本衛(初代藩王池田 上紀立て 5七名前門 具足師(奈良) 明暦元年(1655) 控帳 南郡具足師 変入6年池田仲茂(初代藩王池田 上紀立て 日本田本衛(初代藩王池田 上紀立て 日本田本衛(初代藩王池田 上紀立て 日本田本衛(初代藩王池田 上紀立て 日本田本衛(初代藩王池田 上紀立子 日本田本衛(初代藩王池田 上紀立子 日本田本衛(初代藩王池田 上紀立子 日本田本衛(初代藩王池田 上紀立子 日本田本衛(初代藩王池田 上紀立子 日本田本衛 八郎 日本田本衛 八郎 日本田本衛 日本田本帝衛 日本田本衛 日本田本帝衛 日本田本帝衛 日本帝衛本帝衛 日本帝衛本帝衛本帝衛 日本帝衛本帝衛本帝衛本帝衛本帝衛本帝衛本帝衛本帝衛本帝衛本帝衛本帝衛本帝衛本帝衛本	717.0
202 安坂兼吉 金具師 文久2年(1862) 控帳 御陣器金物師。文久2年苗字を安坂とする 字鍛師 明曆3年(1657) 控帳 大政7年池田斉衆(8代斉稷養子)御召初卿甲 大郎-代相號 大政7年池田斉衆(8代斉稷養子)御召初卿甲 大郎-代相號 大政7年池田斉衆(8代斉稷養子)御召初卿甲 大郎-代相號 大政7年池田斉衆(8代斉稷養子)御召初卿甲 大郎-代相號 大政7年池田斉衆(8代斉稷養子)御召初卿甲 大郎-代郎-代相號 大政7年池田斉衆(8代斉稷養子)御召初卿甲 大郎-代郎-代相號 大政7年池田斉衆(8代斉稷養子)御召初卿甲 大郎-代郎-代相號 大政7年池田斉衆(8代斉稷養子)御召初卿甲 大郎-代郎-代相號 大政7年池田斉衆(8代斉稷養子)御召初卿甲 大郎-代郎-代相號 大政8年、天保11年に相談。女政6年中淑兵衛 安成6年(1859) 控帳 源太衛中、天保11年に相談。女政6年中淑兵衛 安成9年(1859) 控帳 元本第中 安成9年(1655) 控帳 九一郎牛。享保12年に相談、九市郎と改名。明和209 九市郎 与八郎 切付師 明和3年(1766) 控帳 京年第12年に相談 九市郎中。明和3年に相談 三年 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日	师
華颖師 期曆 3年(1657) 控帳 文数7年池田斉東(8代斉稷養子)即召初即甲尺次郎へ相談 204 岩井源兵衛 華嶽師 享和3年(1803) 控帳 次数7年池田斉東(8代斉稷養子)即召初即甲尺次郎へ相談 205 岩井源庆衛 華嶽師 天保6年(1835) 控帳 源天衛神。天保11年に相続。安数6年中源兵衛 206 岩井源天衛 華嶽師 安故6年(1859) 控帳 源次郎神。天保11年に相続。安数6年中源兵衛 206 岩井源天衛 華嶽師 安放6年(1859) 控帳 源次郎神。天保11年に相続。安数6年中源兵衛 208 九一郎 切付師 原年2年(1655) 控帳 加水郎神。安保6年に相続 209 九市郎 与八郎 切付師 東保12年(1727) 控帳 九市郎神。享保12年に相続、大市郎と改名。明和 210 与八郎 切付師 原和2年(1765) 控帳 九市郎神。明和3年に相談、九市郎と改名。明和 211 (寺崎瀬左衛門 切付師 京保9年(1724) 控帳 源左衛門中。明和3年に相談、施 214 高崎瀬左衛門 切付師 京年(1656) 控帳 源左衛門中。明和3年に相談 215 高崎道正南南 切付師 東日(1765) 控帳 瀬大衛門・明和3年に相談 215 高崎三佐衛門 切付師 東(1765) 控帳 東及前中、天保7年に出続 216 岡	
204 岩井源氏衛	5
205	
206 岩井源兵衛	御甲冑仕立て。天保11年忰源
切付師	浜衛へ相続
208	
209	
210 与八郎 切付師 明和3年(1766) 控帳 九市郎忰。明和3年に相続 211 ((((((((((((((((((
211	。明和3年忰与八郎へ相続
212 (寺崎)源左衛門 切付師 享保9年(1724) 控帳 源左衛門忰。享保9年御用開 213 寺崎源左衛門 切付師 宝暦12年(1762) 控帳 源左衛門忰。明和元年苗字を寺崎とする 214 高崎源左衛門 切付師 明和3年(1766) 控帳 明和3年忰三郎左衛門へ相続 215 高嶋三郎左衛門 切付師 明和3年(1766) 控帳 源左衛門忰。明和3年中在相続 216 岡村嘉兵衛 切付師 寛政11年(1799) 控帳 寛政11年苗字を同村とする。天保7年中上次郎 217 岡村正次郎 切付師 文人元年(1836) 控帳 嘉兵衛神。天保7年に相続 文久元年中古兵衛 218 岡村治兵衛 切付師 文化6年(1809) 控帳 文化6年中落作个相続 220 寺崎至郎右衛門 切付師 文化6年(1809) 控帳 三郎右衛門忰。文化6年に相続。嘉永4年仲文 221 寺崎文八郎 切付師 文化6年(1809) 控帳 三郎右衛門忰。文化6年に相続。安政3年馬具革類御 222 寺崎文之進 切付師 現上師(奈良) 現下年(1655) 控帳 文化6年池田仲澄(初代藩主池田 224 岩井源左衛門 具足師(奈良) 明暦元年(1655) 控帳 東都具足師。寛文6年池田仲澄(初代藩主池田 224 岩井源左衛門 具足師(奈良) 明暦元年(1655) 控帳 南都具足師 東之師 万治3年新五郎様(2代藩主池田 226 岩井吉右衛門 具足師(奈良) 元禄7年(1694) 控帳 南都具足師 南都具足師 南都具足師 南都具足師 東本新五郎様(2代藩主池田) 226 岩井古衛門 具足師(奈良) 元禄7年(1694) 控帳 南都具足師 南和具足師 南都具足師 南和具足師 南和具足師 南和具足師 南都具足師 南和具足師 南和具足師 南和具足師 南和具足師	
213 寺崎源左衛門 切付師 宝暦12年(1762) 控帳 源左衛門枠。明和元年苗字を寺崎とする 214 高嶋源左衛門 切付師 明和3年(1766) 控帳 明和3年中三郎左衛門へ相続 215 高嶋三郎左衛門 切付師 明和3年(1766) 控帳 源左衛門枠。明和3年に相続 216 岡村嘉兵衛 切付師 寛政11年(1799) 控帳 寛政11年苗字を同村とする。天保7年中上次朗 217 岡村正次郎 切付師 天保7年(1836) 控帳 嘉兵衛幹。天保7年(相続。文久元年中治兵衛 218 岡村治兵衛 切付師 文化6年(1809) 控帳 文化6年中著作へ相続 220 寺崎三郎右衛門 切付師 文化6年(1809) 控帳 文化6年中著作へ相続 220 寺崎文八郎 切付師 文化6年(1809) 控帳 三郎右衛門枠。文化6年に相続。豪永4年中文 221 寺崎文八郎 切付師 京本4年(1851) 控帳 著作枠。嘉永4年に相続。安政3年馬具革類御 222 寺崎文之進 切付師 明治2年(1869) 控帳 文八郎二男 東足師(奈良) 明暦元年(1655) 控帳 文八郎二男 南都具足師。寛文6年池田仲澄(初代藩主池田足仕立て 224 岩井源左衛門 具足師(奈良) 明暦元年(1655) 控帳 南都具足師 寛文6年池田仲澄(初代藩主池田足台 225 岩井勘兵衛 具足師(奈良) 万治3年(1660) 控帳 南都具足師 南都具足師 有都具足師 226 岩井古衛門 具足師(奈良) 元禄7年(1694) 控帳 南都具足師 南郡具足師 中郡具足師 中郡具足	
214 高嶋源左衞門 切付師 明和3年(1766) 控帳 明和3年中三郎左衞門へ相続 1215 高嶋三郎左衞門 切付師 明和3年(1766) 控帳 源左衞門や。明和3年に相続 1216 岡村嘉兵衞 切付師 寛政11年(1799) 控帳 寛政11年苗字を岡村とする。天保7年中正次郎 217 岡村庄次郎 切付師 天保7年(1836) 控帳 嘉兵衞枠。天保7年に相続。文久元年中治兵衞 218 岡村治兵衞 切付師 文人元年(1861) 控帳 庄次郎枠。文人元年に相続 文人元年に相続 219 寺崎三郎右衞門 切付師 文化6年(1809) 控帳 文化6年体化本化统 220 寺崎文八郎 切付師 文化6年(1809) 控帳 三郎右衞門枠。文化6年に相続。嘉永4年件文 221 寺崎文八郎 切付師 文化6年(1809) 控帳 三郎右衞門枠。文化6年に相続。嘉永4年件文 222 寺崎文八郎 切付師 東入4年(1851) 控帳 発作枠。嘉永4年に相続。安政3年馬具革類御 222 寺崎文之進 切付師 明治2年(1869) 控帳 文八郎二男 南都具足師。寛文6年池田仲澄(初代藩主池田 224 岩井源右衞門 具足師(奈良) 明曆元年(1655) 控帳 南都具足師 百本具足師 五本記田(奈良) 万治3年(1660) 控帳 南都具足師 百本具足師 百本具足師 五本記田(奈良) 元禄7年(1694) 控帳 南都具足師 南都具足師 有本具足師 有本具足師 有本具足師 有本具足師 有本具足師 有本具足師 古本日に合う。 本本記田(京良) 元禄7年(1694) 控帳 南都具足師 市都具足師 市都具足師 市都具足師 京治3年新五郎様(2代藩主池田) 226 岩井古右衞門 具足師(奈良) 元禄8年(1695) 控帳 南都具足師 南都具足師 市都具足師 市都具足師 市都具足師 市都具足師 京治3年新五郎様(2代藩主池田) 日本記書	
215 高嶋三郎左衛門 切付師 明和3年(1766) 控帳 源左衛門忰。明和3年に相続 126 岡村嘉兵衛 切付師 寛政11年(1799) 控帳 寛政11年苗字を岡村とする。天保7年件庄次郎 127 岡村庄次郎 切付師 天保7年(1836) 控帳 嘉兵衛忰。天保7年に相続。文久元年中治兵衛 218 岡村治兵衛 切付師 文人元年(1861) 控帳 庄次郎枠。文人元年に相続 129 寺崎三郎右衛門 切付師 文化6年(1809) 控帳 文化6年体化和続 220 寺崎文八郎 切付師 文化6年(1809) 控帳 三郎右衛門忰。文化6年に相続。嘉永4年仲文 221 寺崎文八郎 切付師 文化6年(1809) 控帳 三郎右衛門忰。文化6年に相続。嘉永4年中文 222 寺崎文八郎 切付師 現之年(1851) 控帳 発作枠。嘉永4年に相続。安政3年馬具革類御 222 寺崎文之進 切付師 明治2年(1869) 控帳 文八郎二男 東足師(奈良) 明暦元年(1655) 控帳 文八郎二男 南都具足師。寛文6年池田仲澄(初代藩主池田 足仕立て 224 岩井源右衛門 具足師(奈良) 明暦元年(1655) 控帳 南都具足師。万治3年新五郎様(2代藩主池田 225 岩井勘兵衛 具足師(奈良) 万治3年(1600) 控帳 南都具足師 南都具足師 方治3年新五郎様(2代藩主池田 226 岩井古布門 具足師(奈良) 元禄7年(1694) 控帳 南都具足師 南都具足師 南都具足師 南都具足師 南都具足師 南都具足師 京福3年紀 東経師(京良) 元禄8年(1695) 控帳 南都具足師 南都具足師 南都具足師 南都具足師 南都具足師 南都具足師 京福3年紀 東経師(奈良) 元禄8年(1695) 控帳 南都具足師 南都具足師 南都具足師 南都具足師 南都具足師 南都具足師 南都具足師 南都具足師 京福3年紀 京福	
216 岡村嘉兵衛 切付師 寛政11年(1799) 控帳 寛政11年苗字を岡村とする。天保7年中上次郎 217 岡村庄次郎 切付師 天保7年(1836) 控帳 嘉兵衛枠。天保7年に相続。文久元年中治兵衛 218 岡村治兵衛 切付師 文人元年(1861) 控帳 庄次郎枠。文人元年に相続。文久元年に相続 219 寺崎三郎右衛門 切付師 文化6年(1809) 控帳 文化6年中落作へ相続 220 寺崎文八郎 切付師 京水4年(1851) 控帳 著作枠。嘉永4年に相続。豪永4年時支援御 222 寺崎文之進 切付師 明治2年(1869) 控帳 文八郎二男 具足師 (奈良) 明曆元年(1655) 控帳 東本日田仲澄(初代藩主池田屋仕立て 223 岩井喜右衛門 具足師(奈良) 明曆元年(1655) 控帳 南都具足師。寛文6年池田仲澄(初代藩主池田屋仕立て 224 岩井源左衛門 具足師(奈良) 万治3年(1656) 控帳 南都具足師 万治3年新五郎様(2代藩主池田原金会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会	
217	
218	
219 寺崎三郎右衛門 切付師 文化 6 年(1809) 控帳 文化 6 年P著作个相続 220 寺崎著作 切付師 文化 6 年(1809) 控帳 三郎右衛門忰。文化 6 年に相続。嘉永 4 年P文 221 寺崎文八郎 切付師 嘉永 4 年(1851) 控帳 著作枠。嘉永 4 年に相続。妄政 3 年馬具革類御 222 寺崎文之進 切付師 明治 2 年(1869) 控帳 文八郎二男	177円 当口机
220	
221 寺崎文八郎 切付師 嘉永 4 年(1851) 控帳 猪作枠。嘉永 4 年に相続。安政 3 年馬具革類御 222 寺崎文之進 切付師 明治 2 年(1869) 控帳 文八郎二男 具足師 223 岩井喜右衛門 具足師(奈良) 明曆元年(1655) 控帳 定任立て 上任立て 上任立て 上程立て 上記述 上記	 F忰文八郎へ相続
222 寺崎文之進 切付師 明治2年(1869) 控帳 文八郎二男 南都具足師。寛文6年池田仲澄(初代藩主池田足仕立て 224 岩井源左衛門 具足師(奈良) 明曆元年(1655) 控帳 南都具足師。寛文6年池田仲澄(初代藩主池田足仕立て 224 岩井源左衛門 具足師(奈良) 明曆元年(1655) 控帳 南都具足師 南都具足師 東足師(奈良) 万治3年(1660) 控帳 南都具足師。万治3年新五郎様(2代藩主池田経 225 岩井吉右衛門 具足師(奈良) 元禄7年(1694) 控帳 南都具足師 南都具足師 東北右衛門 具足師(奈良) 元禄8年(1695) 控帳 南都具足師 南都具足師	
具足師 223 岩井喜右衛門 具足師(奈良) 明曆元年(1655) 控帳 南都具足師。寛文 6 年池田仲澄(初代藩主池田足仕立て 224 岩井源左衛門 具足師(奈良) 明曆元年(1655) 控帳 南都具足師 225 岩井勘兵衛 具足師(奈良) 万治 3 年(1660) 控帳 南都具足師。万治 3 年新五郎様(2 代藩主池田紀元金) 226 岩井吉右衛門 具足師(奈良) 元禄 7 年(1694) 控帳 南都具足師 227 岩井九右衛門 具足師(奈良) 元禄 8 年(1695) 控帳 南都具足師	
224 岩井源左衛門 具足師(奈良) 明曆元年(1655) 控帳 南都具足師 225 岩井勘兵衛 具足師(奈良) 万治3年(1660) 控帳 南都具足師。万治3年新五郎様(2代藩主池田紀226 226 岩井吉右衛門 具足師(奈良) 元禄7年(1694) 控帳 南都具足師 227 岩井九右衛門 具足師(奈良) 元禄8年(1695) 控帳 南都具足師	芝油田光仲子・東館初代)御具
226 岩井吉右衛門 具足師(奈良) 元禄7年(1694) 控帳 南都具足師 227 岩井九右衛門 具足師(奈良) 元禄8年(1695) 控帳 南都具足師	
227 岩井九右衛門 具足師(奈良) 元禄 8 年 (1695) 控帳 南都具足師	池田綱清幼名)御具足仕立
228 岩井吉左衛門 具足師(奈良) 元禄10年(1697) 控帳 南都具足師。享保10年(3代池田吉泰もしくは立	くは子宗泰の)御召御具足仕
229 岩井与七郎 具足師(奈良) 元文3年(1738) 控帳 南都具足師	
230 岩井庄蔵 具足師(奈良) 宝暦7年(1757) 控帳 南都具足師	
231 岩井庄兵衛 具足師(奈良) 寛政 2 年 (1790) 控帳 庄蔵枠。南都具足師	

職名	通番	職人名	初名等	職種	初見乃78	典拠資料	備考
具足師	232	小寺助右衛門	MAA	具足師	明暦2年(1656)	控帳	苗字を小寺とする
NAC III	233	小寺助兵衛		具足師	享保7年(1722)	控帳	享保7年忰助右衛門へ相続
	234	小寺助右衛門		具足師	享保7年(1722)	控帳	助兵衛忰。享保7年に相続
	235	足立佐右衛門		具足師	元文3年(1738)	控帳	飾師。元文3年具足師の跡役となり、苗字を足立とする。宝暦5年忰分
	236	足立分六		具足師	宝暦5年(1755)	控帳	六へ相続 佐右衛門忰。宝暦5年に相続。安永7年山本八郎太夫(刀鍛冶)甥文之
	237	足立文之進		具足師	安永7年(1778)	控帳	進を養子とする。享和2年忰文之進へ相続。三人扶持 分六養子。享和2年に相続。天保3年忰佐右衛門へ相続。
	238	足立文録	佐右衛門	具足師・飾師	天保3年(1832)	控帳	文之進忰。飾師兼帯。天保3年に相続。万延元年文録と改名。文久元年
	239	足立文六	文右衛門	具足師	天保11年(1840)	控帳	忰文右衛門(文六)へ相続。39と同一人物 佐右衛門(文録)忰。文久元年に相続。文六と改名
	240	足立文之進	, , , , , , , ,	具足師	元治元年(1864)	控帳	文右衛門(文六)忰
	241	藤次郎		具足師	慶応2年(1866)	控帳	(鳥取城下)上魚町竹屋善次郎弟。慶応2年足立文六(文右衛門)内弟子
	242	浅見和平太		具足師·白銀師	享和3年(1803)	控帳	白銀師。享和3年具足師兼帯。文政7年池田斉衆(8代斉稷養子)御召 初御甲胄仕立。天保4年安木玄義次男孫四郎を養子
	243	浅見孫四郎		具足師	天保4年(1833)	控帳	和平太養子
	244	田原伝左衛門		具足師	天保14年(1843)	控帳	壱岐守様(東館)御用聞
	245	板谷(松本屋)文十郎		具足師	文久2年(1862)	控帳	文久3年職人並、苗字を板谷とする
	246	春田播磨		具足師(江戸)	寛政11年(1799)	江戸家老日記	江戸具足師。寛政11年7代池田斉邦御召初御甲冑仕立て
	247	伊勢屋伝兵衛		具足師(江戸)	文久元年(1861)	江戸家老日記	江戸具足師。文久元年12代池田慶徳御甲冑新製仕立て
具足縅師	248	竹森(竹森屋、春田)又右衛門		具足縅師	嘉永6年(1853)	控帳	(鳥取城下)本町四丁目。嘉永6年職人並、苗字を春田とする。文久元年 苗字を竹森とする。明治元年小銃金具師兼帯。二人扶持
	249	渡辺源三郎		具足縅師・小銃金 具師	安政4年(1857)	控帳	岩井源次郎弟。安政4年職人、苗字を渡辺とする。慶応3年忰源助へ相続
	250	渡辺源助		具足縅師·具足地 鉄師·小銃金具師	慶応3年(1967)	控帳	源三郎忰。慶応3年に相続、具足地鉄師兼帯。明治元年小銃金具師兼帯
具足地鉄師	251	浅井七三郎		具足地鉄師	嘉永6年(1853)	控帳	(鳥取城下)川外大工町の町鍛冶。嘉永6年職人並、苗字を浅井とする。
	252	太田忠左衛門		具足地鉄師・小銃金具師	元治2年(1865)	控帳	二人扶持 明治元年小統金具師兼帯
	253	渡辺源助			慶応3年(1867)	控帳	源三郎忰。250と同一人物
	254	江村直十郎		鍛冶·具足地鉄師	安政5年(1858)	控帳	鍛冶。具足地鉄師兼帯。120と同一人物
轡師	255	市口左内		轡師	元禄9年(1696)	控帳	阿州(阿波国)轡師
	256	岩田与左衛門		轡師·木鐙金具師	享和2年(1802)	控帳	享和 2 年木鐙金具師兼帯。文政元年御用御放
	257	上田安左衛門		轡師	天保8年(1837)	控帳	安政3年左近将監様金物細工類御用。安政3年忰藤次郎へ相続。万延 2年死去。112と同一人物
	258	上田藤次郎		轡師	安政4年(1857)	控帳	安左衛門忰。安政3年に相続。慶応2年忰安左衛門へ相続
	259	上田安左衛門		轡師	慶応2年(1866)	控帳	藤次郎忰。明治元年小銃金具師兼帯
	260	儀右衛門		鍛冶·轡師	天保8年(1837)	控帳	鍛冶。天保8年上田安左衛門相仕
	261	槌屋文次郎		轡師	弘化3年(1846)	控帳	
	262	忠蔵		鍛冶・轡師	文久2年(1862)	控帳	鍛冶。文久 2 年轡師兼帯
	263	田中安次郎		轡師・小銃金具師	明治元年(1868)	控帳	明治元年小銃金具師兼帯
鞍打師	264	和利藤右衛門		鞍打師	寛政10年(1798)	控帳	寛政10年召し抱え、二人扶持御支配二十俵。和利と改める。33と同一人 物か
	265	城戸専三郎		鞍打師	文化10年(1813)	控帳	城戸と改める。 嘉永 2 年 性 茂右衛門 へ相続
	266	城戸茂右衛門		鞍打師	弘化3年(1846)	控帳	専三郎忰。嘉永2年に相続
	267	小倉(上野屋)園三郎		鞍打師	天保6年(1835)	控帳	天保8年苗字御免・小倉と改める。慶応2年忰元三郎へ相続
	268	小倉元三郎		鞍打師	慶応2年(1866)	控帳	園三郎忰。慶応2年に相続
軍用大工 (武具大工)	269	七左衛門 近藤七郎左衛門		軍用大工	延宝2年(1674)	控帳	ウ.i. A 左肋-按十/空間 。 和 空
(100)	270			軍用大工	元禄 5 年 (1692)	控帳	宝永4年忰権左衛門へ相続
	271	近藤権左衛門		軍用大工	宝永 4 年 (1707) 宝暦 7 年 (1757)	控帳	七郎左衛門枠。宝永4年に相続 七郎左衛門と改める。安永9年平内と改める。寛政10年忰源蔵へ相続
	273	近藤久石神门		軍用大工	寛政10年(1798)	控帳	平内忰。寛政10年に相続。文化2年軍用大工御免
弦刺	274	助六		弦刺	寛文10年(1730)	控帳	1.1.1.0 /GP/AV 1-1H9/90 /A 10-2 1-7/11/1-199/U
	275	三右衛門		弦刺	延宝5年(1677)	控帳	
拵師	276	佐藤甚蔵		拵師(江戸)	天保13年(1842)	控帳	江戸拵師
指物師	277	伊良子軍蔵		指物師	正徳2年(1712)	控帳	室暦9年忰小弥太へ代番勤。宝暦12年西山定之進弟豊蔵を養子。明和 元年養子豊蔵へ代番勤。明和4年死去
	278	伊良子小弥太		指物師	宝暦 9 年 (1759)	控帳	北中養丁壹廠/ 引(留到)。 明和 4 年 化去 軍蔵 中
	279	伊良子豊蔵		指物師	宝暦12年(1762)	控帳	軍蔵養子。明和4年に相続
	280	伊良子中三郎		指物師	文化13年(1816)	控帳	天保12年忰弘介へ相続
	281	伊良子弘介		指物師	天保12年(1841)	控帳	中三郎忰。天保12年に相続。弘化3年軍用役
	282	多工		指物師	享保2年(1717)	控帳	
	283	金兵衛		指物師	享保2年(1717)	控帳	
	284	中路弥惣治		指物師	宝暦6年(1756)	控帳	宝暦6年召し出し、二人扶持御支配十俵
	285	中路弥右衛門		指物師	明和4年(1767)	控帳	
	286	中路長次郎		指物師	文化9年(1812)	控帳	文政8年忰多作へ相続
	287	中路多作		指物師	文政8年(1825)	控帳	長次郎忰。文政8年に相続。安政6年忰周次郎へ相続
	288	中路周次郎		指物師	安政6年(1859)	控帳	多作忰。安政6年に相続
	289	又兵衛 利兵衛		指物師 指物師·塗師	明和3年(1766) 文政12年(1829)	控帳	途師兼帯
	L 250	イリクマド刊		1日3公田 高田	<u> </u>	TEAN	FF-MA-VIC III

物質	職名	通番	職人名	初名等	職種	初見及び	典拠資料	備考
製造	指物師	291		又六	指物師			鎗師・片平又蔵忰。弘化4年伊良子弘介代り指物師。慶応3年丈太夫
282 1938	鞘師	292	次左衛門		指物師	明暦3年(1657)	控帳	
201	1131-11							
28		294	平八		指物師		控帳	(鳥取城下)本町。正徳4年御国御免
289 前頭在左右門		295	六郎兵衛		指物師	延享3年(1746)	控帳	延享3年追放
288 前面能大規門 動物側 動物側 対称3名中1750 対称 対称3名中1750 対称 対称3名中1750 対称 対称3名中1750 対称 対称3名中1750 対象 対称12年1750 対象 対称12年1750 対象 対称12年1750 対象 対称12年1750 対象 対称12年1750 対象 対称23年1750 対象 対称23年1750		296	市浦治左衛門		指物師	宝永3年(1706)	控帳	宝永3年忰金右衛門(治左衛門)へ相続
29		297	市浦治左衛門	金右衛門	指物師	宝永3年(1706)	控帳	治左衛門忰。宝永3年に相続。治左衛門と改名
20		298	市浦治左衛門	勘右衛門	指物師	寛延3年(1750)	控帳	治左衛門忰。宝暦元年治左衛門と改名
19 19 19 19 19 19 19 19		299	市浦善八		指物師	宝暦3年(1753)	控帳	
301 市油工金部		300	市浦武左衛門	文右衛門	指物師	宝暦11年(1761)	控帳	
1987年 19		301	市浦茂三郎		指物師	明和2年(1765)	控帳	
動物 動物 数数 一		302	市浦半助		指物師	寛政4年(1791)	控帳	寛政7年寺崎三郎右衛門(切付師)次男十蔵を養子。享和3年忰文三郎 へ料練
30		303	市浦十蔵		指物師	寛政7年(1795)	控帳	
20		304	市浦文三郎		指物師	享和3年(1803)	控帳	半助枠。享和3年に相続。安政4年忰元之進へ代番勤。万延元年忰元
206 佐野忠兵衛 北部柳 本本条年(1711) 特徴 高字を任野とする 近年を展示とする 24 表示を 24 表示を 25								
207 佐野忠治帝 北右南門 指物師 突似 4 年 1729 投稿 走成神美子、北京市社と名 変数 4 年 1729 投稿 世級 世級 世級 世級 世級 世級 世級 世								
288				忠右衛門				
1986 200		_		75, 11111 1				
131								
311 使野成四郎 指物師 次化4年1897 按照 対応四甲を発生が一致化 対応 対応 対応 対応 対応 対応 対応 対								
33 位野園水 指物師 文吹 6 年1823 持販 八田郎中、文吹 9 年1836 大阪 9 年1839 持販 大田郎中、文吹 9 年1836 大阪 9 年1839 持販 大田郎中、文吹 9 年1836 大阪 9 年1839 持販 大田郎中、文吹 9 年1836 大田郎中、文吹 9 年1836 大田郎中、大田 9 年1830 大田田 9 年1830 大田田 9 年1830 大田田 1830 大田田 18								直左衛門や。文化4年に相続。文政6年忰周次が名代勤め。文政7年
13.3 住野原子 指物師 文改 9年1826 控張 長田郎井、文改 9年18日底 永元平年 日報 日報 日報 日報 日報 日報 日報 日						2 -1 - 7 (7		
1314 位野周平 指物師 嘉永元年1848 整版 較充衡門序。嘉永元年14間底。嘉永6年降預八郎へ相談 315 佐野腐八郎 指物師 嘉永6年1850 整版 周平序。嘉永6年14間数 316 28 24 317 318 五成 4 316 32 32 33 33 33 34 34 34								
315 佐野猪八郎 指物師 嘉永6年1853 控展 開平仲。嘉永6年14指統 1316 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252 252		_						
316 惣兵衛 指物師 明和7年(1770) 控帳 明和7年(1870) 控帳 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日								
317								
318 長蔵 指物師 文化2年(1805) 控談 第右衛門性 投版 投稿守様(四條) 前師。高木恵助兄 投稿守様(四條) 前師。高木恵助兄 投版 投稿守様(四條) 前師。高木恵助兄 投版 投稿守様(四條) 前師。高木恵助兄 投版 投稿守様(四條) 前師。高木恵助兄 投版 投版 投版 投版 投版 投版 投版 投								STILL I PROTUPU
接換性 接触性 接換性 接換性 接換性 接換性 接換性 接換性 接換性 接換性 接換性 接触性 接触		_						嘉右衛門忰
仕之師 指物師 安政4年(1857) 拉帳 安政4年職人・高字を横しとする 321 種次月郎 仕立師 宝永2年(1705) 拉帳 延享2年町区石田三学弟善次郎を養子。電延元年作者次郎・学 322 網書次郎 仕立師 宝永6年(1709) 拉帳 公房部業子。電延元年作相続。寛政3年時支配のより 324 網書次郎 地次郎 仕立師 宝永6年(1709) 拉帳 公月郎昨・宝水6年召し出し。善次郎と改める。寛政4年次3732 325 親久四郎 仕立師 天保10年(1848) 拉帳 人四郎昨・天保10年に相続。天保10年中患疏へ相続 325 親忠誠 仕立師 天保10年(1849) 拉帳 人四郎昨・天保10年に相続。天保10年中患疏へ相続 326 親忠誠 仕立師 天保10年(1846) 拉帳 人四郎昨・天保10年に相談 327 超元歳 仕立師 安政1年(1859) 拉帳 人四郎昨・天保10年に相談 329 中尾藤左南門 重蔵 仕立師 実政11年(1799) 拉帳 野藤左南門と改める。文化2年毎時代様(7代書) 330 中尾藤左南門 住立師 文政9年(1850) 拉帳 東京市舎、安政9年に相談 文政9年年上報告 331 中尾藤左南門 仕立師 文政3年(1850) 拉帳 東京市門・大銀6年上時 文政6年年月間・大銀6年年間・大銀6年年間・大銀6年年間・大銀6年年間・大銀6年年間・大銀6年年間・大銀6年年間・大銀6年年間・大銀6年年間・大銀6年年間・大銀6年年間・大銀6年年間・大銀6年年間・大銀6年年間・大銀6年年間・大銀6年年間・大銀6年年間・大成								
322 機密水郎 仕立師 延享2年(1745) 接帳 久四郎養子。寛延元年に相総。寛政3年御支配召し上げ 323 機態兵需 仕立師 宝水6年(1709) 接帳 宝水6年(1709) 接帳 宝水6年(1709) 接帳 宝水6年(1709) 接帳 宝水6年(1709) 接帳 宝水6年(1709) 接帳 全水6年(1709) 接帳 上級命 上級の 上級命 上級の 上級の		320	横山文蔵		指物師		控帳	安政4年職人・苗字を横山とする
233 縄悠兵帝 仕立師 宝永6年(1709) 按帳 宝永6年死去 22人6年代日出し。善次郎と改める。寛政4年次・	仕立師	321	縄久四郎		仕立師	宝永2年(1705)	控帳	延享2年町医石田三学弟善次郎を養子。 寛延元年忰善次郎へ相続
224 編善次郎 22次郎 仕立師 宝永6年(1709) 控帳 25素育作。宝永6年(1日出し。響次郎と改める。寛政4年次2 24歳 24年(1792) 24歳 24年(1792) 24歳 24年(1792) 24歳 24年(1792) 24歳 24年(14歳) 24年(1793) 24歳 24年(1794) 24歳 24年(1894) 24年(322	縄善次郎		仕立師	延享2年(1745)	控帳	久四郎養子。寛延元年に相続。寛政3年御支配召し上げ
11.5 m		323	縄惣兵衛		仕立師	宝永6年(1709)	控帳	宝永6年死去
25 - 縄久四郎 仕立師 寛政 4年(1792) 控帳 善次郎次男。寛政 4年(1相続。天保10年中忠蔵へ相続 226 縄忠蔵 仕立師 天保10年(1839) 控帳 久四郎仲。天保10年(1相続 227 縄元蔵 仕立師 元治元年(1864) 控帳 忠蔵忰 北蔵中 日本産左衛門 生蔵 位立師 安永5年(1776) 控帳 忠蔵忰 北蔵中 北京藤左衛門 生蔵 東正藤左衛門 生蔵 東正藤左衛門 生蔵 東正藤左衛門 生成師 文政2年(1819) 控帳 文政9年(第46) 控帳 文政9年(第46) 大変9年(1849) 控帳 本民藤左衛門 仕立師 女政9年(1856) 控帳 本民藤左衛門へ相談 表政9年(1857) 控帳 本民藤左衛門 仕立師 女政6年(1857) 控帳 文化3年(1876) 控帳 文化3年(1876) 控帳 文化3年(1877) 投帳 文化2年(1815) 控帳 文化3年(1816) 控帳 文化3年(1816) 控帳 文化3年(1816) 控帳 文化3年(1816) 控帳 文化2年(1815) 控帳 文化2年(1815) 控帳 文化2年(1815) 控帳 文化2年(1815) 控帳 文化2年(1815) 控帳 文化4年(1815) 控帳 文政6年(1827) 控帳 大兵衛中。文政6年中市列免・藤井と改める 本子科中文 (1816) 上述師 安政4年(1857) 控帳 弘化2年(1816) 上述帳 北成市門枠。慶応2年(1816) 上述帳 安政4年間別の36年表入並・苗子御免・池成と改める 全政通知 仕立師 安政4年(1857) 上述帳 安政4年間別の36年表入並・苗子御免・池成と改める 全政通知 日本の通知 全政通和 上述師 安政4年限入並・苗子御免・尾和と改める 公め36、文久元年作巻金次郎へ相談 全政通和 日本の通知 全政通和 日本の通知 全政通和 全政通和 全政通和 全政通和 全立師 安政4年(1857) 上述帳 安政4年間別の36年表入立・苗子御免・尾和と改める 全政通和 日本の通知 全政通和 全立師 安政4年限入立・苗子御免・池成と改める 会成4年間別の36年表入立・苗子御免・尾和と改める 会成4年表入立・苗子御免・尾和と改める 全政通和 全政通和 全政通和 全立師 安政4年間別の36年表入立・苗子御免・尾和と改める 全政通和 全政通和 全政通和 全立師 安政4年限入立・苗子御免・尾和と改める 全政通和 全成4年表入立・苗子御免・定める 全成4年表入立・苗子御免・足成2年本入立・苗子御免・経過の36年表入 全成4年表入立・苗子御免・経過の36年表入 全成4年表入立・苗子御免・経過の36年表入 全成4年表入立・苗子和 全域4年表入立・苗子和 全域4年表入立・苗子和 全域4年表入立・田本 全域4年		324	縄善次郎	惣次郎	仕立師	宝永6年(1709)	控帳	惣兵衛忰。宝永6年召し出し。善次郎と改める。寛政4年次男久四郎 へ料練
327 縄元蔵 仕立師 元治元年(1864) 控帳 忠蔵仲 忠蔵仲 北立師 安永5年(1776) 控帳 忠蔵仲 北立師 安永5年(1776) 控帳 藤左衛門9。藤左衛門 重蔵 仕立師 寛政11年(1799) 控帳 藤左衛門9。藤左衛門と改める。文化2年御当代様(7代藩: 邦)御直華仕立。 330 中尾藤兵衛 仕立師 文政9年(1826) 控帳 文政9年(2859) 控帳 東兵衛仲。変政9年(24総6) 控帳 東兵衛仲。変政9年(24総6) 控帳 東兵衛中。変政9年(24総6) 控帳 東兵衛中。安政6年(24総6) 控帳 文化3年中正兵衛へ相続 333 能勢工兵衛 仕立師 文化3年(1806) 控帳 文化3年中正兵衛へ相続 文化3年中正兵衛へ相続 文化3年中正兵衛へ相続 文化3年中正兵衛へ相続 文化3年中正兵衛へ相続 公本3年(1806) 控帳 文化2年(1805) 控帳 文化2年(1805) 控帳 文化2年(1805) 控帳 文化2年(1805) 控帳 大兵衛中。文政9年に相続 表末4年(2851) 控帳 大兵衛中。文政9年中百9年、東井と改める 336 藤井大次郎 仕立師 女政9年(1823) 控帳 大兵衛中。文政9年中百9年、東井と改める 表末4年(1851) 控帳 安政4年中吉次郎へ相続 338 藤井古次郎 仕立師 安政4年(1857) 控帳 安政4年中吉次郎へ相続 339 尾崎(羽織別)地右門 仕立師 元紀5年(1864) 控帳 弘化2年百十年時、足成2年1年時、上成2年の第6年日未続 242 242 242 242 243 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244 244		325	縄久四郎		仕立師	寛政4年(1792)	控帳	
328 中尾藤左衛門 仕立師 安永5年(1776) 控帳		326	縄忠蔵		仕立師	天保10年(1839)	控帳	久四郎忰。天保10年に相続
328 中尾藤左衛門 仕立師 安永5年(1776) 控帳		327	縄元蔵		仕立師	元治元年(1864)	控帳	忠蔵忰
1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.		328	中尾藤左衛門		仕立師	安永5年(1776)	控帳	
330 中尾藤兵衛 仕立師 文政 2 年(1819) 控帳 文政 9 年 中藤 右衛門へ相続 331 中尾藤右衛門 仕立師 文政 9 年 (1826) 控帳 藤兵衛仲。文政 9 年 に相続。安政 6 年 作 藤左理門へ相続 332 中尾藤左衛門 仕立師 安政 6 年 (1859) 控帳 藤石衛門仲。安政 6 年 に相続 文化 3 年 (1806) 控帳 文化 2 年 に相続。天保 3 年 (9 代池田斉訓)御甲青 2 7 7 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 8 7 8 7 8 8 7 8 7 8 8 7 8 8 7 8 8 7 8 8 7 8 8 7 8 8 7 8 8 8 7 8 8 8 7 8 8 8 8 8 8 7 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8		329	中尾藤左衛門	重蔵	仕立師	寛政11年(1799)	控帳	藤左衛門忰。藤左衛門と改める。文化2年御当代様(7代藩主池田斉 お) 御恵 乗 仕立
331 中尾藤右衛門 仕立師 文政 9 年(1826) 控帳 藤兵衛华。文政 9 年に相続。安政 6 年中藤左理門へ相続 332 中尾藤左衛門 仕立師 安政 6 年(1859) 控帳 藤右衛門枠。安政 6 年に相続 333 能勢又四郎 仕立師 文化 3 年(1806) 控帳 文化 3 年作 日報。 天保 3 年 (9 代池田斉訓)御甲冑 (2物化立 2 年代 3 年 (1805) 控帳 文化 2 年三人扶持。文政 3 年丈兵衛と改める 335 藤井丈兵衛 清兵衛 仕立師 文化 2 年(1805) 控帳 文化 2 年三人扶持。文政 3 年丈兵衛と改める 336 藤井丈次郎 仕立師 文政 6 年(1823) 控帳 大兵衛枠。文政 6 年苗字御免・藤井と改める 337 藤井和平太 仕立師 安政 4 年(1851) 控帳 安政 4 年中吉次郎へ相続 338 藤井吉次郎 仕立師 安政 4 年(1857) 控帳 初平大枠。安政 4 年に相続 339 尾崎(羽織屋)整右衛門 仕立師 弘化 2 年(1845) 控帳 弘化 2 年百字御免・尾崎と改める。慶応 2 年件勇次郎へ相続 340 尾崎勇次郎 仕立師 元治元年(1864) 控帳 惣在衛門枠。慶応 2 年に相続 341 池成 (中嶋屋) 丈助 仕立師 安政 4 年(1857) 控帳 安政 4 年御用間。安政 4 年職入並・苗字御免・池成と改める 342 池成源助 仕立師 安政 4 年(1857) 控帳 安政 4 年御用間。安政 4 年職入並・苗字御免・池成と改める 342 池成源助 仕立師 安政 6 年(1859) 控帳 安政 6 年 御用間。万延元年職人並・苗字御免・尾和と改める 343 尾和 (羽織屋) 金次郎 仕立師 安政 6 年(1859) 控帳 安政 6 年 御用間。 安政 4 年職入・並・苗字御免・尾和と改める 344 尾和金次郎 仕立師 文入元年(1861) 控帳 長三郎枠。文久元年件金次郎へ相続 444 尾和金次郎 仕立師 東応 2 年 (1866) 控帳 長三郎枠。文久元年件金次郎へ相続 455 九屋長三郎 仕立師 東応 2 年 (1866) 控帳 (鳥取城下)本町二丁目。慶応 2 年 御用間 白銀師 明曆 3 年 (1657) 控帳 (鳥取城下)本町二丁目。慶応 2 年 御用間 日銀師 明曆 3 年 (1657) 控帳 上京府 上京		330	中尾藤兵衛		什 立 師	文政2年(1819)	控帳	
333 能勢又四郎 仕立師 文化3年(1806) 控帳 文化3年中庄兵衛へ相続 2、四郎枠。文化3年に相続。天保3年(9代池田斉訓)御甲智行 2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2								
333 能勢又四郎 仕立師 文化3年(1806) 控帳 文化3年中庄兵衛へ相続 2、四郎枠。文化3年に相続。天保3年(9代池田斉訓)御甲智行 2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2		332	中尾藤左衛門		仕立師	安政6年(1859)	控帳	藤右衛門忰。安政6年に相続
334 能勢圧実開 11.2 m		333	能勢又四郎		仕立師	文化3年(1806)	控帳	文化3年忰庄兵衛へ相続
335 藤井丈兵衛 清兵衛 仕立師 文化2年(1805) 控帳 文化2年三人扶持。文政3年丈兵衛と改める 336 藤井丈水郎 仕立師 文政6年(1823) 控帳 丈兵衛や。文政6年苗字御免・藤井と改める 337 藤井和平太 仕立師 嘉永4年(1851) 控帳 安政4年忰吉次郎へ相続 338 藤井吉次郎 仕立師 安改4年(1857) 控帳 和平太忰。安政4年に相続 340 尾崎勇次郎 仕立師 元治元年(1845) 控帳 惣右衛門や。慶応2年に相続 341 池成(中嶋屋)丈助 仕立師 安改4年(1857) 控帳 惣右衛門や。慶応2年に相続 342 池成源助 仕立師 安改4年(1857) 控帳 安政4年剛用間。安政4年職人並・苗字御免・池成と改める 342 池成源助 仕立師 安政6年(1859) 控帳 安政6年御用間。万延元年職人並・苗字御免・尾和と改める 343 尾和(羽織屋)金次郎 仕立師 安政6年(1859) 控帳 安政6年御用間。万延元年職人並・苗字御免・尾和と改める。		334	能勢庄兵衛		仕立師	文化3年(1806)	控帳	又四郎忰。文化3年に相続。天保3年(9代池田斉訓)御甲冑御召初御
336 藤井丈次郎 仕立師 文政6年(1823) 控帳 丈兵衛忰。文政6年苗字御免・藤井と改める 337 藤井和平太 仕立師 嘉永4年(1851) 控帳 安政4年忰吉次郎へ相続 338 藤井吉次郎 仕立師 安政4年(1857) 控帳 和平太忰。安政4年に相続 340 尾崎勇次郎 仕立師 現化2年(1845) 控帳 現化2年苗字御免・尾崎と改める。慶応2年忰勇次郎へ相続 340 尾崎勇次郎 仕立師 元治元年(1864) 控帳 惣右衛門忰。慶応2年に相続 341 池成(中嶋屋)丈助 仕立師 安政4年(1857) 控帳 安政4年御用間。安政4年職人並・苗字御免・池成と改める 342 池成源助 仕立師 安政6年(1859) 控帳 安政6年御用間。万延元年職人並・苗字御免・尾和と改める 343 尾和(羽織屋)金次郎 仕立師 安政6年(1859) 控帳 安政6年御用間。万延元年職人並・苗字御免・尾和と改める。		_		清丘衞				
337 藤井和平太 仕立師 嘉永 4 年(1851) 控帳 安政 4 年中吉次郎へ相続 338 藤井吉次郎 仕立師 安政 4 年(1857) 控帳 和平太忰。安政 4 年に相続 340 尾崎勇次郎 仕立師 現化 2 年(1845) 控帳 現化 2 年苗字御免・尾崎と改める。慶応 2 年忰勇次郎へ相続 340 尾崎勇次郎 仕立師 元治元年(1864) 控帳 惣右衛門忰。慶応 2 年に相続 341 池成(中嶋屋) 丈助 仕立師 安政 4 年(1857) 控帳 安政 4 年御用間。安政 4 年職人並・苗字御免・池成と改める 342 池成源助 仕立師 安政 6 年(1857) 控帳 安政 6 年御用間。万延元年職人並・苗字御免・池成と改める 343 尾和(羽織屋)金次郎 仕立師 安政 6 年(1859) 控帳 安政 6 年御用間。万延元年職人並・苗字御免・尾和と改める。 344 尾和金次郎 仕立師 文久元年(1865) 控帳 長三郎忰。文久元年中金次郎へ相続 長三郎忰。文久元年に相続 454 大屋長三郎 仕立師 慶応 2 年(1866) 控帳 (鳥取城下)本町二丁目。慶応 2 年御用間 白銀師 明暦 3 年(1657) 控帳 名46 仁兵衛 白銀師 明暦 3 年(1657) 控帳 日銀師 日銀師 明暦 3 年(1657) 控帳 日銀師 日曜 3 年(1657) 控帳 日銀師 日銀師 日銀師 日銀師 日曜 3 年(1657) 控帳 日銀師 日銀師 日曜 3 年(1657) 控帳 日銀師 日銀師 日銀師 日銀師 日曜 3 年(1657) 控帳 日曜 3 年(1657) 控帳 日銀師 日銀師 日銀師 日曜 3 年(1657) 控帳 日曜 3 年(1657) 控帳 3 年(1657) 上記 3 年(1657) 日記 3 年(In X m				
338 藤井吉次郎 仕立師 安政4年(1857) 控帳 和平太忰。安政4年に相続 339 尾崎 羽織屋) 惣右衛門 仕立師 弘化2年(1845) 控帳 弘化2年苗字御免・尾崎と改める。慶応2年忰勇次郎へ相続 340 尾崎勇次郎 仕立師 元治元年(1864) 控帳 惣右衛門忰。慶応2年に相続 惣右衛門忰。慶応2年に相続 341 池成(中嶋屋) 丈助 仕立師 安政4年(1857) 控帳 安政4年御用間。安政4年職人並・苗字御免・池成と改める 342 池成源助 仕立師 慶応元年(1865) 控帳 安政6年御用間。万延元年職人並・苗字御免・尾和と改める。 343 尾和(羽織屋)金次郎 仕立師 安政6年(1859) 控帳 安政6年御用間。万延元年職人並・苗字御免・尾和と改める。 344 尾和金次郎 仕立師 文久元年(1861) 控帳 長三郎忰。文久元年中金次郎へ相続 長三郎忰。文久元年に相続 (鳥取城下)本町二丁目。慶応2年御用間 白銀師 明暦3年(1657) 控帳 (鳥取城下)本町二丁目。慶応2年御用間 白銀師 明暦3年(1657) 控帳 八左衛門 白銀師 明暦3年(1657) 控帳 日銀師 日曜3年(1657) 控帳 日銀師 日曜3年(1657) 控帳 日銀師 日銀師 日銀師 日銀師 日銀師 日銀師 日銀師 日銀師 日曜3年(1657) 控帳 日銀師 日銀師 日銀師 日銀師 日銀師 日銀師 日銀師 日銀師 日銀師 日曜3年(1657) 控帳 日銀師 日銀師 日銀師 日曜3年(1657) 控帳 日銀師 日紀元 日銀師 日紀元								
339 尾崎(羽織屋)惣右衛門 仕立師 弘化2年(1845) 控帳 弘化2年苗字御免・尾崎と改める。慶応2年忰勇次郎へ相続 340 尾崎勇次郎 仕立師 元治元年(1864) 控帳 惣右衛門忰。慶応2年に相続 惣右衛門忰。慶応2年に相続 341 池成(中嶋屋)丈助 仕立師 安政4年(1857) 控帳 安政4年御用間。安政4年職人並・苗字御免・池成と改める 342 池成源助 仕立師 慶応元年(1865) 控帳 安政6年御用間。万延元年職人並・苗字御免・尾和と改める。 343 尾和(羽織屋)金次郎 仕立師 安政6年(1859) 控帳 安政6年御用間。万延元年職人並・苗字御免・尾和と改める。 344 尾和金次郎 仕立師 文久元年(1861) 控帳 長三郎忰。文久元年中金次郎へ相続 345 丸屋長三郎 仕立師 慶応2年(1866) 控帳 (鳥取城下)本町二丁目。慶応2年御用間 白銀師 明暦3年(1657) 控帳 名46 仁兵衛 白銀師 明暦3年(1657) 控帳 日銀師 日銀田 日田 日								
340 尾崎勇次郎 仕立師 元治元年(1864) 控帳 惣右衛門忰。慶応2年に相続 341 池成(中嶋屋)丈助 仕立師 安政4年(1857) 控帳 安政4年御用間。安政4年職人並・苗字御免・池成と改める 342 池成源助 仕立師 慶応元年(1865) 控帳 安政6年御用間。万延元年職人並・苗字御免・尾和と改める 343 尾和(羽織屋)金次郎 仕立師 安政6年(1859) 控帳 安政6年御用間。万延元年職人並・苗字御免・尾和と改める。 344 尾和金次郎 仕立師 文久元年(1861) 控帳 長三郎忰。文久元年仲金次郎へ相続 長三郎忰。文久元年に相続 長三郎忰。文久元年に相続 長三郎忰。文久元年に相続 日銀師 日銀師 明暦3年(1657) 控帳 (鳥取城下)本町二丁目。慶応2年御用間 日銀師 日銀師 明暦3年(1657) 控帳 日銀師 日曜3年(1657)								
342 池成源助 仕立師 慶応元年(1865) 控帳 343 尾和(羽織屋)金次郎 仕立師 安政 6 年(1859) 控帳 安政 6 年御用間。万延元年職人並・苗字御免・尾和と改める。また元年仲金次郎へ相続 344 尾和金次郎 仕立師 文久元年(1861) 控帳 長三郎仲。文久元年に相続 345 丸屋長三郎 仕立師 慶応 2 年(1866) 控帳 (鳥取城下)本町二丁目。慶応 2 年御用間 白銀師 明暦 3 年(1657) 控帳 347 久左衛門 白銀師 明暦 3 年(1657) 控帳		340	尾崎勇次郎		仕立師	元治元年(1864)	控帳	惣右衛門忰。慶応2年に相続
343 尾和(羽織屋)金次郎 仕立師 安政 6 年(1859) 控帳 安政 6 年御用間。万延元年職人並・苗字御免・尾和と改める。 改める。文久元年件金次郎へ相続 344 尾和金次郎 仕立師 文久元年(1861) 控帳 長三郎忰。文久元年に相続 345 丸屋長三郎 仕立師 慶応 2 年(1866) 控帳 (鳥取城下)本町二丁目。慶応 2 年御用間 白銀師 日銀師 明暦 3 年(1657) 控帳 347 久左衛門 白銀師 明暦 3 年(1657) 控帳		341	池成(中嶋屋) 丈助		仕立師	安政4年(1857)	控帳	安政4年御用聞。安政4年職人並・苗字御免・池成と改める
343 尾和(引線(産) 並ん) は		342	池成源助		仕立師	慶応元年(1865)	控帳	
344 尾和金次郎 仕立師 文久元年(1861) 控帳 長三郎忰。文久元年に相続 345 丸屋長三郎 仕立師 慶応2年(1866) 控帳 (鳥取城下)本町二丁目。慶応2年御用間 白銀師 日銀師 明暦3年(1657) 控帳 347 久左衛門 白銀師 明暦3年(1657) 控帳		343	尾和(羽織屋)金次郎		仕立師	安政6年(1859)	控帳	安政6年御用聞。万延元年職人並・苗字御免・尾和と改める。長三郎とひめる。 文久元年佐金次郎へ相続
345 丸屋長三郎 仕立師 慶応2年(1866) 控帳 (鳥取城下)本町二丁目。慶応2年御用聞 白銀師 日銀師 日報 日報 日報 日報 日報 日報 日報 日		344	尾和金次郎		仕立師	文久元年(1861)	控帳	
白銀師 346 仁兵衛 白銀師 明曆 3 年 (1657) 控帳 347 久左衛門 白銀師 明曆 3 年 (1657) 控帳								
347 久左衛門 白銀師 明暦 3 年 (1657) 控帳	白銀師							
		347	久左衛門		白銀師	明暦 3 年(1657)	控帳	
		348	七郎右衛門				控帳	
349 七郎兵衛 白銀師 元禄15年(1702) 控帳 三人扶持。元禄15年死去		349	七郎兵衛		白銀師	元禄15年(1702)	控帳	三人扶持。元禄15年死去

28日 28	職名	通番	職人名	初名等	職種	初見及び	曲圳咨判	備考
## 25				MAA				
202	Пархир						1	CAPACHITO ANCIO
28			77			,	1	實保2年欠落
26. 中井皇右南門 1.5 株 あか 2.6 株		353				,		
150		354	平井勘兵衛	伝吉	白銀師	宝永7年(1710)	控帳	勘兵衛忰。勘兵衛と改める。寛保2年忰仁兵衛へ相続
25		355	平井勘右衛門		白銀師	寛保2年(1742)	控帳	勘兵衛性。寛保2年に相続。勘兵衛と改める。天明2年性兼助へ相続。
20				解				
288 年月代末衛		_						勘右衛門次里。實政8年17相続。實政12年跡日相続。御支配二十俵。文
200 年月1月 1988 大田の中山の 1988 1988 年日270 200 年 1988 日 1988 年日270 200 年 1988 日 1988 E 1988 E 1988			7.7.7					化5年白銀屋浅見和平太二男仁兵衛を養子。文政元年死去 条助養子。義三郎と改める。文政元年跡日・御支配二十八俵。文政3年
280 現央人生物								二人扶持。天保4年追放。
200 大坂大九川 下京州 下京州 下京州 下京州 下京州 下京和 下方和 下列和 下方和 下列和		_						
超級人政治		360	浅見久左衛門	宇兵衛	自銀師	享保8年(1723)	控帳	へ相続
202 快见见次型 自動面		361	浅見久左衛門	久兵衛	白銀師	寛保3年(1743)	控帳	久左衛門竿。 見味3平に怕続。 見味3平久左衛門とびめる。 明和6平伴 儀八郎へ相続。 安永5年米屋善四郎を養子。 天明元年忰久次郎へ相続
20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0 20.0		362	浅見儀八郎		白銀師	明和5年(1768)	控帳	
150mm		363	浅見久次郎	善四郎	白銀師	安永5年(1776)	控帳	へ相続。
26日 1月19日 1月19日 2次3 年(1779) 2世紀 2次3 年(1779) 2次3 年(1779) 2世紀 2次3 年(1779) 2元3 年(1779)		364	浅見重次郎		自銀師	天明4年(1784)	控帳	久次郎忰。天明4年に相続。寛政3年浜部九左衛門(刀鍛冶)弟和平太 を養子。寛政3年忰和平太へ相続
1966 現民所		365	浅見和平太		白銀師·具足師	寛政3年(1791)	控帳	重次郎養子。寛政3年に相続。享和3年具足師兼帯。天保4年安木玄義
288 単純に配名前門 分次郎 白銀節 写架9年(1724) 空級 七郎右衛門外、穿保9年(1784) 空級 七郎右衛門外、写保9年(1784) 空級 空級 空級 で級 で級 で級 で級 で級		366	浅見吉平	孫四郎	白銀師	天保4年(1833)	控帳	
398 据統伝統帝 白銀師 字似7年4732 計談 七郎在南門外、李保77年報別 1 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日		367	鹿嶋七郎右衛門		白銀師	享保9年(1724)	控帳	享保9年忰分次郎へ相続
250 お終した在門		368	鹿嶋七郎右衛門	分次郎	白銀師	享保9年(1724)	控帳	七郎右衛門忰。享保9年に相続。七郎右衛門と改める
271		369	鹿嶋伝兵衛		白銀師	享保17年(1732)	控帳	七郎右衛門忰。享保17年縁別
20		370	鹿嶋七郎左衛門		白銀師	宝暦9年(1759)	控帳	七郎右衛門忰。宝曆13年忰分左衛門へ相続
372		371	鹿嶋分左衛門	I had be the min	白銀師	宝暦13年(1763)	控帳	
		372	鹿嶋七郎左衛門		白銀師	安永8年(1779)	控帳	分左衛門忰。安永8年に相続。大明6年七歳と改める。文化6年七郎 左衛門と改める。天保6年忰平次郎へ相続
375 薬助 白銀師 保險金具師 公化2年(1845) 控帳 公化2年(1845) 控帳 公投3年級人・森田と改める 公共2年(1856) 控帳 公投3年級人・森田と改める 公共2年(1856) 控帳 公投3年級人・森田と改める 公共2年(1856) 控帳 公共2年(1856) 经帐 公共2年(1856) 经帐 公共2年(1856) 经帐 公共2年(1856) 经帐 公共3年(1856) 经帐 公共3年(1856) 公共3年(1856)		373	鹿嶋平次郎		白銀師	天保6年(1835)	控帳	
おおいけらい		374	鹿嶋平之進		白銀師	文久元年(1861)	控帳	平次郎忰
377		375	喜助		白銀師·御鎗金具師	弘化2年(1845)	控帳	弘化2年御鎗金具師
278 森山神社 白銀師 元治2年1855 控帳 村上神 投帳 大田神社 投帳 大田神社 投帳 村上神 投帳 大田神社 投帳 大田神社 大田社 大田社								安政3年職人・森岡と改める
おり お田 お田 お田 お田 お田 お田 お田								
日銀師 日銀師 日銀師		_				,		
藤器金物師 381 安坂(赤洞原) 妻吉 四番金物師・銅網工 館 大久元年(1851) 控帳 製鋼工廠、文久元年武器製造役所利用開、文久2年苗子師免・安板と変とを表した。 383 坂井伯郎 象眼師 文政5年(1822) 控帳 文及8年件十郎へ相続 384 坂井尚次 象眼師 文政5年(1822) 控帳 文次件、文政8年に相続。 385 三郎氏衛門 台師 第1836 控帳 十年第次文数9年報告節免 386 三郎兵衛 台師 寛太8年(1658) 控帳 年十郎弟、文政9年報告節免 387 助大夫 台師 寛太8年(1056) 控帳 宝木3年(1706) 控帳 388 田上左帝門 台師 万治2年(1059) 控帳 宝木3年第四季と海 390 井川三郎兵衛 台師 明和3年(1706) 控帳 宝木3年第四季と海 391 井川三郎兵衛門 台師 明和3年(1706) 控帳 電売所門作・明和3年親節目・三人扶持御支配・二人扶持御支配・二人扶持御支配・二人扶持御支配・二人扶持御支配・二人扶持御支配・一人扶御支配・金の子の大の大の中で支配・変化・平台 392 村川之在衛門 台師 文政2年(1819) 控帳 文左衛門・相談・会校6年現践日・三人扶持政之配・一人大郎を表して年去 393 村川三郎 台師 文文2年(1857) 控帳 文左衛門・北京・北京・北京・北京・北京・北京・北京・北京・北京・北京・北京・北京・北京・		_				,	1	
京田 1981 女女 京田 大人 大人 大田 大田 大田 大田 大田 大			174,221,474					
383 坂井作士郎 泉眼師 文政5年(1822) 控帳 文次件。文政9年(相接)、天保4年追放 384 坂井周次 泉眼師 文政9年(1826) 控帳 作十郎弟。文政9年楊当鄭免 台師 明暦3年(1657) 控帳 台師 明暦3年(1657) 控帳 子郎 八寿 大西中南 全郎 八寿 十郎 大西南 中田 記 全郎 八寿 十郎 八寿 十月 小寿 十月 小寿 十月 小寿 十月 小寿 十月 小寿 小寿 十月					師			改める
284 坂井陽次 象眼師 文政9年(1826) 控帳 作十郎弟。文政9年期当卿免 合師 明曆3年(1657) 控帳 名称 分部 分部 党文8年(1668) 控帳 名称 分記2年(1668) 控帳 名称 分記2年(1669) 控帳 宝永3年立退 金藤 全藤 全藤 全藤 全藤 全藤 全藤 全藤	象眼師							
台師 日前 日前 日前 日前 日前 日前 日前 日								
386 三郎氏衛 白師 寛文 8 年(1688) 控帳 2末3 年立退 2末3 年立退 2末3 年立退 2末3 年立退 2末3 年立退 2末3 年 (1706) 控帳 2末3 年 (1707) 控帳 2末3 年 (1707) 2至帳 2末3 年 (1707) 2至様 25元1 年 (1707) 2元年 (1707) 2元年 (上 師					,	1	作工即第。又以9年例当個兄
387 助大夫 台師 万治2年(1659) 控帳 宝永3年1706 控帳 宝永3年立退 宝永3年1706 控帳 宝永3年218	口加	_	.,,,					
388 梶田全左衛門								
389 庄太夫 台師 宝永3年(1706) 控帳 宝永3年梶田杢左衛門代り召し出し 390 村川豊左衛門 台師 明和3年(1766) 控帳 明和3年光去 391 村川三郎兵衛 台師 明和3年(1766) 控帳 豊左衛門外、明和3年親跡目・三人扶持御支配二十俵。寛政9年律文左衛門か名代動か。変配1年報跡日・三人扶持御支配二十俵。文化7年替充信師から文化9年死去 392 村川文左衛門 台師 文政2年(1819) 控帳 文左衛門外・3代10・文化2年代表の2、2年代表を2の6年現跡日・三人扶持御支配二十俵。文化7年替充主部かる12年代表で2、2年で展入り、部行時間から文化3年の土土株。安政6年死去 394 村川文左衛門 台師 文人2年(1845) 控帳 大三郎外・3化2・年代本左衛門へ相続。安政6年現跡日・三人扶持御支配二十俵、文久2年1845。受政6年現跡日・三人扶持御支配二十俵、文久2年1845。でを表去の12年で表 395 村川九三郎 台師 文人2年(1862) 控帳 文左衛門養子。元治元年相続。慶び2年死去 396 春永政右衛門 台師・枡大工 安政4年(1857) 控帳 文左衛門養子。元治元年相続。明治2年未等配名し上げのインス・2年経済の相続。明治2年は860) 近帳 女右衛門三男 398 春永永兵衛 台師 万延元年(1860) 控帳 数右衛門三房 数イ衛門三房 数イ衛門・次久3年に相続 399 春永永平 台師 対名2年(1869) 目付日記 数十枠 数十枠 400 春永孝平 台師 万延元年(1869) 日付日記 数十枠 402 福業太中 女衛門中・2大衛市門・2年は869 日付日記 女十枠 403 福業太中 女衛門・2年は869) 日付日記 女十枠 <td< td=""><td></td><td></td><td>-</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>宝永3年立退</td></td<>			-					宝永3年立退
390 村川豊左衛門 台師 明和3年(1766) 控帳 明和3年(2766) 控帳 野左衛門巻、明和3年親跡日・三人扶持御支配二十俵。寛政9年特文左衛門外に別め、寛政11年死去 202 村川文左衛門 台師 寛政9年(1797) 控帳 一定販売幣・寛政11年親跡日・三人扶持御支配二十俵。寛政9年作文左衛門外に別め、寛政11年親跡日・三人扶持御支配二十俵。文化7年特九三郎が名代勤め。文化9年死去 九三郎が名代勤め。文化9年死去 九三郎が名代勤め。文化9年死去 九三郎が名代動め。文化9年死去 九三郎が名代動め。文化9年死去 九三郎が名代動め。文化9年死去 九三郎が名代動め。文化9年死去 九三郎が名代動め。文化9年死去 九三郎が名代動め。文化9年死去 九三郎が名代動め。文化9年死去 九三郎寺名成自門へ出続。安政6年親跡日・三人扶持御支配二十俵 女久2年底衛門へ出続。安な6年親跡日・三人扶持御支配二十俵 女久2年藤丸利八郎(打府師)枠九三郎を養子。元治元年養子九三郎へ 根徳。慶応 2年死去 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100							1	
531 行用三郎矢剛 日前 9月4 3年(1760) 左殿 左衛門か名代動め。寛政1年死去 2 部 5 衛性。寛政1年死去 2 部 5 衛性。寛政11年死法 2 元 本 5 元 十 年 6 元 元 2 年 7 年 7 元 三郎 5 衛性。寛政11年死法 2 元 本 5 元 元 元 2 年 7 年 8 元 記 5 元 元 元 2 年 8 元 記 5 元 元 元 2 年 8 元 記 5 元 元 元 2 年 8 元 記 5 元 元 元 2 年 8 元 記 5 元 元 元 2 年 8 元 記 5 元 元 元 2 年 8 元 記 5 元 元 元 2 年 8 元 記 5 元 元 元 2 年 8 元 記 5 元 元 元 2 年 8 元 記 5 元 元 元 2 年 8 元 元 元 2 年 8 元 元 元 2 年 8 元 元 元 年 8 元 元 元 2 年 8 元 元 元 2 年 8 元 元 元 2 年 8 元 元 元 2 年 8 元 元 元 2 年 8 元 元 元 2 年 8 元 元 元 2 年 8 元 元 元 2 年 8 元 元 元 2 年 8 元 元 元 2 年 8 元 元 元 2 年 8 元 元 元 2 年 8 元 元 元 2 年 8 元 元 元 2 年 8 元 元 元 2 年 8 元 元 元 2 年 8 元 元 元 2 年 8 元 元 元 2 年 8 元 元 元 2 年 8 元 元 元 2 年 8 元 元 元 2 年 8 元 元 2 年 8 元 元 2 年 8 元 元 2 年 8 元 元 2 年 8 元 元 2 年 8 元 元 2 年 8 元 元 2 年 8 元 元 2 年 8 元 元 2 年 8 元 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元 2 年 8 元		-				,		
20		391	村川三郎兵衛		台師	明和3年(1766)	控帳	豊左衛門忰。明和3年親跡目・三人扶持御支配二十俵。寛政9年忰文 た毎門が名代勤め、寛政11年死主
2003 村川九三郎 台師 文政2年(1819) 控帳 文左衛門忰。弘化2年中文左衛門へ相続。安政6年死去 大三郎仲。弘化2年(1845) 技帳 文人2年(1845) 技帳 文人2年(1845) 大三郎仲。弘化2年(1845) 大三郎仲。弘代2年(1845) 大三郎仲。弘代2年(1845) 大三郎仲。弘代2年(1845) 大三郎仲。弘代2年(1845) 大三郎仲。弘代2年(1845) 大三郎仲。弘代2年(1845) 大三郎で養子。元治元年養子九三郎で相続。慶応2年死去 大三郎中高の。安政4年職人・苗字御免・森永と改める。文久3年の書 大京 大京 大京 大京 大京 大京 大京 大		392	村川文左衛門			寛政9年/1797)		三郎兵衛忰。寛政11年親跡目・三人扶持御支配二十俵。文化7年忰
対川文左衛門 台師 弘化2年(1845) 控帳 大三郎体。弘化2年に相続。安政6年親跡目・三人扶持御支配二十俵								
395 村川九三郎 台師 文久 2 年(1862) 控帳 文左衛門養子。元治元年に相続 次久 3 年(1867) 控帳 文左衛門養子。元治元年に相続 秋大工。大筒車台師。安政 4 年職人・苗字御免・森永と改める。文久 3 年仲藤兵衛へ相続。明治 2 年状持支配召し上げ 投帳 政右衛門三男 398 森永藤兵衛 台師 文久 3 年(1863) 控帳 政右衛門中。文久 3 年に相続 399 森永政十 台師 明治 2 年(1869) 目付日記 日付日記 日本大田本本・「日本・「日本・「日本・「日本・「日本・「日本・「日本・「日本・「日本・「								九三郎忰。弘化2年に相続。安政6年親跡目・三人扶持御支配二十俵。 文久2年藤丸利八郎(打柄師)忰九三郎を養子。元治元年養子九三郎へ
396 森永政右衛門 台師・枡大工 安政 4 年(1857) 控帳 枡大工。大筒車台師。安政 4 年職人・苗字御免・森永と改める。文久 3 年件藤兵衛へ相続。明治 2 年 表 2 年 表 3 年 2 年 2 年 2 年 2 年 2 年 2 年 2 年 2 年 2 年		395	村川九三郎		台師	文久 2 年 (1862)	控帳	
397 森永吉兵衛 台師 万延元年(1860) 控帳 政右衛門三男 数右衛門三男 数右衛門三男 数右衛門を立入3年(1863) 控帳 数右衛門中。文入3年(1863) 控帳 数右衛門中。文入3年(1864) 目付日記 400 森永善平 台師 明治2年(1869) 目付日記 数十件 401 森永藤九郎 台師 明治2年(1869) 目付日記 政十件 402 福葉友十郎 友右衛門 台師 万延元年(1860) 控帳 万延元年職人・大筒車台師。友十郎と改める。文入元年福葉と改める。 文入3年(1863) 控帳 友生の3年に相続 女生の3年に相続 女生の404 池谷幸七 台師 元治2年(1865) 控帳 大筒車台師。元治2年職人・古字御免・池谷と改める 405 日田兵右衛門 台師 元治2年(1865) 控帳 大筒車台師。元治2年職人・古字御免・池谷と改める 405 日田兵右衛門 台師 元治2年(1865) 控帳 大筒車台師。元治2年職人並・苗字御免・池谷と改める 405 日田兵右衛門 台師 元治2年(1865) 控帳 (鳥取城下)桶屋町大工。大筒車台師		_						枡大工。大筒車台師。安政4年職人・苗字御免・森永と改める。文久3
398 森永藤兵衛 台師 文久3年(1863) 控帳 政右衛門忰。文久3年に相続 399 森永政十 台師 明治2年(1869) 目付日記 政十忰 400 森永善平 台師 明治2年(1869) 目付日記 政十忰 401 森永藤九郎 台師 明治2年(1869) 目付日記 政十忰 402 福葉友十郎 友右衛門 台師 万延元年(1860) 控帳 万延元年職人・大筒車台師。友十郎と改める。文久元年福葉と改める。文久3年(2863) 社帳 403 福葉金五郎 台師 文久3年(1863) 控帳 友十郎忰。文久3年(相続 404 池谷幸七 台師 元治2年(1865) 控帳 大筒車台師。元治2年職人並・苗字御免・池谷と改める 405 臼田兵右衛門 台師 元治2年(1865) 控帳 (鳥取城下)桶屋町大工。大筒車台師								
399 森永政十 台師 明治2年(1869) 目付日記 400 森永善平 台師 明治2年(1869) 目付日記 政十枠 401 森永藤九郎 台師 明治2年(1869) 目付日記 政十枠 402 福葉友十郎 友右衛門 台師 万延元年(1860) 控帳 万延元年職人・大筒車台師。友十郎と改める。文久元年福葉と改める。文久3年作金五郎へ相続 403 福葉金五郎 台師 文久3年(1863) 控帳 友十郎枠。文久3年に相続 404 池谷幸七 台師 元治2年(1865) 控帳 大筒車台師。元治2年職人並・苗字御免・池谷と改める 405 臼田兵右衛門 台師 元治2年(1865) 控帳 (鳥取城下)桶屋町大工。大筒車台師		_						
400 森永善平 台師 明治2年(1869) 目付日記 政十枠 401 森永藤九郎 台師 明治2年(1869) 目付日記 政十枠 402 福葉友十郎 友右衛門 台師 万延元年(1860) 控帳 万延元年職人・大筒車台師。友十郎と改める。文久元年福葉と改める。文久3年停金五郎へ相続 403 福葉金五郎 台師 文久3年(1863) 控帳 友十郎枠。文久3年に相続 404 池谷幸七 台師 元治2年(1865) 控帳 大筒車台師。元治2年職人・古字御免・池谷と改める 405 臼田兵右衛門 台師 元治2年(1865) 控帳 (鳥取城下)桶屋町大工。大筒車台師						,		
401 森永藤九郎 台師 明治2年(1869) 目付日記 政十枠 402 福葉友十郎 友右衛門 台師 万延元年(1860) 控帳 万延元年職人・大筒車台師。友十郎と改める。文久元年福葉と改める。文久3年枠金五郎へ相続 403 福葉金五郎 台師 文久3年(1863) 控帳 友十郎枠。文久3年に相続 404 池谷幸七 台師 元治2年(1865) 控帳 大筒車台師。元治2年職人並・苗字御免・池谷と改める 405 臼田兵右衛門 台師 元治2年(1865) 控帳 (鳥取城下)桶屋町大工。大筒車台師								政十忰
402 価架及下的 及石闸门 行動 万速九年(1800) 空帳 文久3年件金五郎へ相続 403 福業金五郎 台師 文久3年(1863) 控帳 友十郎枠。文久3年に相続 404 池谷幸七 台師 元治2年(1865) 控帳 大筒車台師。元治2年職人並・苗字御免・池谷と改める 405 臼田兵右衛門 台師 元治2年(1865) 控帳 (鳥取城下)桶屋町大工。大筒車台師								
403 福業金五郎 台師 文久3年(1863) 控帳 友十郎枠。文久3年に相続 404 池谷幸七 台師 元治2年(1865) 控帳 大筒車台師。元治2年職人並・苗字御免・池谷と改める 405 臼田兵右衛門 台師 元治2年(1865) 控帳 (鳥取城下)桶屋町大工。大筒車台師		402	福葉友十郎	友右衛門	台師	万延元年(1860)	控帳	万延元年職人・大筒車台師。友十郎と改める。文久元年福葉と改める。
405 白田兵右衛門 台師 元治2年(1865) 控帳 (鳥取城下)桶屋町大工。大筒車台師		403	福葉金五郎		台師	文久3年(1863)	控帳	
		404	池谷幸七			元治2年(1865)	控帳	大筒車台師。元治2年職人並・苗字御免・池谷と改める
406 善四郎 台師 元治2年(1865) 在方諸事控 (鳥取城下)桶屋町大工。大筒車台師		405	臼田兵右衛門		台師	元治2年(1865)	控帳	(鳥取城下)桶屋町大工。大筒車台師
		406	善四郎		台師	元治2年(1865)	在方諸事控	(鳥取城下)桶屋町大工。大筒車台師

職名	通番	職人名	初名等	職種	初見及び	典拠資料	備考
楯師	407	池内番右衛門		楯師・台師	嘉永6年(1853)	控帳	 無頭足軽大工半三郎忰。安政6年大筒台師御用・職人。安政6年職人・
柄巻師	408	(佐藤) 久右衛門		柄巻師	明暦3年(1657)	控帳	苗字御免・池内と改める 御支配二十俵。寛文4年死去
117 5 80	409	(佐藤)久次郎		柄巻師	宝永7年(1710)	控帳	御支配二十俵。宝永7年忰源四郎へ相続。延享元年忰久作へ相続
	410	(佐藤)源四郎		柄巻師	宝永7年(1710)	控帳	久次郎忰。御支配二十俵。宝永7年に相続。享保13年欠落
	411	佐藤久次郎	久作	柄巻師	延享元年(1744)	控帳	久次郎忰。延享元年に相続。久次郎と改める。佐藤と改める。宝暦5年 地茂三郎。 495
	412	佐藤久次郎	茂三郎	柄巻師	宝暦 5 年(1755)	控帳	<u>仲茂三郎へ相続</u> 久次郎性。宝暦 5 年に相続。宝暦 5 年久次郎と改める。天明 2 年 <u>仲長</u>
		佐藤長次郎	/A_A	柄巻師	天明 2 年 (1782)	控帳	次郎へ相続 久次郎忰。天明2年に相続。文化5年懸梅伊兵衛舎弟又三郎を養子。
	413		77 ─ 417				京永3年二男貞蔵へ相続 国が改善了。4次以上がより、日本2年間点
	414	佐藤久次郎	又三郎 貞蔵	柄巻師 柄巻師	文化5年(1808) 嘉永2年(1849)	控帳	長次郎養子。久次郎と改める。弘化2年眼病 長次郎二男。嘉永3年に相続。嘉永7年四郎兵衛と改める
	416	治兵衛	貝敞	柄巻師	安永7年(1778)	控帳	安永7年死去
	417	次郎右衛門		柄巻師	安永7年(1778)	控帳	治兵衛忰。安永7年親跡目。
	418	平田半四郎		柄巻師	寛政6年(1794)	控帳	寛政12年平田と改める。文政7年忰要次郎へ相続
	419	平田要次郎		柄巻師	文政5年(1822)	控帳	半四郎忰。文政7年に相続。弘化3年忰甚蔵へ相続
	420	平田甚蔵		柄巻師	弘化3年(1846)	控帳	要次郎忰。弘化3年に相続。万延元年忰幸左衛門へ相続
	421	平田幸左衛門		柄巻師·具足地鉄 師·小銃金具師	万延元年(1850)	控帳	甚蔵忰。万延元年に相続。具足地鉄師兼帯。明治元年小銃金具師兼帯
	422	高木恵助		柄巻師・鮫洗師	文政5年(1822)	控帳	文政5年御用聞。鮫洗師兼帯
	423	高木甚兵衛		柄巻師	嘉永2年(1849)	控帳	恵助忰
鍔師	424	(早田)忠兵衛		鍔師	明暦3年(1657)	控帳	駿河鍛冶。六人扶持。万治4年死去
	425	早田忠兵衛		鍔師	享保4年(1719)	控帳	享保4年忰弥兵衛へ相続
	426	早田忠兵衛	弥兵衛	鍔師	享保4年(1719)	控帳	忠兵衛忰。享保4年に相続。忠兵衛と改める。宝暦9年忰弥平へ相続
	427	早田忠兵衛	弥平	鍔師	宝暦 9 年(1759)	控帳	忠兵衛忰。宝暦9年に相続。寛政4年忠兵衛と改める。享和3年忰来 次郎へ相続
	428	早田忠兵衛	来次郎	鍔師	享和3年(1803)	控帳	忠兵衛忰。享和3年に相続。文化2年忠兵衛と改める
	429	早田忠次郎		鍔師	弘化3年(1846)	控帳	安政3年忰弥平へ相続
	430	早田弥平		鍔師	安政3年(1856)	控帳	忠次郎忰。安政3年に相続
	431	富田喜兵衛		鍔師	弘化元年(1844)	控帳	弘化元年職人・富田と改める
鉄砲師	432	(榎並)宇右衛門		鉄砲師	明暦2年(1656)	控帳	
(小銃師)	433	榎並宇右衛門	権兵衛	鉄砲師	寛文8年(1668)	控帳	宇右衛門忰。寛文11年親跡目相続。榎並宇右衛門と改める。元禄7年死去
	434	榎並権兵衛		鉄砲師	元禄7年(1694)	控帳	字右衛門忰。元禄9年親跡目相続
	435	渋川(榎並)助左衛		鉄砲師	宝永6年(1709)	控帳	宝永6年死去
	436	IT 渋川(榎並)権兵衛		鉄砲師	宝永6年(1709)	控帳	宝永6年跡目・五人扶持御支配二十五俵
	437	渋川(榎並)新兵衛		鉄砲師	享保6年(1721)	控帳	権兵衛性
	438	榎並(渋川)源次		鉄砲師	寛保2年(1742)	控帳	寛保2年本名榎並と改める。延享元年弟子半左衛門を養子。宝暦5年
	439	榎並半左衛門		鉄砲師	延享元年(1744)	控帳	鍛冶惣吉忰尾十郎を養子 源次養子
	440	榎並権兵衛	尾十郎	鉄砲師	宝暦5年(1755)	控帳	源次養子。権兵衛と改める。享和2年死去
	441	渋川(榎並)源次	7 3 1 2 1	鉄砲師	寛政7年(1795)	控帳	権兵衛忰。享和2年親跡目・五人扶持御支配二十五俵。文化2年渋川
		渋川(榎並)宇一郎		鉄砲師	文化11年(1814)	控帳	と改める。 嘉永 3 年嫡孫綱次郎が代番勤め。 嘉永 6 年死去 源次忰
	443	渋川(榎並)宇右衛門	綱次郎	鉄砲師	天保12年(1841)	控帳	源次嫡孫。嘉永3年宇右衛門と改める
	444	渋川(榎並)弥四郎	MANCAL	鉄砲師	安政6年(1859)	控帳	字右衛門弟。安政6年下調役手伝御雇
	445	榎並次郎兵衛		鉄砲師・金具師	文化5年(1808)	控帳	渋川源次弟子。文化5年苗字御免・榎並と改める。文政元年中尾権平
							代り金具師
	446	渋川宇市		鉄砲師	明治4年(1871)	目付日記	
	447	小畑長輔		鉄砲師 鉄砲師	嘉永 4 年 (1851) 慶応 2 年 (1866)	控帳	長輔伜
	449	榎並兵蔵		鉄砲師	明治元年(1868)	控帳	(鳥取城下)立川の鉄砲師。明治2年行方知れず
	450	井上源六		鉄砲師	明治4年(1871)	目付日記	(海水が、下)立川マン教(昭和6 5月1日 2 平11月) 加4にり
	451	(井上)次郎兵衛		鉄砲師(米子)	宝永3年(1706)	控帳	米子鉄砲師
	452	(井上)次郎兵衛		鉄砲師(米子)	宝永3年(1706)	控帳	次郎兵衛養子。米子鉄砲師。宝永3年実子太郎吉へ相続、暇
	453	(井上)太郎吉		鉄砲師(米子)	宝永3年(1706)	控帳	先代次郎兵衛実子。米子鉄砲師。
	454	井上七右衛門		鉄砲師(米子)	文化4年(1807)	控帳	米子鉄砲師。文化4年苗字御免・井上と改める
	455	井上長蔵		鉄砲師(米子)	弘化3年(1846)	控帳	米子鉄砲師
	456	井上源蔵		鉄砲師(米子)	明治2年(1869)	控帳	長蔵忰
	457	芳太郎		鉄砲師(米子)	元治元年(1864)	控帳	米子馬喰町。井上長蔵内弟子。
	458	井上治良(郎)平		鉄砲師(米子)	明治4年(1871)	目付日記	米子小銃師
	459	井上奏蔵		鉄砲師(米子)	明治4年(1871)	目付日記	治良(郎)平忰。米子小銃師
	460	国友林右衛門		鉄砲師	天保3年(1832)	控帳	江州坂田郡国友村鉄砲師
	461	山田五兵衛		鉄砲師	天保13年(1842)	控帳	泉州堺鉄砲師
	462	初五郎		鉄砲師(江戸)	安政2年(1855)	江戸家老日記	江戸京橋慎町鉄砲鍛冶
	463	森田吉三郎		鉄砲師	安政4年(1857)	控帳	長州赤間ケ関鉄砲師。森田新助忰
		#C 65 111-1-1/#- PP		M. The ACT	share a fee a comm	July de F	E U Lagra against et des
	464	新谷岩右衛門		鉄砲師	安政4年(1857)	控帳	長州赤間ケ関鉄砲師

職名	通番	職人名	初名等	職種	初見及び	が典拠資料	備考
鉄砲師	466	榎並屋政十郎		鉄砲師	安政5年(1858)	控帳	泉州堺鉄砲師
(小銃師)	467	岩田要蔵		鉄砲師(江戸)	安政5年(1858)	江戸家老日記	江戸鉄砲師
	468	岩田善八		鉄砲師(江戸)	文久元年(1861)	江戸家老日記	要藏忰。江戸鉄砲師
	469	彦五郎		鉄砲師(江戸)	文久元年(1861)	江戸家老日記	要蔵弟子
	470	忠五郎		鉄砲師(江戸)	文久元年(1861)	江戸家老日記	要藏弟子
	471	小野鋠蔵		鉄砲師(江戸)	安政5年(1858)	江戸家老日記	江戸鉄砲師
	472	国友庄角		鉄砲師(江戸)	安政5年(1858)	江戸家老日記	江戸鉄砲師
	-						泉州堺鉄砲師
	473	榎並助左衛門		鉄砲師	万延元年(1860)	控帳	
	474	保田芳三郎		鉄砲師	万延元年(1860)	控帳	阿州阿保村鉄砲師。保田又治忰
	475	安田虎之助		鉄砲師	万延元年(1860)	控帳	作州津山鉄砲師
	476	末吉清吉		鉄砲師	文久元年(1861)	控帳	泉州堺鉄砲師
	477	芝辻清次郎		鉄砲師	文久3年(1863)	控帳	泉州堺鉄砲師。芝辻治兵衛忰
	478	芝辻松次郎		鉄砲師	文久3年(1863)	控帳	泉州堺鉄砲師
	479	河内屋辰蔵		鉄砲師	文久3年(1863)	控帳	泉州堺鉄砲師
	480	兵吉		鉄砲師	文久3年(1863)	在方諸事控	作州東北条郡小中原村鉄砲鍛冶
	481	増蔵		鉄砲師	文久3年(1863)	在方諸事控	兵吉弟子
	482	麗之助		鉄砲師	文久3年(1863)	在方諸事控	兵吉弟子
	483	伊太郎		鉄砲師	文久3年(1863)	在方諸事控	兵吉弟子
	484	武源次		鉄砲師	文久3年(1863)	在方諸事控	兵吉弟子
	485	庄蔵		鉄砲師	元治元年(1864)	控帳	越前鉄砲師和吉下職
	486	作太郎		鉄砲師	元治元年(1864)	控帳	越前鉄砲師和吉下職
	487	武源次		鉄砲師	元治2年(1865)	控帳	作州東北条郡桑原村鉄砲師
	488	浅五郎		鉄砲師	慶応元年(1865)	控帳	泉州堺鉄砲師
	489	万一		鉄砲師	慶応3年(1867)	控帳	雲州嶋根郡森山村鉄砲師
	_			-		1	
	490	米蔵		鉄砲師	慶応3年(1867)	控帳	但州七味郡村岡鉄砲師
	491	備前屋増次郎		鉄砲師	明治元年(1868)	控帳	作州東北条郡堤中村鉄砲師
	492	鹿之助		鉄砲師	明治元年(1868)	目付日記	作州東北条郡小中原村鉄砲師
	493	栄次郎		鉄砲師	明治2年(1869)	控帳	東京浅草鉄砲師
	494	初太郎		鉄砲師	明治2年(1869)	目付日記	雲州松江鉄砲師
	495	源太郎		鉄砲師	明治2年(1869)	目付日記	雲州松江鉄砲師
	496	伝次郎		鉄砲師	明治2年(1869)	目付日記	雲州松江鉄砲師
	497	庄之助		鉄砲師	明治2年(1869)	目付日記	雲州松江鉄砲師
	498	利平		鉄砲師	明治2年(1869)	目付日記	雲州松江鉄砲師
	499	源次郎		鉄砲師	明治2年(1869)	目付日記	常州土浦鉄砲師
	500	民蔵		鉄砲師	明治2年(1869)	目付日記	東京浅草鉄砲師
	501	政次郎		鉄砲師	明治2年(1869)	目付日記	東京浅草一丁目鉄砲師
	502	栄次郎		鉄砲師	明治2年(1869)	目付日記	東京浅草一丁目鉄砲師
	503	熊蔵		鉄砲師	明治2年(1869)	目付日記	丹後宮津金屋谷鉄砲師
	504	熊太郎		鉄砲師	明治2年(1869)	目付日記	雲州木次村鉄砲師下職
	505	重助		鉄砲師	明治2年(1869)	目付日記	雲州松江横浜町鉄砲師下職。明治2年行方知れず
	506	貞太郎		鉄砲師	明治2年(1869)	目付日記	雲州松江竪町鉄砲師下職。明治2年行方知れず
	_			-			
	507	安蔵		鉄砲師	明治2年(1869)	目付日記	雲州松江寺町鉄砲師下職
	508	芳之助		鉄砲師	明治2年(1869)	目付日記	伯州汗入郡稲光村鉄砲師下職
	509	鉄之助		鉄砲師	明治2年(1869)	目付日記	雲州意宇郡洞光寺村鉄砲師下職
	510	栄次郎		鉄砲師	明治2年(1869)	目付日記	泉州堺鉄砲師
	511	定之助		鉄砲師	明治2年(1869)	目付日記	栄次郎忰。泉州堺鉄砲師
	512	八十吉		鉄砲師	明治2年(1869)	目付日記	下総梶鹿郡関宿鉄砲師下職
	513	岩次郎		鉄砲師	明治2年(1869)	目付日記	伯州汗入郡淀江村鉄砲師下職
	514	長兵衛		鉄砲師	明治2年(1869)	目付日記	丹後宮津金屋谷鉄砲師
	515	市蔵		鉄砲師	明治2年(1869)	目付日記	伊予和気郡堀江村鉄砲師
	516	源蔵		鉄砲師	明治2年(1869)	目付日記	丹後宮津鉄砲師
	517	定五郎		鉄砲師	明治2年(1869)	目付日記	雲州松江鉄砲師下職
	518	弥平		鉄砲師	明治2年(1869)	目付日記	雲州母里鉄砲師
	519	弥三郎		鉄砲師	明治2年(1869)	目付日記	伊予成泰郡曽根村小統師
	520	次郎吉		鉄砲師	明治2年(1869)	<u> </u>	越前福井小統師
	-			-		目付日記	
独构 众目标	521	市蔵		鉄砲師 (公十)	明治4年(1871)	目付日記	備後府中小銃師
鉄砲金具師 (小 銃 金 具	522	二岡安次郎		鉄砲金具師(倉吉)	文化2年(1805)	控帳	倉吉鉄砲金具師。文化2年三人扶持
師)	523	二岡伝内		鉄砲金具師(倉吉)	文政4年(1821)	控帳	文政 4 年死去
	524	二岡瀬一郎		鉄砲金具師(倉吉)	文政4年(1821)	控帳	文政4年親跡目。天保10年忰友三郎へ相続
	1	→ 157 -1 → Aut	İ.	鉄砲金具師(倉吉)	天保10年(1839)	控帳	瀬一郎忰。天保10年に相続。嘉永7年平三郎と改める。安政4年忰常
	525	二岡友三郎		 	人体10年(1009)	1至収	蔵へ相続

職名	通番	職人名	初名等	職種	初見及び	典拠資料	備考
鉄砲金具師	527	榎並東兵衛	次郎兵衛、新 兵衛	鉄砲金具師	文政9年(1826)	控帳	文政10年新兵衛と改める。安政6年東兵衛と改める。文久元年忰春蔵 へ相続
(小銃金具師)	528	榎並新兵衛	春造	鉄砲金具師	天保9年(1838)	控帳	新兵衛(東兵衛)忰。天保12年新兵衛と改める。
	529	井上文次郎		鉄砲金具師・大筒 金具師	万延元年(1854)	控帳	嘉永7年大筒金物御用。安政5年職人・大筒金具師・苗字御免・井上と 改める
	530	橋本文六		鉄砲金具師·鍛冶	安政5年(1858)	控帳	鍛冶。安政5年職人・苗字御免・橋本と改める
	531	山崎忠次郎		鉄砲金具師·鍛冶	安政5年(1858)	控帳	鍛冶。安政5年職人・苗字御免・山崎と改める
	532	忠三郎		鉄砲金具師	明治2年(1869)	控帳	山崎忠次郎内弟子
	533	黒沢伊左衛門		鉄砲金具師	万延元年(1860)	控帳	万延元年職人。文久元年黒沢と改める
	534	橋本源次郎		鉄砲金具師	万延元年(1860)	控帳	万延元年職人。橋本と改める
	535	源六		鉄砲金具師	明治2年(1869)	在方諸事控	源次郎弟子。榎並春蔵(新兵衛)下職
	536	大津屋文六		鉄砲金具師(倉吉)	文久元年(1861)	控帳	倉吉鉄砲金具師。文久元年職人 (鳥取城下)本寺町惣九郎忰。文久3年職人並・苗字御免・木村と改め
	537	木村善四郎		鉄砲金具師	文久3年(1863)	控帳	(無私城下)平寸可忽九郎件。又八3十椒八业・田子四光・小竹と以る。
	538	庄右衛門		鉄砲金具師·鍛冶	元治元年(1864)	控帳	鍛冶。小銃金具師兼帯
	539	鈴木新助		鉄砲金具師・鐙師	明治元年(1868)	控帳	鐙師。明治元年小銃金具師兼帯。6と同一人物
	540	平田幸左衛門		鉄砲金具師·柄巻師	明治元年(1868)	控帳	柄巻師。明治元年小銃金具師兼帯。421と同一人物
	541	井上佐次郎		鉄砲金具師・弓師	明治元年(1868)	控帳	弓師。明治元年小銃金具師兼帯。832と同一人物
	542	田中安次郎		鉄砲金具師·轡師	明治元年(1868)	控帳	轡師。明治元年小銃金具師兼帯。263と同一人物
	543	渡辺源助		鉄砲金具師・具足 滅師	明治元年(1868)	控帳	具足縅師。明治元年小銃金具師兼帯。250と同一人物
	544	上田安左衛門		鉄砲金具師·轡師	明治元年(1868)	控帳	轡師。明治元年小銃金具師兼帯。259と同一人物
	545	浜野啓次郎		鉄砲金具師·刀鍛冶	明治元年(1868)	控帳	刀鍛冶。明治元年小銃金具師兼帯。179と同一人物
	546	江村直十郎		鉄砲金具師·鍛冶	明治元年(1868)	控帳	鍛冶。明治元年小銃金具師兼帯。120と同一人物
	547	竹森又右衛門		鉄砲金具師・具足 縅師	明治元年(1868)	控帳	具足縅師。明治元年小銃金具師兼帯。248と同一人物
	548	太田忠左衛門		鉄砲金具師・具足 地鉄師	明治元年(1868)	控帳	具足地鉄師。明治元年小銃金具師兼帯。252と同一人物
	549	源蔵		鉄砲金具師(江戸)	安政2年(1855)	江戸家老日記	江戸品川鉄砲金具師
	550	留吉		鉄砲金具師(江戸)	安政3年(1856)	江戸家老日記	江戸深川前嶋伝之助弟子地板師
	551	林蔵		鉄砲金具師(江戸)	安政3年(1856)	江戸家老日記	江戸深川松家安五郎弟子地板師
	552	瀧蔵		鉄砲金具師	明治2年(1869)	控帳	東京浅草鉄砲金具師
	553	足立弘甫		鉄砲金具師	明治2年(1869)	目付日記	但州出石郡出石鉄砲金具師
	554	足立松五郎		鉄砲金具師	明治2年(1869)	目付日記	弘甫弟。但州出石郡出石鉄砲金具師
	555	友十郎		鉄砲金具師	明治2年(1869)	目付日記	丹後熊野郡久美浜十条町鉄砲金具師。橋本源次郎内弟子
	556	伊三郎		鉄砲金具師	明治2年(1869)	目付日記	讃州豊田郡観音寺柳町小銃金具師
	557	藤吉		鉄砲金具師	明治2年(1869)	目付日記	備前津高郡下牧村小銃金具師
	558	半次郎		鉄砲金具師	明治2年(1869)	目付日記	東京米沢町小銃金具師
鉄砲象眼師	559	坂井清次		鉄砲象眼師	文化3年(1806)	控帳	坂井と改める
鉄砲大工	560	梶田新右衛門		鉄砲大工	元禄10年(1697)	控帳	元禄10年惣三郎を養子
	561	梶田惣三郎		鉄砲大工	元禄10年(1697)	控帳	新右衛門養子
	562	庄太夫		鉄砲大工	元禄12年(1699)	控帳	
鉄砲台師	563	野口源次郎		鉄砲台師	享保14年(1729)	控帳	
(小銃台師)	564	野口助太夫		鉄砲台師	享保14年(1729)	控帳	寛保2年忰藤右衛門へ相続
	565	野口源次郎		鉄砲台師	享保14年(1729)	因府年表	助太夫忰。享保14年死去。 助太夫忰。寛保2年に相続。明和5年浜田徳右衛門(鍛冶)忰宇七郎を
	566	野口助太夫	藤右衛門	鉄砲台師	寛保2年(1742)	控帳	助な大洋。見休と平に相続。明和3年供由總石閘門(萩布)洋子で即を 養子。安永8年助太夫と改める。天明元年忰宇七郎へ相続
	567	野口宇七郎		鉄砲台師	明和5年(1768)	控帳	藤右衛門(助太夫)養子。天明元年に相続。文政5年忰喜次郎へ相続
	568	野口喜次郎		鉄砲台師	文政5年(1822)	控帳	宇七郎忰。文政5年に相続
	569	野口喜兵衛		鉄砲台師	天保11年(1840)	控帳	喜次郎忰
	570	村川三郎兵衛		鉄砲台師	宝永6年(1709)	控帳	
	571	岡本太郎左衛門		鉄砲台師	享和元年(1801)	控帳	岡本と改める。文政3年忰恵七郎へ相続
	572	岡本恵七郎		鉄砲台師	文政3年(1820)	控帳	太郎左衛門忰。文政3年に相続 安政2年岡本恵七郎(572)から相続。棒火矢下地師。万延元年忰和右衛
	573	岡本八左衛門		棒火矢下地師	安政5年(1858)	控帳	安政 2 平岡平思七郎(372) がら相続。倖八大「地師。万延几平平和石梓門へ相続
	574	岡本和市	和右衛門	棒火矢下地師	万延元年(1860)	控帳	八左衛門忰。万延元年に相続。慶応元年細工並
	575	中井和平		鉄砲台師	弘化元年(1844)	控帳	弘化元年苗字御免・中井と改める
	576	中井重兵衛		鉄砲台師	万延元年(1854)	控帳	和平性
	577	辻友三郎		鉄砲台師·大筒台師	万延元年(1854)	控帳	鉄砲足軽。嘉永7年大筒台師兼帯。安政5年職人・大筒台師・苗字御免 立と改める。文久3年忰元三郎へ相続
	578	辻元三郎		鉄砲台師	文久3年(1863)	控帳	友三郎忰。文久3年に相続
	579	文右衛門		鉄砲台師(米子)	安政3年(1856)	控帳	米子鉄砲台師
	580	山口保太夫	恵八郎	鉄砲台師·大工	安政4年(1857)	控帳	大工。安政4年職人・苗字御免・山口と改める。明治元年保太夫と改める。
	581	後藤小三郎		鉄砲台師·大工	安政4年(1857)	控帳	大工。安政4年職人・苗字御免・後藤と改める
	582	後藤太一郎		鉄砲台師	慶応2年(1866)	控帳	小三郎忰
	583	宮脇勝右衛門		鉄砲台師·大工	元治元年(1864)	控帳	(鳥取城下)今町二丁目大工。小銃台師兼帯
	584	中井幸吉		鉄砲台師	元治2年(1865)	控帳	鉄砲足軽。元治2年職人・苗字御免・中井と改める
	585	松五郎		鉄砲台師(江戸)	安政2年(1855)	江戸家老日記	江戸芝新横町亀蔵店鉄砲台師

職名	通番		初名等	職種	初見及び		
鉄砲台師	586	伝次郎		鉄砲台師	明治2年(1869)	目付日記	雲州松江鉄砲台師
(小銃台師)	587	芳蔵		鉄砲台師	明治4年(1871)	目付日記	伯州汗入郡稲光村鉄砲台師
研師	588	竹屋九郎兵衛		研師・目利師	明暦2年(1656)	控帳	目利師兼帯。寛文12年京都竹屋甚左衛門忰を養子。宗閑と改める。
	589	70.2	兵衛	研師・目利師	寛文12年(1672)	控帳	九郎兵衛忰。目利師兼帯。随節と改める。宝永5年職儀御免。
	590	七左衛門		研師	明暦3年(1657)	控帳	二人扶持。實文2年死去
	591	三郎太夫		研師	寛文2年(1662)	控帳	二人扶持。宝永7年忰源蔵へ相続
	592	源蔵		研師	宝永7年(1710)	控帳	三郎太夫忰。宝永7年に相続。二人扶持 二人扶持。寛保2年高月政右衛門(研師)忰新九郎を養子。延享4年3
	593	竹屋作太夫		研師	宝永6年(1709)	控帳	子七郎兵衛へ相続
	594	竹屋治兵衛		研師	享保8年(1723)	控帳	作太夫養子。二人扶持。享保11年死去
	595	竹屋新九郎		研師	享保11年(1726)	控帳	作太夫実子。治兵衛跡役。二人扶持
	596	竹屋新九郎		研師	寛保2年(1742)	控帳	作太夫養子。
	597	竹屋七郎兵衛		研師	延享3年(1746)	控帳	作太夫養子。延享4年に相続。二人扶持。宝暦13年忰作太夫へ相続。
	598	竹屋作太夫		研師	宝暦13年(1763)	控帳	七郎兵衛忰。宝暦13年に相続
	599	竹屋新次郎		研師	宝暦6年(1756)	控帳	七郎兵衛孫。宝暦6年飯田三郎助(研師)代り召し出し
	600	飯田三郎太夫		研師	宝永8年(1711)	控帳	享保13年忰源左衛門へ相続
	601	飯田三郎太夫源	左衛門	研師	享保13年(1728)	控帳	三郎太夫忰。享保13年に相続。三郎太夫と改める。元文3年忰三郎 へ相続。寛保元年欠落
	602	飯田三郎助		研師	元文3年(1738)	控帳	三郎太夫忰。元文3年に相続。宝暦5年出奔
	603	高月新六		研師・目利師	正徳2年(1712)	控帳	目利師兼帯。五人扶持御支配三十俵。享保12年高田久左衛門忰伝右行
			之進	研師・目利師		控帳	門
	604		人進		享保12年(1727)		5年 学 が 右衛門 へ相続
	605	高月定次郎		研師	享保20年(1735)	控帳	新六甥 新六養子。宝暦5年に相続。目利師兼帯。休平と改める。寛政8年字。
	606	高月休平 弥	右衛門	研師・目利師	宝暦5年(1755)	控帳	六へ相続
	607	高月休平新	六	研師・目利師	寛政8年(1796)	控帳	休平忰。寛政8年に相続。目利師兼帯。寛政10年休平と改める。文化 年忰平作が代番勤め。天保3年忰平作へ相続。
	608	高月文次郎		研師	寛政11年(1799)	控帳	休平忰。寛政11年勘当を御免。寛政12年行方知れず
	609	高月平作来	助	研師・目利師	寛政11年(1799)	控帳	休平忰。目利師兼帯。平作と改める。文化5年代番勤。天保3年に 続。嘉永3年忰作之進へ相続。安政5年忰作之進へ相続
	610	高月作之進		研師	弘化3年(1846)	控帳	平作枠。安政5年に相続。文久2年忰友之進が代番勤め。慶応3年
	-					控帳	田弥平(鍔師)弟芳之助を養子。慶応3年忰芳之助へ相続 作之進忰。慶応3年行方知れず
	611	高月友之進		研師	文久2年(1862)		
	612	高月芳之助		研師	慶応3年(1867)	控帳	作之進養子。慶応3年に相続
	613	新兵衛勘助		研師	元文元年(1736)	控帳	(鳥取城下)本町
	614	横山長右衛門		研師	元文2年(1737) 延享3年(1746)	控帳	(鳥取城下)本町二丁目。寛保3年行方知れず
	\vdash		次郎	研師	<u>延子3年(1740)</u> 宝暦11年(1761)	控帳	二人扶持。宝暦11年近藤新左衛門と改める
	616	近藤宗十郎	(AR)	研師	寛政4年(1792)	控帳	一八大行。玉百11千 11 版 利 左 南 11 こ 以 が る 天保 6 年 学 俊 蔵 へ 相 続
	-						宗十郎忰。天保6年に相続。嘉永2年忰周平(宗十郎)が代番勤め。
	618	近藤俊蔵		研師	天保6年(1835)	控帳	永6年忰宗十郎へ相続
	619	近藤宗十郎 周3	平	研師	嘉永2年(1849)	控帳	俊蔵忰。宗十郎と改める。嘉永6年に相続
	620	宗助		研師	宝暦13年(1763)	控帳	
	621	幾松		研師	宝暦13年(1763)	控帳	
	622	惣助		研師	明和4年(1767)	控帳	
	623	安城清蔵		研師	寛政12年(1800)	控帳	寛政13年鑓研師。享和元年安城と改める
	624	安城庄作		研師	文政4年(1821)	控帳	文政4年忰丈次郎へ相続 庄作忰。文政4年に相続。嘉永7年忰宗三郎へ相続。安政6年寿慶
	625	安城寿慶	次郎	研師	文政4年(1821)	控帳	改める
	626	安城丈次郎 清三	三郎、宗三郎	研師・目利師	天保7年(1836)	控帳	丈次郎(寿慶) 忰。宗三郎と改める。嘉永7年に相続。安政5年目利師 安政6年丈次郎と改める
	627	安城啓太郎		研師	慶応2年(1866)	控帳	清三郎(丈次郎)忰。江戸研師
	628	惣三郎		研師	享和元年(1801)	控帳	
	629	三和屋甚助		研師	文化8年(1811)	控帳	町研師。文化13年御用聞御免
	630	浅野弥五七		研師	文政7年(1824)	控帳	文化2年御用御雇。文政7年職人。安政3年忰武七へ相続
	631	浅野武七		研師	嘉永元年(1848)	控帳	弥五七忰。安政3年に相続、文久3年細工並
	632	井上官十郎		研師	天保2年(1831)	控帳	町研師。天保2年職人・苗字御免・井上と改める。天保9年御用御免
	633	前田庄蔵		研師	天保9年(1838)	控帳	安城丈次郎甥。天保9年井上官十郎代り職人、前田と改める。
	634	米原伊七		研師	天保11年(1840)	控帳	町研師。天保2年職人・米原と改める。天保14年御鎗研師
	635	米原八十助		研師	慶応2年(1866)	控帳	伊七忰
	636	玉川金次郎		研師	文久2年(1862)	控帳	文久 2 年職人・玉川と改める
	637	松本又兵衛		研師	宝暦6年(1756)	控帳	江戸研師。五人扶持。安永3年出奔
	638	佐藤長蔵		研師	安永5年(1776)	控帳	江戸研師
	639	安城清三郎		研師	慶応2年(1866)	控帳	江戸研師。627と関連ありか
全師	640	九兵衛		塗師	明暦2年(1656)	控帳	寛文7年御暇
	641	物兵衛		塗師	明暦3年(1657)	控帳	
	642	太郎左衛門		塗師	寛文7年(1667)	控帳	三人扶持
	643	七左衛門		塗師	延宝2年(1674)	控帳	
						1	

職名	通番	職人名	初名等	名等		曲圳咨料	備考	
塗師	645	平兵衛	M-H ()	塗師	元禄7年(1694)	控帳	um · J	
	646	十兵衛		塗師	享保2年(1717)	控帳	享保2年大赦	
	647	中村次郎左衛門		塗師	宝暦 2 年(1752)	控帳	宝暦2年忰四郎兵衛へ相続	
	648	中村次郎左衛門	四郎兵衛	途師	宝暦 2 年 (1752)	控帳	次郎左衛門忰。宝暦2年に相続。次郎左衛門と改める。宝暦11年御用	
	649	左吉		塗師	宝暦2年(1752)	控帳	御免	
	650	伊左衛門		塗師	宝暦 6 年 (1756)	控帳	(鳥取城下)本町一丁目。宝暦6年出奔	
	651	源右衛門		塗師	宝暦 6 年 (1756)	控帳	(MODANG 17:11-0 T TO THE OTHER)	
	652	(岡村)惣右衛門		塗師	宝暦8年(1758)	控帳	宝曆13年中村次郎左衛門跡役。安永4年忰彦三郎(宗九郎)へ相続	
	653	岡村宗九郎	彦三郎	塗師	安永 4 年 (1775)	控帳	惣右衛門忰。安永4年に相続。寛政6年岡村と改める。文化6年宗九郎と改める	
	654	庄三郎		塗師	宝暦10年(1760)	控帳	(鳥取城下)本町二丁目。宝暦10年出奔	
	655	徳右衛門		塗師	宝暦10年(1760)	控帳		
	656	治右衛門		塗師	宝暦13年(1763)	控帳		
	657	加藤七左衛門	与七	塗師	明和3年(1766)	控帳	三人扶持。安永6年忰良助へ相続。与七と改める。安永9年再勤。安永 9年七左衛門と改める。天明5年忰良助へ相続	
	658	加藤良助	七左衛門	塗師	安永6年(1777)	控帳	七左衛門枠。天明5年に相続。七左衛門と改める。安永9年病気。良助と改める。天明5年本服。寛政元年枠助九郎へ相続	
	659	加藤助九郎		塗師·作鞍塗師	寛政元年(1789)	控帳	良助件。寛政元年に相続。享和2年作鞍塗師兼帯。天保2年忰助三郎 へ相続	
	660	加藤助三郎		塗師	天保2年(1831)	控帳	助九郎忰。天保2年に相続。天保9年藤利八郎弟平作を養子。天保10 年忰平作へ相続	
	661	加藤助九郎	平作	塗師	天保9年(1838)	控帳	助三郎養子。天保10年に相続。弘化元年助九郎と改める。文久元年忰 祐次郎へ相続	
	662	加藤祐次(三)郎	千代蔵	塗師	文久元年(1861)	控帳	助九郎忰。文久元年に相続。明治元年閏4月御職人並	
	663	松本次郎兵衛		塗師	安永5年(1776)	控帳	松本と改める。寛政 9 年竹屋七郎兵衛(研師) 甥平四郎を養子。寛政10 年忰平四郎へ相続	
	664	松本平四郎		塗師	寛政9年(1797)	控帳	次郎兵衛枠。寛政10年に相続。文化3年弟八左衛門を養子。文化4年 忰八左衛門へ相続	
	665	松本八左衛門		塗師	文化3年(1806)	控帳	平四郎弟・平四郎養子。文化4年に相続。二人扶持。嘉永2年忰八三郎 へ相続	
	666	松本八三郎		塗師	嘉永 2 年 (1849)	控帳	八左衛門忰。嘉永2年に相続。嘉永7年忰八左衛門が名代。安政5年 忰八左衛門へ相続	
	667	松本八左衛門		塗師	万延元年(1854)	控帳	八三郎忰。安政5年に相続	
	668	私市屋庄助		塗師	享和2年(1802)	控帳	享和2年武具塗師。文化8年忰市郎兵衛へ相続	
	669	(私市屋)市郎兵衛		塗師	文化8年(1811)	控帳	庄助忰。文化8年に相続。文政12年御用御免	
	670	助十郎		塗師	文化8年(1811)	控帳	無頭足軽	
	671	有富屋重兵衛		塗師	天保7年(1836)	控帳	天保7年御用聞。万延元年御免	
	672	奥村利兵衛		塗師	弘化元年(1844)	控帳	弘化元年職人・奥村と改める。	
	673	奥村利右衛門		塗師	弘化元年(1844)	控帳	(鳥取城下)二階町三丁目。弘化元年壱岐守様(東館)御用聞。万延元年 武器製造方御用聞。文久2年苗字御免・奥村と改める	
	674	安田(岩井屋)甚三郎		塗師	弘化2年(1845)	控帳	弘化2年御用聞。弘化3年職人並・安田と改める	
	675	岩井屋(岩崎)甚五郎		塗師	万延元年(1860)	控帳	万延元年忰常次郎へ相続	
	676	岩崎(岩井屋)常次郎		塗師	万延元年(1860)	控帳	文久 2 年苗字御免・岩崎と改める。	
	677	小泉才次郎		塗師	安政2年(1855)	控帳	池田式部預鉄砲足軽。安政2年苗字御免・小泉と改める	
	678	隠岐丈助		塗師	安政4年(1857)	控帳	安政4年職人・隠岐と改める	
	679	隠岐清次郎		塗師	慶応2年(1866)	控帳	大助性	
	680	田中(千草屋)庄兵衛		塗師	万延元年(1860)	控帳	(鳥取城下)本町二丁目。万延元年御用聞。文久3年職人並・苗字御免・ 田中と改める	
	681	庄助		塗師	万延元年(1860)	控帳	(鳥取城下)本町二丁目。万延元年武器製造役所御用聞	
	682	幸八		塗師	文久元年(1861)	控帳	文久元年武器製造役所御用聞	
	683	吉平		塗師	文久2年(1862)	控帳	(鳥取城下)江崎町。文久2年御用聞	
羽織師	684	弥吉		羽織師	元禄 5 年(1692)	控帳		
	685	伊四郎		羽織師	宝永2年(1705)	控帳	享保5年若殿様(4代藩主池田宗泰)御袴御召初御用相勤。能勢と改め	
	686	能勢又四郎	l= -l- 1217	羽織師	享保2年(1717)	控帳	る。宝暦8年件与市郎(又四郎)へ相続 又四郎忰。宝暦8年に相続。又四郎と改める。明和元年忰与三右衛門	
	687	能勢又四郎	与市郎	羽織師	宝暦8年(1758)	控帳	(又四郎)へ相続	
	688	能勢又四郎	与三右衛門	羽織師	明和元年(1764)	控帳	又四郎忰。明和元年に相続。明和元年又四郎と改める	
	689	豊四郎		羽織師	享保5年(1720)	控帳	(鳥取城下)豆腐町	
	690	権兵衛		羽織師	享保9年(1724)	控帳	享保9年御用聞	
	691	幸八		羽織師	享保13年(1728)	控帳	(鳥取城下)元魚町二丁目。享保13年欠落	
	692	安右衛門		羽織師	享保13年(1728)	控帳	(鳥取城下)本町三丁目。享保13年欠落	
	693	権七		羽織師	享保18年(1733)	控帳		
	694	利兵衛		羽織師	寛延元年(1748) 字暦 0 年 (1750)	控帳	中展 0 年梱み上江 4 相性	
	695	弥兵衛		羽織師	宝暦9年(1759)	控帳	宝暦9年甥弥七江へ相続	
	696	弥七 権右衛門		羽織師	宝暦9年(1759)	控帳	弥兵衛甥 明和3年忰へ相続	
	697 698	市右衛門		羽織師	明和3年(1766) 明和3年(1766)	控帳	7月110 中日 7日帆	
	698	吉太夫		羽織師	明和3年(1766)	控帳	明和5年忰喜兵衛(吉太夫)へ相続	
	700	吉太夫	喜兵衛	羽織師	明和 5 年 (1768)	控帳	明和5年辞書共解(吉太大)へ相続 吉太夫忰。吉太夫と改める	
	700	吉太夫	甚五衛門	羽織師		控帳	吉太夫や。吉太夫とひめる。 吉太夫や。吉太夫と改める。文政4年や惣右衛門へ相続	
	701	古人大 惣右衛門	四山闸门	羽織師	寛政6年(1794)	控帳		
	102	巡扫闸门		つつ形式口巾	文政 4 年(1821)	江東	吉太夫忰。文政4年に相続	

職名	通番	職人名	初名等	職種	初見及び	典拠資料	備考		
羽織師	703	藤井清兵衛	D 11 (3	羽織師	享和3年(1803)	控帳	享和3年御用聞。文化元年苗字御免・藤井と改める		
張付師	704	作兵衛		張付師	明暦 3 年 (1657)	控帳	7 In a 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		
	705	五藤万蔵		張付師	正徳2年(1712)	控帳			
	706	五藤直七		張付師	延享3年(1746)	因府年表	延享3年自害		
	707	五藤清六		張付師	寛政3年(1791)	控帳	寛政3年御支配召し上げ。寛政4年佐々木新七(張付師)忰喜平太を養子とし相続		
	708	五藤喜平太		張付師	寛政4年(1792)	控帳	清六養子。寛政4年に相続。寛政7年弟万蔵を養子とし相続		
	709	五藤万蔵		張付師	寛政7年(1795)	控帳	喜平太養子。寛政7年に相続。天保13年忰武平へ相続		
	710	五藤武平		張付師	天保13年(1842)	控帳	万蔵枠。天保13年に相続。安政4年忰豊之助勘当を赦す。万延元年家		
	711	五藤豊之助		張付師	安政4年(1857)	控帳	業替·石火矢奉行助役 武平忰		
	712	佐々木新七		張付師	明和4年(1767)	控帳	明和4年苗字御免・佐々木と改める		
	713	佐々木儀作		張付師	天保4年(1833)	控帳	天保4年忰周次郎へ相続		
	714	佐々木周次郎		張付師	天保4年(1833)	控帳	儀作忰。天保4年に相続。弘化元年忰周蔵へ相続		
	715	佐々木周蔵		張付師	弘化元年(1844)	控帳	周次郎忰。弘化元年に相続		
	716	佐々木半助	左助	張付師	天保5年(1834)	控帳	天保5年取立・苗字御免・佐々木と改める。半助と改める		
	717	佐々木助三郎		張付師	嘉永元年(1848)	控帳			
	718	久次郎		張付師	嘉永元年(1848)	控帳	文久 3 年 华久三郎 个相続		
	719	久三郎		張付師	文久3年(1863)	控帳	久次郎忰。文久3年に相続		
	720	野村彦助		張付師	文化4年(1807)	細工人職人調二	文化4年御表具御張付御用聞。文政5年苗字御免・野村と改める。文 政6年御職人並。文政8年表具師。嘉永2年御職人		
	721	野村敬蔵		張付師	弘化3年(1846)	細工人職人調二			
	722	野村彦助		張付師	安政4年(1857)	細工人職人調二	敬蔵忰。慶応元年御細工並		
張田	723	惣三郎		張田	明暦 3 年 (1657)	控帳			
火縄師	724	飯塚甚兵衛		火縄師	宝永6年(1709)	控帳	宝暦7年忰又三郎へ相続。宝暦7年死去		
	725	飯塚又三郎		火縄師	宝暦7年(1757)	控帳	甚兵衛忰		
	726	飯塚甚五右衛門		火縄師	明和4年(1767)	控帳	文化7年忰文之進へ相続		
	727	飯塚文之進		火縄師	文化7年(1810)	控帳	甚五右衛門忰。文化7年に相続。弘化3年忰幸市へ相続		
	728	飯塚幸市		火縄師	弘化4年(1847)	控帳	文之進忰。弘化3年に相続。安政6年火縄師御免		
	729	飯塚文八郎		火縄師	慶応元年(1865)	控帳	幸市忰。慶応元年服部村鉄砲薬製場製方手伝御雇		
彫物師	730	(後藤)与惣右衛門		彫物師	元禄7年(1694)	控帳			
	731	後藤与三右衛門		彫物師	宝暦 3 年 (1753)	控帳	725の与惣右衛門と同一人物の可能性あり		
	732	後藤喜兵衛		彫物師	享保3年(1718)	控帳	享保3年忰与惣右衛門へ相続		
	733	後藤与三右衛門	与惣右衛門	彫物師	享保3年(1718)	控帳	喜兵衛忰。享保3年に相続。与三右衛門と改める。宝暦12年忰喜兵衛 へ相続		
	734	後藤喜兵衛		彫物師	宝暦12年(1762)	控帳	与三左衛門忰。宝暦12年に相続。寛政11年忰与八へ相続		
	735	後藤与八		彫物師	寛政6年(1794)	控帳	喜兵衛忰。寛政11年に相続		
	736	後藤峯蔵		彫物師	文政5年(1822)	控帳	与八忰		
	737	後藤与三右衛門		彫物師	文政8年(1825)	控帳	与八忰。与八と改める。嘉永2年孫重次郎へ相続		
	738	後藤喜兵衛		彫物師	嘉永 2 年 (1849)	控帳	与八忰。嘉永2年眼病		
	739	後藤重次郎		彫物師	嘉永 2 年 (1849)	控帳	与八孫。嘉永2年に相続		
	740	十次郎		彫物師	寛政12年(1800)	控帳			
	741	池内武七		彫物師	文化2年(1805)	控帳	文化2年御用聞・苗字御免・池内と改める・二人扶持		
	742	阿波屋十次郎		彫物師	文化14年(1817)	控帳	文化14年御用聞御免		
	743	村田(葛)十平		彫物師	文政5年(1822)	控帳	文政5年苗字御免・葛と改める。文政9年村田と改める。天保9年死 去		
	744	忠兵衛		彫物師	天保10年(1839)	控帳	御鉄砲足軽九兵衛忰。天保10年職人·苗字御免		
	745	土屋周作		彫物師	安政3年(1856)	控帳			
	746	今井永武		彫物師	安政5年(1858)	控帳	京都刀装金工		
幌籠師	747	山内久次郎		幌籠師	慶応2年(1866)	控帳			
蒔絵師	748	三右衛門		蒔絵師	寛文6年(1666)	控帳			
	749	庄右衛門		蒔絵師	寛文6年(1666)	控帳			
	750	半四郎		蒔絵師	宝永7年(1710)	控帳	宝永7年追放		
	751	与惣兵衛		蒔絵師	享保2年(1717)	控帳			
	752	与惣兵衛	与三兵衛	蒔絵師	安永 4 年 (1775)	控帳	安永4年召し出し。与惣兵衛と改める		
	753	源四郎		蒔絵師	天明2年(1782)	控帳	天明2年与惣兵衛代り召し出し		
	754	文左衛門		蒔絵師	寛政6年(1794)	控帳			
	755	次助		蒔絵師	文化5年(1808)	控帳			
	756	平次郎		蒔絵師	文政3年(1820)	控帳	Lottell, Lindy (A) Arry Ar. Loy = Letters BB. This = 1, 11 Letters BB.		
	757	加藤次郎七		蒔絵師	文政5年(1822)	控帳	加藤助九郎(塗師)弟。文政5年御用聞。弘化3年忰林次郎へ相続		
	758	加藤林次郎		蒔絵師 - 本公師	弘化3年(1846)	控帳	次郎七忰。弘化3年に相続。塗蒔絵師。安政6年忰次郎七へ相続		
	759	加藤次郎七		蒔絵師	安政6年(1859)	控帳	林次郎忰。安政6年に相続		
	760	元屋徳次郎		蒔絵師	文久2年(1862)	控帳	(鳥取城下)江崎町。文久2年御用聞		
	761	村上伊兵衛		蒔絵師	宝永元年(1704)	控帳	京都蒔絵師		
	762	新八		蒔絵師	明和元年(1764)	控帳	江戸蒔絵師		

職名	通番	職人名	初名等	職種	初見及び	典拠資料	備考	
滅金師	763	卯三郎		滅金師	天保5年(1834)	控帳	天保5年御用聞。嘉永3年忰平助へ相続	
	764	平助		滅金師	嘉永 3 年 (1850)	控帳	卯三郎忰。嘉永3年に相続	
	765	嶋屋源三郎		滅金師	天保6年(1835)	控帳	安政5年忰寿兵衛へ相続	
	766	嶋屋寿兵衛		滅金師	安政5年(1858)	控帳	源三郎忰。安政5年に相続	
矢師	767	清七		矢師	寛文4年(1664)	控帳	寛文4年死去	
	768	清七	助右衛門	矢師	寛文4年(1664)	控帳	清七忰。寛文4年相続。清七と改める	
	769	下総		矢師	寛文12年(1672)	控帳		
	770	八右衛門		矢師	寛文12年(1672)	控帳	下総忰	
	771	山田利助		矢師	宝永2年(1705)	控帳	京都矢師。宝永2年召し抱え・三人扶持・山田と改める。寛延元年死去	
	772	山田伊兵衛		矢師	寛延元年(1748)	控帳	利助忰。寬延元年親跡目。宝暦10年忰利助へ相続。	
	773	山田利助		矢師	宝暦10年(1760)	控帳	伊兵衛忰。宝暦10年に相続。安永3年忰儀三郎へ相続	
	774	山田儀三郎		矢師	安永3年(1774)	控帳	利助忰。安永3年に相続	
	775	山田儀三郎	槌右衛門	矢師	寛政10年(1798)	控帳	儀三郎忰。儀三郎と改める。文政5年忰茂助へ相続	
	776	山田茂助		矢師	文政5年(1822)	控帳	儀三郎(槌右衛門)忰。文政5年に相続。弘化元年苗字御扶持取り上げ	
	777	山田儀三郎		矢師	天保14年(1843)	控帳	茂助忰。弘化元年苗字御扶持取り上げ	
	778	山田茂八郎		矢師	弘化3年(1846)	控帳	弘化3年職人並・山田と改める	
	779	堀江清七		矢師	宝永2年(1705)	控帳	宝永2年引退	
	780	堀江又十郎		矢師	宝永2年(1705)	控帳	清七忰	
	781	理介		矢師	宝永5年(1708)	控帳		
	782	河村権兵衛		矢師	寛政7年(1795)	控帳	京都矢師。寛政7年召し抱え・河村と改める。寛政10年三人扶持。文化 11年忰権左衛門へ相続	
	783	河村万次郎		矢師	文化6年(1809)	控帳	権兵衛忰	
	784	河村権左衛門		矢師	文化11年(1814)	控帳	権兵衛忰。文化11年に相続。弘化元年苗字御扶持取り上げ	
	785	河村権三郎		矢師	天保6年(1835)	控帳	権左衛門枠。弘化元年苗字御扶持取り上げ。弘化3年職人並・河村と 改める。慶応2年忰周次郎へ相続。	
	786	河村宗八郎		矢師	万延元年(1860)	控帳	権三郎性	
	787	河村周次郎		矢師	慶応2年(1866)	控帳	権三郎忰。慶応2年に相続	
	788	牧野庄八		矢師	弘化元年(1844)	控帳	河村権左衛門弟子。弘化元年召し出し・苗字御免・牧野と改める。安政	
	789	牧野庄兵衛		矢師	万延元年(1854)	控帳	5年忰庄兵衛へ相続 庄八忰。安政5年に相続	
	790	武田弥助		矢師	安政3年(1856)	控帳	安政3年職人・武田と改める	
	791	杉谷(嶋屋)峯三郎		矢師	万延元年(1860)	控帳	万延元年御用聞。文久2年苗字御免・杉谷と改める	
	792	武部(園屋)儀三郎		矢師	万延元年(1860)	控帳	万延元年御用聞。文久2年苗字御免・武部と改める	
	793	中村丈助		矢師	文久元年(1861)	控帳	京都矢師	
	794	中川林蔵		矢師(江戸)	天保6年(1835)	江戸家老日記	江戸弓町矢師	
鎗師	795	(片平)又右衛門		鎗師	明暦 3 年(1657)	控帳	享保9年忰喜兵衛へ相続	
	796	(片平)喜兵衛		鎗師	享保9年(1724)	控帳	又右衛門忰。享保9年に相続	
	797	片平又右衛門		鎗師	天明4年(1784)	控帳	天明4年忰半内へ相続。30と同一人物	
	798	片平半内		鎗師	天明4年(1784)	控帳	又右衛門忰。天明4年に相続。寛政6年松岡屋平左衛門二男平蔵を養	
	799	片平判内	平蔵	鎗師	寛政6年(1794)	控帳	半内養子。判内と改める。文化7年忰又蔵へ相続	
	800	片平又蔵	,	鎗師	文化7年(1810)	控帳	判内忰。文化7年に相続。安政6年忰藤市へ相続	
	801	片平丈太夫	又六	鎗師・指物師	弘化4年(1847)	控帳	又蔵忰。弘化4年伊良子弘介代り指物師。慶応3年丈太夫と改める。	
	802	片平東一	藤市	鎗師	安政5年(1858)	控帳	291と同一人物 又蔵忰。安政6年に相続。東一と改める。慶応2年自殺	
	803	長兵衛	195113	鎗師(江戸)	寛政10年(1798)	江戸家老日記	江戸鎗師。寛政10年正阿弥八左衛門相仕	
	804	庄次郎		鎗師(江戸)	天保14年(1843)	江戸家老日記	江戸鎗師	
鎗金具師	805	中村喜助		鎗金具師・白銀師	弘化3年(1846)	控帳	自銀師。弘化3年苗字御免・中村と改める。安政6年忰平市へ相続	
20,000	806	中村義左衛門	平市	鎗金具師	嘉永 4 年(1851)	控帳	喜助忰。安政6年に相続。文久3年義左衛門と改める	
	807	小林(小林屋)善兵衛		鎗金具師	安政5年(1858)	控帳	安政5年職人・苗字御免・小林と改める	
鞢師	808	奥谷屋儀兵衛		鞢師	文化9年(1812)	控帳	文化9年御用聞	
	809	作兵衛		鞢師	文化11年(1814)	控帳	文化14年御用聞御免	
	810	寺崎林三郎		鞢師	文政10年(1827)	控帳	寺崎猪作弟。天保7年鞢師御免	
	811	寺崎林治郎	弥之助	鞢師	天保7年(1836)	控帳	林三郎忰。安政3年林治郎と改める。慶応2年忰甚三郎へ相続	
	812	寺崎甚三郎		鞢師	慶応2年(1866)	控帳	林治郎忰。慶応2年に相続	
	813	田原七右衛門		鞢師	文政10年(1827)	控帳	文政10年御用聞。田原と改める。弘化元年苗字御扶持取り上げ	
	814	田原平助		鞢師	弘化3年(1846)	控帳	弘化3年職人並・田原と改める	
	815	中川善三郎		鞢師	安政3年(1856)	控帳	安政3年職人・中川と改める	
	816	右近伝兵衛		鞢師	天保7年(1836)	控帳	京都鞣師	
	817	釘貫利右衛門		鞢師(江戸)	嘉永6年(1853)	江戸家老日記	江戸鞢師	
弓師	818	安左衛門		弓師	明暦3年(1657)	控帳		
	819	甚助		弓師	享保7年(1722)	控帳		
	820	伊藤与兵衛		弓師	元文4年(1739)	控帳	寛保3年出奔	
	821	小林喜左衛門		弓師	延享元年(1744)	控帳	延享元年伊藤与兵衛跡役	
	822	斎藤伝兵衛		弓師	延享4年(1747)	控帳	延享4年苗字御免・斎藤と改める。安永3年弟子伊兵衛を養子。安永 3年養子伊兵衛(儀兵衛)へ相続	
		Ĺ	1	1	l .	I.	0 点 1 // 六阳 (成六田 / 当印机	

職名	通番	職人名	初名等	職種	初見及び	典拠資料	備考	
弓師	823	斎藤儀兵衛	伊兵衛	弓師	安永3年(1774)	控帳	伝兵衛養子。安永3年に相続。寛政10年儀兵衛と改める。文化7年件 東市へ相続	
	824	斎藤伝兵衛		弓師	寛政10年(1798)	控帳	伊兵衛(儀兵衛)忰。寛政10年死去	
	825	斎藤東市		弓師	文化7年(1810)	控帳	儀兵衛忰。文化7年に相続。天保12年忰東右衛門へ相続	
	826	斎藤文太郎		弓師	天保5年(1834)	控帳	東市忰	
	827	斎藤東右衛門		弓師	天保12年(1841)	控帳	東市忰。天保12年に相続	
	828	坂田半三郎	平次郎	弓師	天保4年(1833)	控帳	弘化2年半三郎と改める。安政4年忰治兵衛へ相続	
	829	坂田菊蔵		弓師	天保4年(1833)	控帳	平次郎(半三郎)忰	
	830	坂田治兵衛		弓師	天保14年(1843)	控帳	平次郎(半三郎) 忰。安政4年に相続	
	831	田中(油屋)十蔵		弓師	天保7年(1836)	控帳	天保7年御用聞。天保10年苗字御免・田中と改める。 嘉永3年退身	
	832	田中太一郎		弓師	嘉永3年(1850)	控帳	嘉永3年行方知れず	
	833	井上佐助		弓師	安政3年(1856)	控帳	安政3年職人・井上と改める。元治元年忰佐次郎へ相続	
	834	井上幸次郎		弓師	万延元年(1860)	控帳	佐助忰	
	835	井上佐次郎		弓師・小銃金具師	元治元年(1864)	控帳	佐助忰。元治元年に相続。明治元年小銃金具師兼帯	
	836	柏木八郎		弓師	安政4年(1857)	控帳	但州出石浪人。安政4年召し出し。安政6年職人苗字取り上げ	
	837	庄兵衛		弓師(江戸)	宝暦13年(1763)	江戸家老日記	江戸弓師	
	838	小川周蔵		弓師	明和4年(1767)	控帳	姫路本町弓師	
	839	小川伊左衛門		弓師	寛政12年(1800)	控帳	播州姫路弓師	
	840	小川猪左衛門		弓師	天保5年(1834)	控帳		
	841	左助		弓師	嘉永5年(1852)	控帳	姫路弓師小川伊左衛門手代	
	842	柴村甚十郎		弓師	万延元年(1860)	控帳	京都弓師	
弓下地師	843	坂田林十郎		弓下地師	寛政12年(1800)	控帳	寛政12年召し出し。文化2年三人扶持。文政7年忰平次郎へ相続	
	844	坂田半三郎	平次郎	弓下地師	文政7年(1824)	控帳	林十郎忰。文政7年に相続。828と同一人物	
	845	坂田菊蔵		弓下地師	文政 9 年 (1826)	控帳	平次郎(半三郎)忰。829と同一人物	
	846	坂田次兵衛		弓下地師	嘉永5年(1852)	控帳	半三郎忰。830と同一人物	